

令和6年度実施朝霞市男女平等に関する
小学生・中学生・高校生意識調査
結果報告書

令和7年7月

朝 霞 市

目 次

I. 調査概要	1
1. 調査の目的	1
2. 調査の対象及び方法	1
3. 回収結果	1
4. 報告書の見方	1
5. 回答者の属性	2
II. 調査結果概要	3
III. 調査結果	21
小学生調査	21
1. 回答者の属性について	23
(1)性別	23
2. 男女の平等について	24
(1)男女の平等について	24
(2)性別による向き不向き	25
(3)男らしさ・女らしさの押し付け	27
(4)男らしさ・女らしさを押し付ける周囲の人について	28
(5)「男は仕事に専念して、女は家庭を守るべき」という考え方について	29
3. 用語の認知度について	30
(1)男女共同参画関連の用語の認知度	30
4. 性に関する情報について	36
(1)性に関する情報	36
5. 悩みや心配事について	38
(1)悩みや心配事	38
(2)悩みや心配事がある時の相談先	40
(3)相談窓口の認知度	42
(4)相談窓口の周知のための工夫	44
中学生調査	45
1. 回答者の属性について	47
(1)性別	47
2. 男女の平等について	48
(1)男女の平等について	48
(2)性別による向き不向き	49
(3)男らしさ・女らしさの押し付け	51
(4)男らしさ・女らしさを押し付ける周囲の人について	52
(5)「男は仕事に専念して、女は家庭を守るべき」という考え方について	53
3. 用語の認知度について	54
(1)男女共同参画関連の用語の認知度	54

4. 性に関する情報について	64
(1)性に関する情報	64
5. 交際とデートDVについて	66
(1)交際相手の有無	66
(2)嫌なことを我慢した経験	67
(3)交際相手からされた嫌なことの内容	68
6. 悩みや心配事について	69
(1)悩みや心配事	69
(2)悩みや心配事がある時の相談先	71
(3)相談窓口の認知度	73
(4)相談窓口の周知のための工夫	75
高校生調査	77
1. 回答者の属性について	79
(1)性別	79
2. 男女の平等について	80
(1)男女の平等について	80
(2)性別による向き不向き	81
(3)男らしさ・女らしさの押し付け	83
(4)男らしさ・女らしさを押し付ける周囲の人について	84
(5)「男は仕事に専念して、女は家庭を守るべき」という考え方について	85
3. 用語の認知度について	86
(1)男女共同参画関連の用語の認知度	86
4. 性に関する情報について	96
(1)性に関する情報	96
5. 交際とデートDVについて	98
(1)交際相手の有無	98
(2)デートDVに関する認識と経験	99
6. 悩みや心配事について	125
(1)悩みや心配事	125
(2)悩みや心配事がある時の相談先	127
(3)相談窓口の認知度	129
(4)相談窓口の周知のための工夫	131
IV. 資料	132

I. 調査概要

1. 調査の目的

この調査は、「第3次朝霞市男女平等推進行動計画」(令和8(2026)年度から令和17(2035)年度までの計画)の策定や、今後の取組に向けた重要な基礎資料とするために実施したものです。

2. 調査の対象及び方法

①調査対象:朝霞市内の公立小学校に通う小学6年生 1,273 人

朝霞市内の公立中学校に通う中学3年生 1,087 人

朝霞市内の県立高校に通う高校3年生 720 人

②調査方法:Web による回答

③調査期間:令和6年9月18日(水)～10月2日(水)

3. 回収結果

学 年	小学6年生	中学3年生	高校3年生
対象児童・生徒数	1,273 人	1,087 人	720 人
回収件数	573 件	196 件	219 件
有効回収率	45.0%	18.0%	30.4%

4. 報告書の見方

- ・図表中の(n=*)は集計母数を表しています。
- ・回答の比率(%)は、各設問の回答者数を母数として算出しているため、複数回答の設問については、選択肢ごとの比率を合計すると100%を超えることがあります。
- ・回答の比率(%)は、小数点以下第2位を四捨五入しているため、属性ごとの回答比率の合計が100%にならないことがあります。
- ・性別の回答傾向を表すグラフについて、性別の無回答は除いています。
- ・性別クロス集計において、「答えたくない」と回答した児童・生徒のサンプル数が0件、もしくは1件の場合には、結果を非公表とし、分析対象としないことがあります。
- ・回答傾向の記述にあたり、同様の傾向の回答をまとめて割合を示すために、【】で表現する場合があります。

5. 回答者の属性

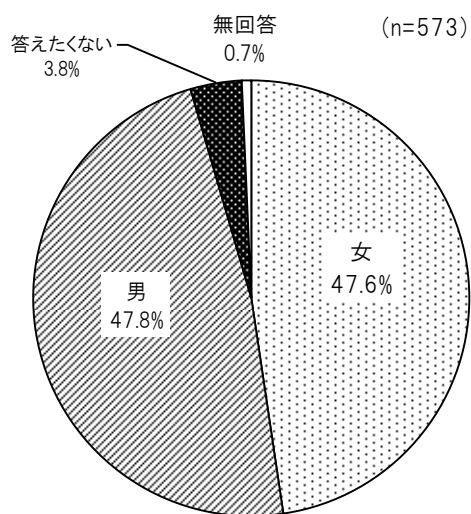
① 性別

小学生の性別は、「女」(女子)が47.6%、「男」(男子)が47.8%、「答えたくない」が3.8%を占めています。

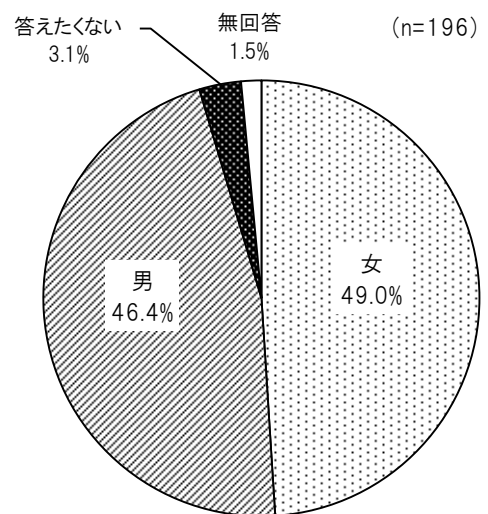
中学生の性別は、「女」(女子)が49.0%、「男」(男子)が46.4%、「答えたくない」が3.1%を占めています。

高校生の性別は、「女」(女子)が41.6%、「男」(男子)が52.0%、「答えたくない」が5.0%を占めています。

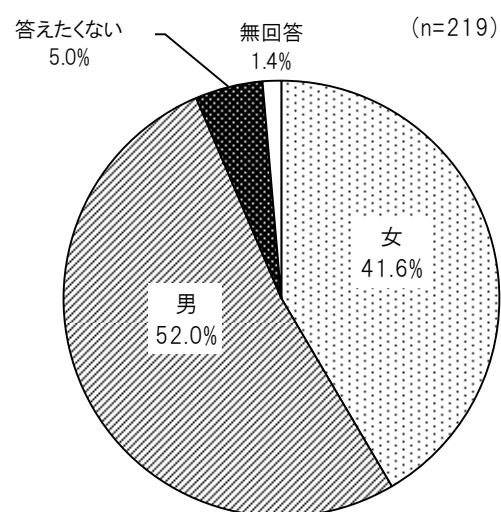
図表1 性別(小学生)



図表2 性別(中学生)



図表3 性別(高校生)



Ⅱ. 調査結果概要

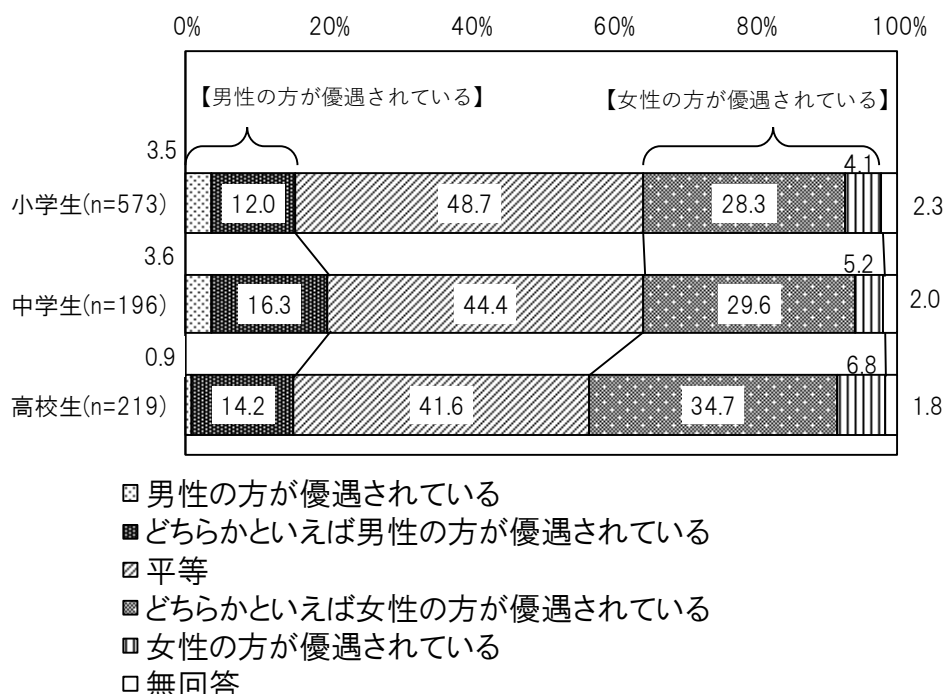
1. 男女の平等について

(1)男女の平等について <対象:小学生(問2)・中学生(問2)・高校生(問2)>

小学生、中学生、高校生ともに「平等」の割合が最も高く、いずれも4割以上を占めています。性別ごとの集計では、小学生、中学生、高校生いずれも「平等」の割合は男子の方が高い傾向があらわれています。

また、「男性の方が優遇されている」と「どちらかといえば男性の方が優遇されている」の合計【男性の方が優遇されている】と「どちらかといえば女性の方が優遇されている」と「女性の方が優遇されている」の合計【女性の方が優遇されている】を比較すると、小学生、中学生、高校生ともに【女性の方が優遇されている】という割合の方が高い結果となっています。

図表4 男女の平等について(小中高生比較・全体)

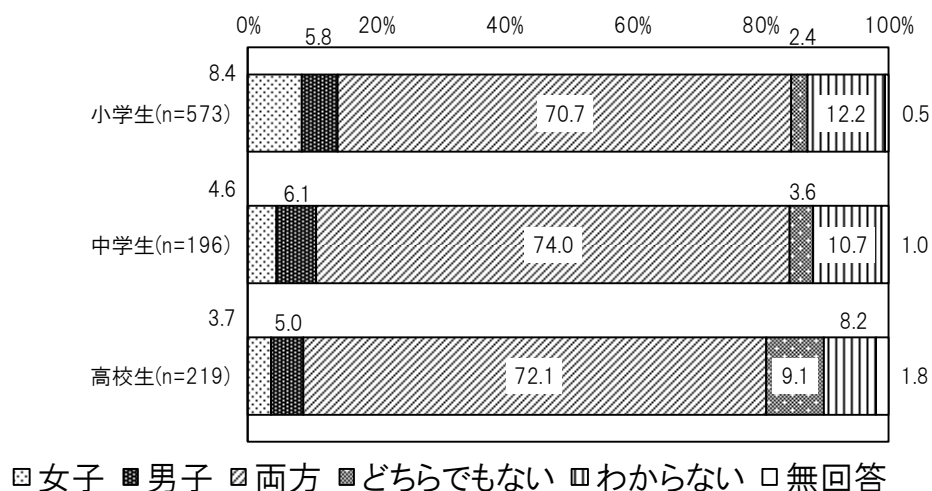


(2)性別による向き不向き<対象:小学生(問3)・中学生(問3)・高校生(問3)>

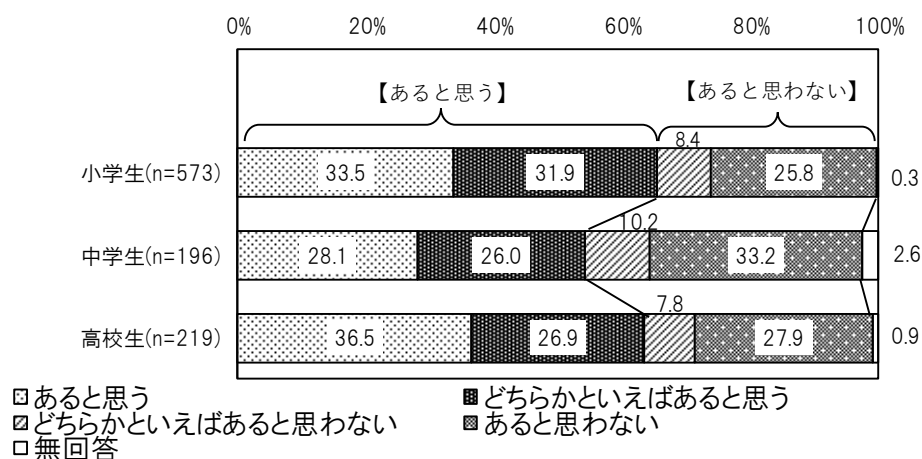
①児童会長・生徒会長等に向いている性別があると思うかたずねたところ、小学生、中学生、高校生ともに「両方」が7割以上を占める結果となっています。性別ごとの集計では、「両方」の割合は、小学生では男女の差があまりないのに対して、中学生、高校生では男子よりも女子の割合が高い特徴がみられます。

②性別によって向いている係があるかどうかについては、小学生、中学生、高校生ともに「どちらかといえばあると思わない」と「あると思わない」の合計【あると思わない】よりも「あると思う」と「どちらかといえばあると思う」の合計【あると思う】の割合の方が高くなっています。性別ごとの集計をみると、【あると思う】の割合は小学生、中学生では女子よりも男子の方が高いですが、高校生では女子の方が高くなっています。

図表5 ①児童会長・生徒会長はどちらが向いていると思うか(小中高生比較・全体)



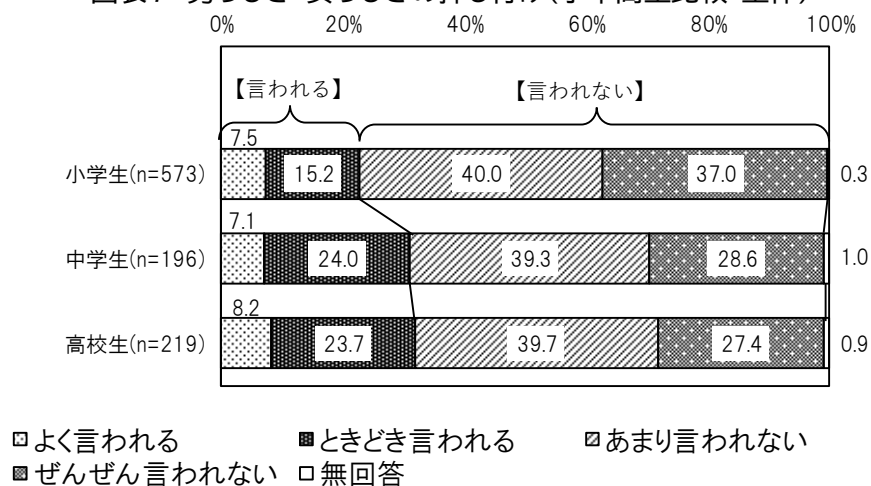
図表6 ②性別によって向いている係があると思うかどうか(全体・性別)



(3)男らしさ・女らしさの押し付け<対象:小学生(問4)・中学生(問4)・高校生(問4)>

小学生、中学生、高校生とも、「よく言われる」と「ときどき言われる」の合計【言われる】よりも「あまり言われな」と「ぜんぜん言われな」との合計【言われな】割合の方が高くなっています。ただし、小学生と比較すると中学生、高校生では【言われる】割合がより高くなっています。

図表7 男らしさ・女らしさの押し付け(小中高生比較・全体)

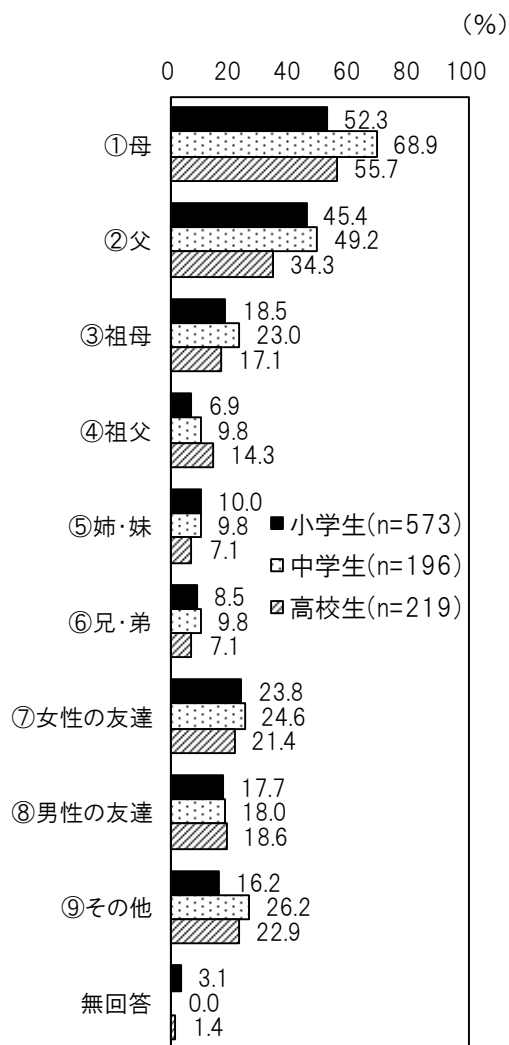


(4)男らしさ・女らしさを押し付ける周囲の人について

<対象:小学生(問5)・中学生(問5)・高校生(問5)>

小学生、中学生、高校生ともに、男らしさ・女らしさについてよく言われる人のうち、「①母」が最も高く、次いで「②父」となっています。いずれも中学生の回答率が高い傾向がみられます。そのほか、「⑦女性の友達」は2割強、「⑧男性の友達」は2割近くの割合となっています。

図表8 男らしさ・女らしさを押し付ける周囲の人(小中高生比較・全体)



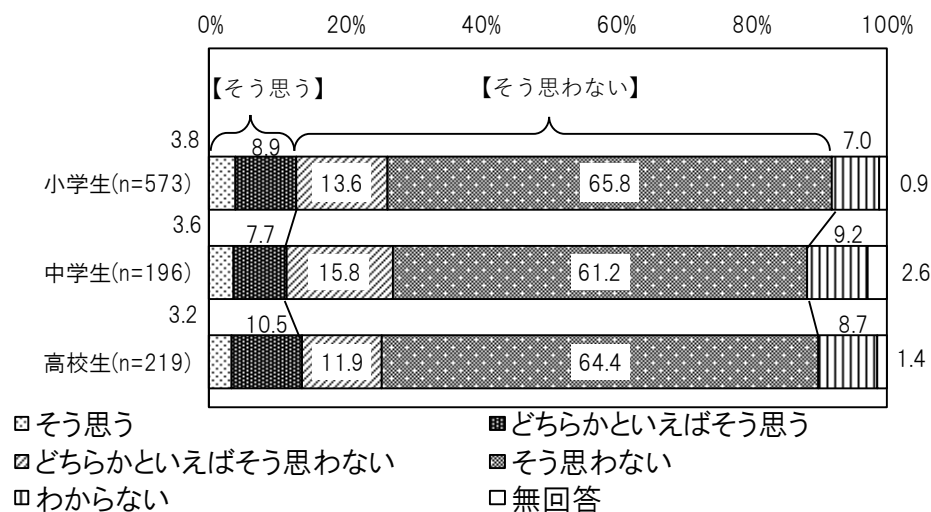
(5)「男は仕事に専念して、女は家庭を守るべき」という考え方について

<対象:小学生(問6)・中学生(問6)・高校生(問6)>

小学生、中学生、高校生ともに、「思う」「どちらかというと思う」の合計である【思う】は1割強、「どちらかというと思わない」「思わない」の合計である【思わない】は8割近くを占めており、回答の傾向はほぼ同じです。

性別ごとの集計をみると、中学生、高校生では男女の回答傾向にあまり違いはありませんが、小学生については【思わない】の割合が女子は89.4%であるのに対して、男子は69.0%と20.4ポイントの開きがあります。

図表9 「男は仕事に専念して、女は家庭を守るべき」という考え方について
(小中高生比較・全体)



2. 用語の認知度について

(1)男女共同参画関連の用語の認知度<対象:小学生(問7)・中学生(問7)・高校生(問7)>

全体的に、学年が高い方が用語の認知度が高い傾向がうかがえます。特に高校生は、「⑥リプロダクティブ・ヘルス/ライツ」以外の用語の認知度が8割以上に達しています。

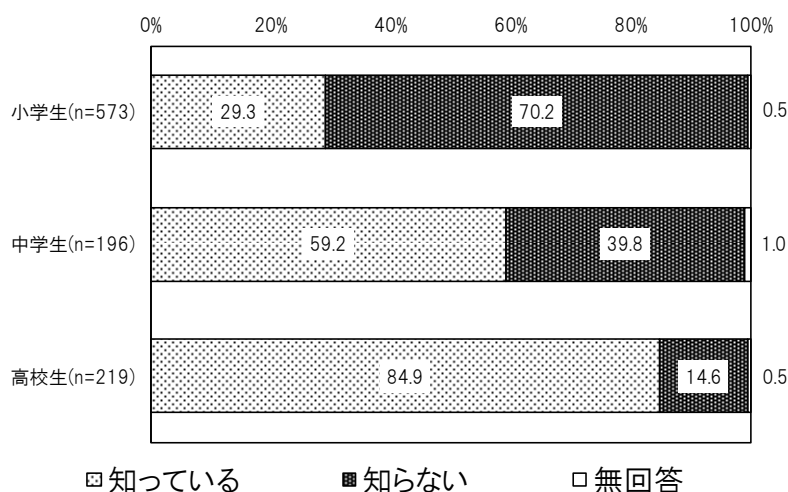
小学生、中学生、高校生を通じて7割以上の認知度がある用語は、「⑤パパ活、ママ活」「⑧ジェンダー」「⑨プライベートゾーン」です。反対に、「⑥リプロダクティブ・ヘルス/ライツ」は、小学生、中学生、高校生を通じて認知度が低い結果となっています。

性別ごとの集計結果を見ると、小学生と高校生ではほとんどの用語の認知度は男子よりも女子の方が高い結果となっています。

① 男女共同参画社会

学年が上がるとともに認知度が上昇しています。小学生は「知らない」が70.2%で、用語を知らない児童の方が多くですが、中学生では「知っている」(59.2%)の方が多くなり、高校生では8割以上の認知度となっています。性別ごとの集計では、小学生、中学生では男女の傾向の違いはありませんが、高校生は女子の方が男子よりも認知度が高い結果となっています。(「知っている」の割合＝女子:92.3%、男子:80.7%)

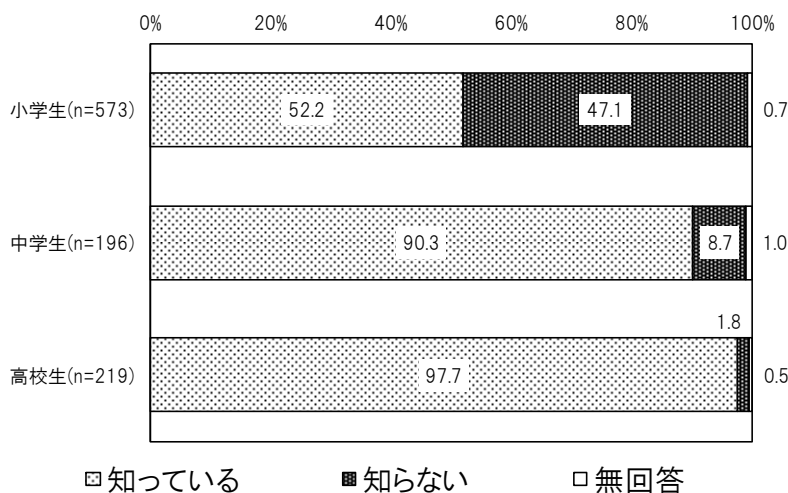
図表 10 「男女共同参画社会」という言葉の認知度(小中高生比較・全体)



②DV(ドメスティック・バイオレンス)

学年が上がるとともに認知度が上昇しています。小学生は「知っている」が52.2%で、「知らない」よりもやや高い程度ですが、中学生、高校生は「知っている」の割合が9割以上で、非常に高い認知度となっています。性別ごとの集計では、中学生、高校生では性別による認知度の差はあまり大きくありませんが、小学生は性別による認知度に差があります。(「知っている」の割合＝女子:60.8%、男子:42.0%、答えたくない:72.7%)

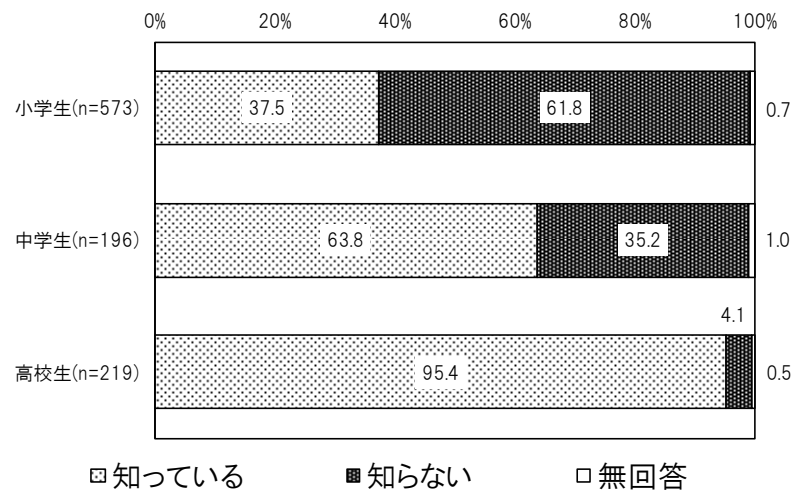
図表 11 「DV(ドメスティック・バイオレンス)」という言葉の認知度(小中高生比較・全体)



③デートDV

学年が上がるとともに認知度が上昇しています。小学生は「知らない」が61.8%で、用語を知らない児童の方が多くですが、中学生では「知っている」(63.8%)の方が多くなり、高校生では9割以上の認知度となっています。性別ごとの集計では、中学生、高校生では性別による認知度の差はあまり大きくありませんが、小学生は性別による認知度に大きな差があります。(「知っている」の割合＝女子:46.9%、男子:25.5%、答えたくない:77.3%)

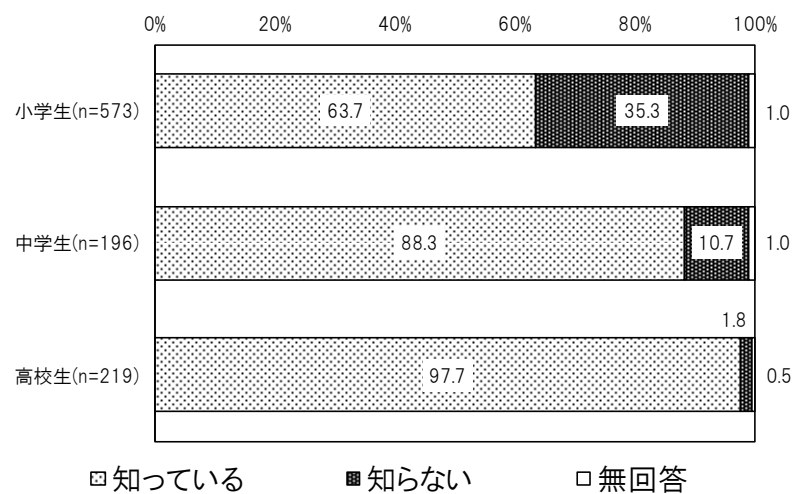
図表 12 「デートDV」という言葉の認知度(小中高生比較・全体)



④性暴力

学年が上がるとともに認知度が上昇しています。「知っている」の割合は、小学生が63.7%、中学生は88.3%、高校生は97.7%となっています。性別ごとの集計では、中学生、高校生では性別による認知度の傾向に違いはあまりありませんが、小学生は性別による認知度に差があります。(「知っている」の割合＝女子:70.3%、男子:56.2%、答えたくない:81.8%)

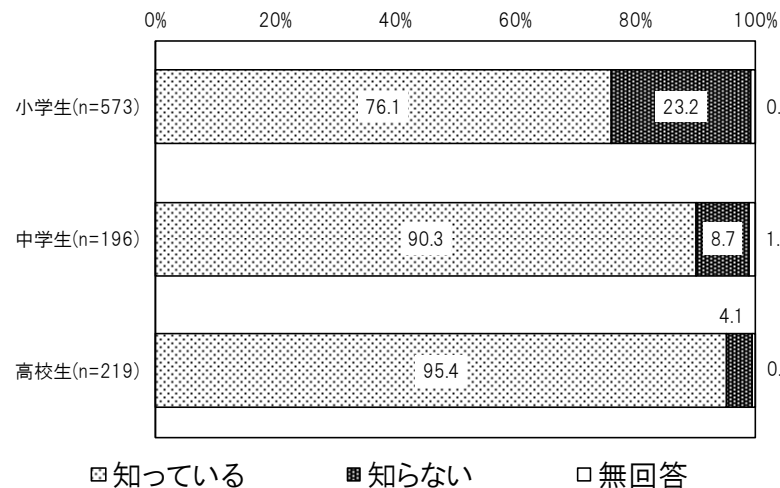
図表 13 「性暴力」という言葉の認知度(小中高生比較・全体)



⑤パパ活、ママ活

学年が上がるとともに認知度が上昇しており、「知っている」の割合は、小学生が76.1%、中学生は90.3%、高校生は95.4%となっています。性別ごとの集計では、中学生、高校生では性別による認知度の差はあまり大きくありませんが、小学生は性別による認知度に差があります。（「知っている」の割合＝女子：82.8%、男子：68.2%、答えたくない：90.9%）

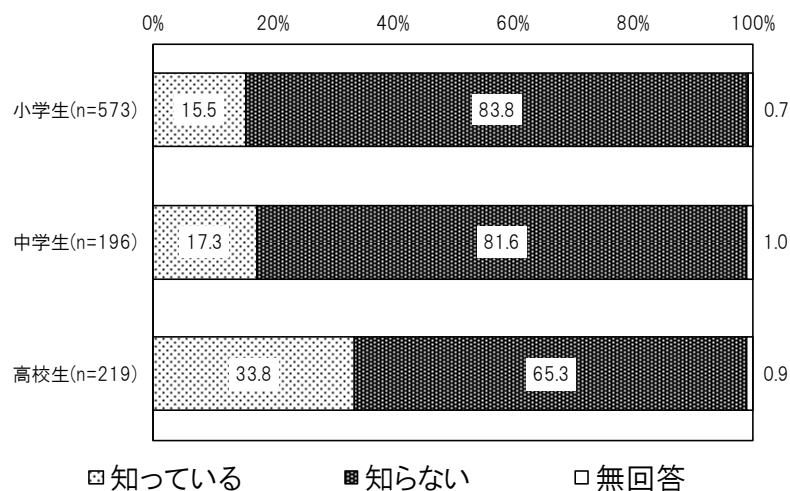
図表 14 「パパ活、ママ活」という言葉の認知度(小中高生比較・全体)



⑥リプロダクティブ・ヘルス／ライツ

全体的に認知度が低い中、高校生は小学生や中学生と比較してやや認知度が高い結果となっています(33.8%)。性別ごとの集計結果をみると、特に中学生においては、男子の方が女子よりも認知度が高い結果となっています。（「知っている」の割合＝女子：12.5%、男子：22.0%）

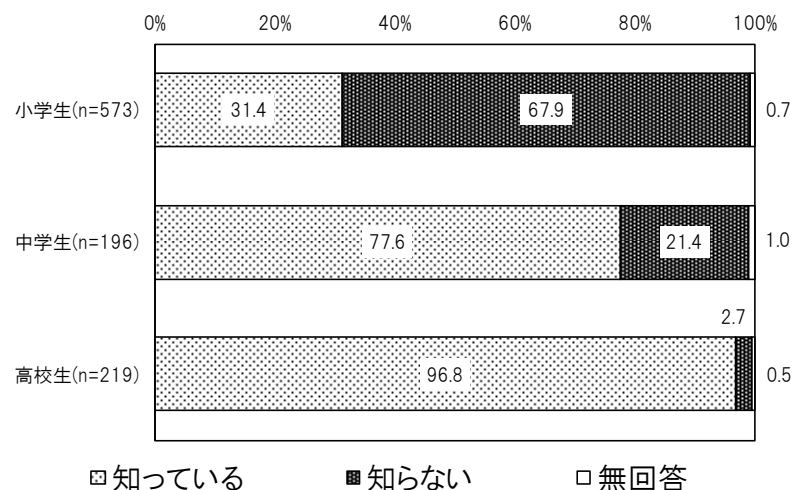
図表 15 「リプロダクティブ・ヘルス／ライツ」という言葉の認知度(小中高生比較・全体)



⑦LGBTQ

学年が上がるとともに認知度が上昇しています。小学生は「知らない」が67.9%で、用語を知らない児童の方が多いですが、中学生では「知っている」(77.6%)の方が多くなり、高校生では9割以上の認知度となっています。性別ごとの集計では、中学生、高校生では性別による傾向の違いはあまりありませんが、小学生は性別による認知度に差があります。(「知っている」の割合＝女子:38.8%、男子:21.9%、答えたくない:59.1%)

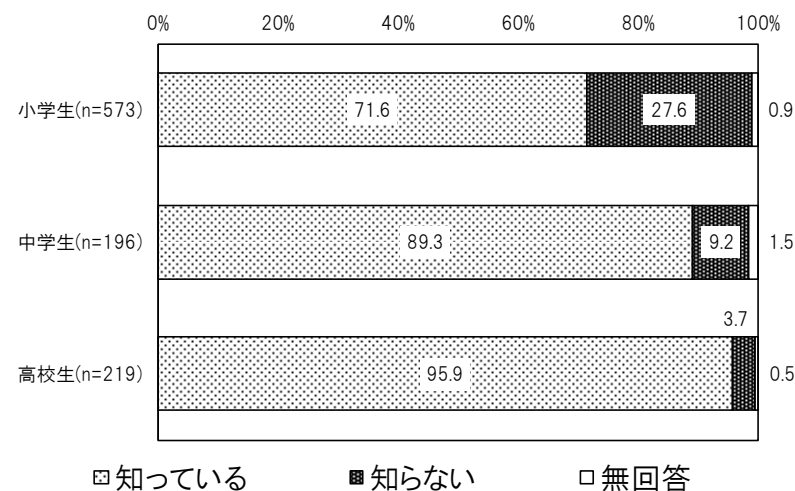
図表 16 「LGBTQ」という言葉の認知度(小中高生比較・全体)



⑧ジェンダー

学年が上がるとともに認知度が上昇しており、「知っている」の割合は、小学生が71.6%、中学生は89.3%、高校生は95.9%となっています。性別ごとの集計では、中学生、高校生では性別による認知度の差はあまり大きくありませんが、小学生は性別による認知度に差があります。(「知っている」の割合＝女子:82.1%、男子:59.5%、答えたくない:90.9%)

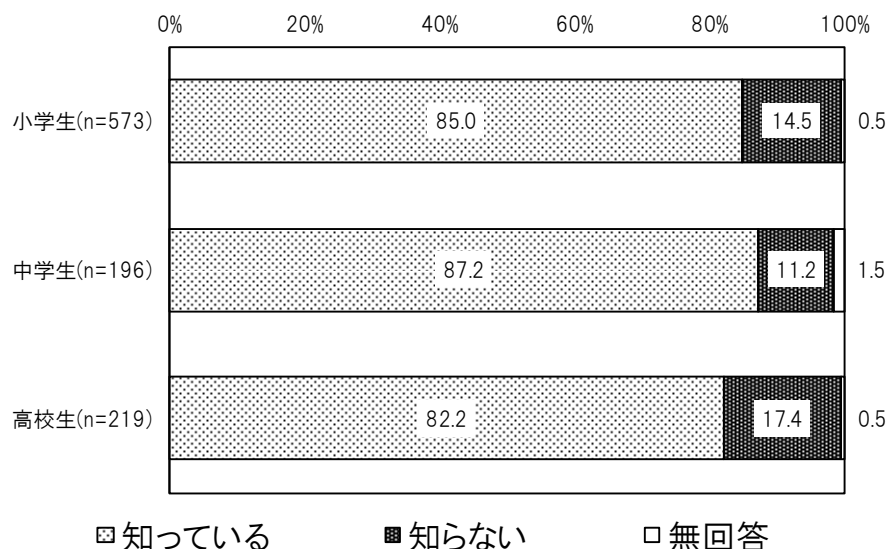
図表 17 「ジェンダー」という言葉の認知度(小中高生比較・全体)



⑨プライベートゾーン

小学生、中学生、高校生ともに8割以上の認知度があります。最も認知度が高いのは中学生(87.2%)で、次いで、小学生(85.0%)、高校生(82.2%)の順となっています。

図表 18 「プライベートゾーン」という言葉の認知度(小中高生比較・全体)



3. 性に関する情報について

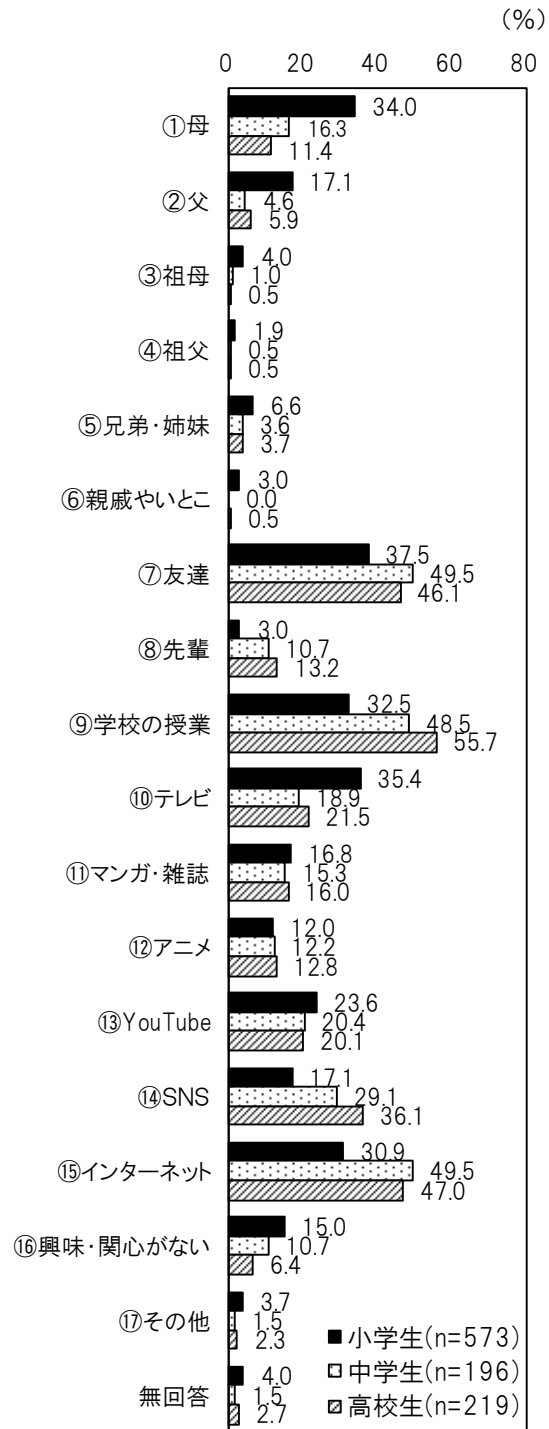
(1)性に関する情報＜対象：小学生(問8)・中学生(問8)・高校生(問8)＞

小学生は、「⑦友達」の割合が37.5%で最も高く、次いで「⑩テレビ」(35.4%)、「①母」(34.0%)の順になっています。

中学生、高校生の上位3項目は「⑦友達」「⑨学校の授業」「⑮インターネット」ですが、その順位の内訳は異なっています。中学生は「⑦友達」「⑮インターネット」がともに49.5%で最も高く、次いで「⑨学校の授業」(48.5%)となっています。高校生は「⑨学校の授業」の割合が55.7%で最も高く、次いで「⑮インターネット」(47.0%)、「⑦友達」(46.1%)となっています。

学年が上がるとともに割合が高くなる項目として、「⑨学校の授業」や「⑭SNS」、「⑧先輩」等があげられます。反対に、学年が上がるとともに割合が低くなる傾向がみられる項目は、「①母」「②父」などの親族に加えて、「⑩テレビ」などがあげられます。

図表 19 性に関する情報の入手先(小中高生比較・全体)

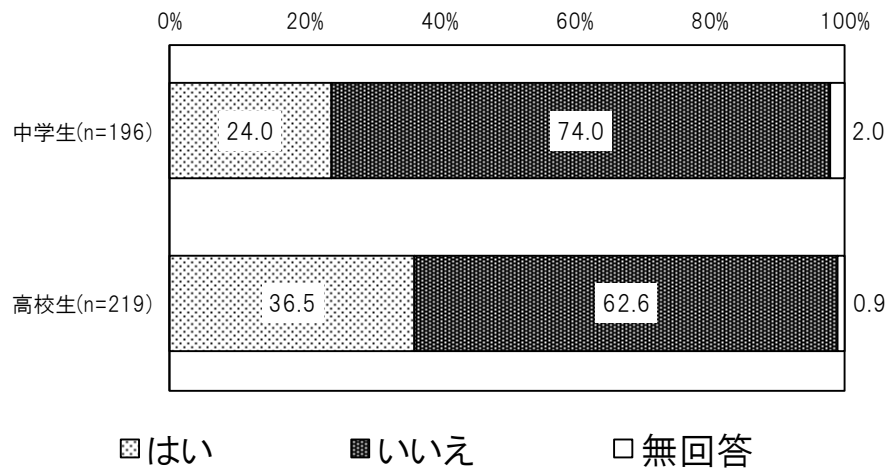


4. 交際とデートDVについて

(1) 交際相手の有無＜対象：中学生(問9)・高校生(問9)＞

交際相手がいる(「はい」と回答)割合は、中学生が 24.0%、高校生が 36.5%と、学年があがるとともに高くなる傾向がみられます。

図表 20 交際相手の有無(中高生比較・全体)

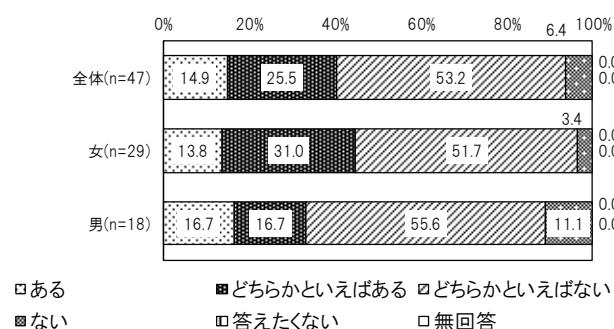


(2) 交際相手から受けた嫌なこと＜対象：中学生(問 10・11)＞

交際相手がいる(いた)と回答した人に対して、交際相手に対して嫌なことを我慢した経験についてたずねたところ、「ある」が 14.9%、「どちらかといえばある」が 25.5%で、合計 40.4%の人は嫌なことを我慢した経験があることがうかがえます。

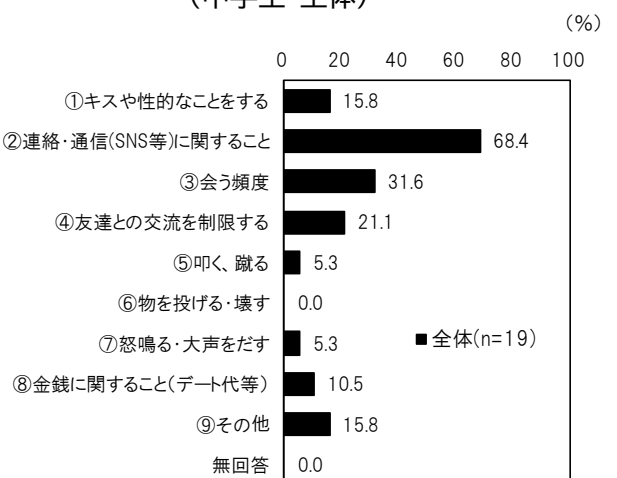
交際相手から嫌なことをされた経験を持つ人を対象に具体的な内容をたずねたところ、「②連絡・通信(SNS 等)に関すること」が最も高く 68.4%、次いで「③会う頻度」が 31.6%、「④友達との交流を制限する」が 21.1%で上位を占めています。

図表 21 嫌なことを我慢した経験
(中学生・全体・性別)



※「答えたくない」はサンプル数僅少のため結果を非公開とする。

図表 22 交際相手からされた嫌なことの内容
(中学生・全体)

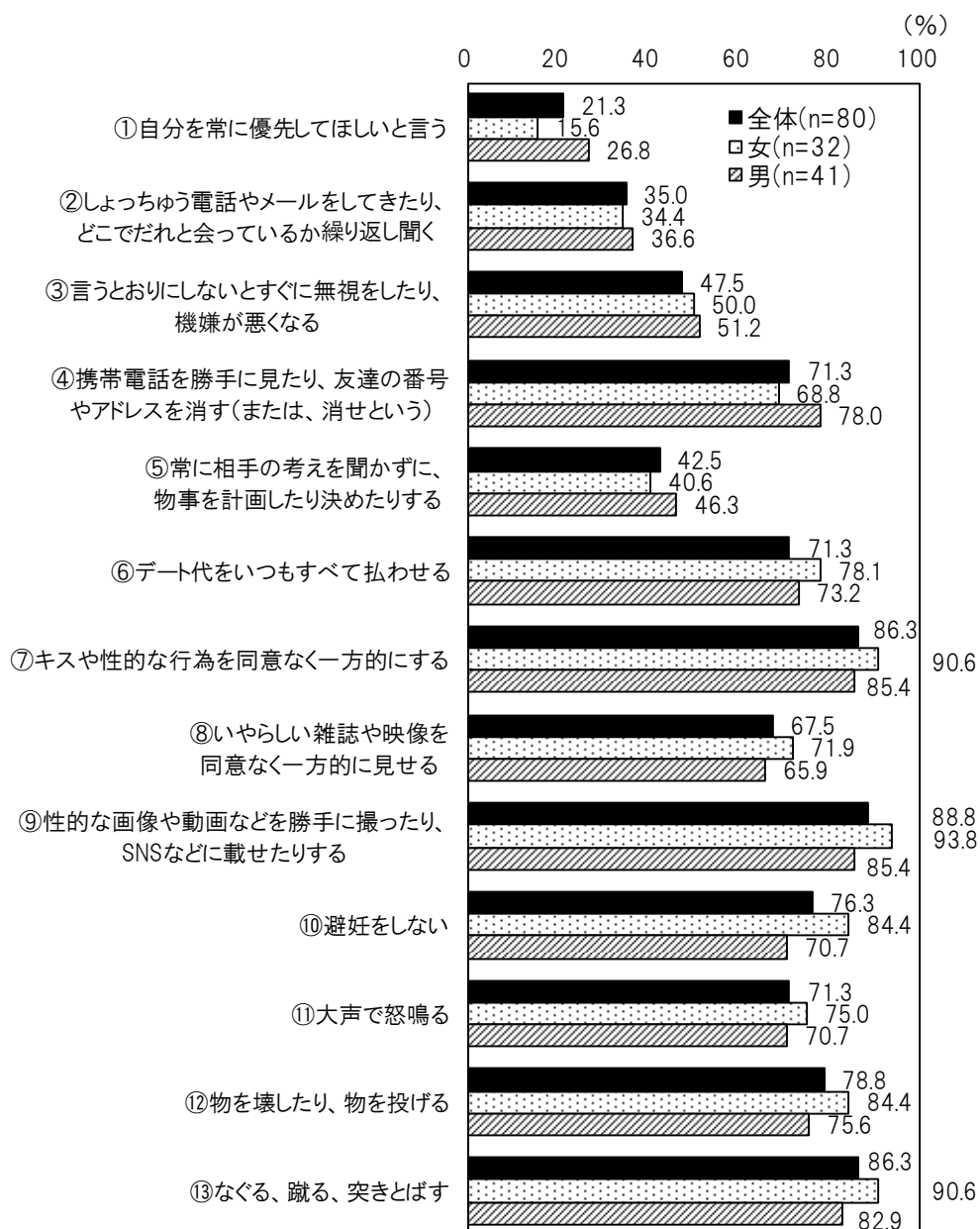


(3)デートDVとしての認識<対象:高校生(問 10)>

高校生の交際相手がいる(いた)人を対象に、様々な行為についてデートDVだと思うかどうかたずねたところ、デートDVだと思う割合は「⑨性的な画像や動画などを勝手に撮ったり、SNSなどに載せたりする」が88.8%で最も高く、次いで「⑦キスや性的な行為を同意なく一方的にする」「⑬なぐる、蹴る、突きとばす」がともに86.3%、「⑫物を壊したり、物を投げる」(78.8%)、「⑩避妊をしない」(76.3%)が上位にきています。

これらの項目は、いずれも男子よりも女子の回答率が高くなっています。

図表 23 デートDVだと思う割合(高校生・全体・性別)

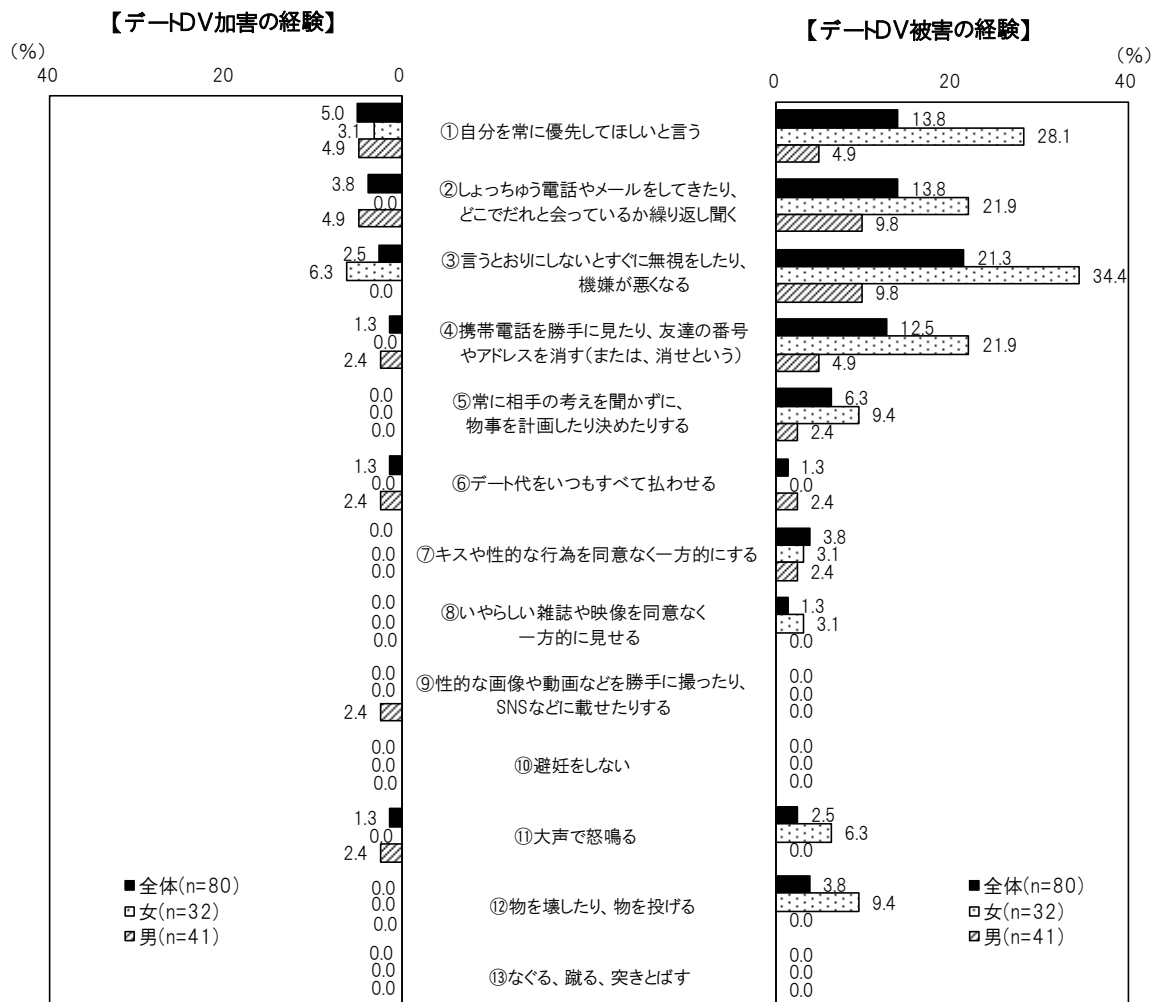


(4)デートDV被害と加害の経験<対象:高校生(問 10)>

デート DV 被害にあった経験のうち、割合が最も高いのは「③言うとおりにしないとすぐに無視をしたり、機嫌が悪くなる」で 21.3%、次いで「①自分を常に優先してほしいと言う」「②しょっちゅう電話やメールをしてきたり、どこでだれと会っているか繰り返し聞く」がともに 13.8%、「④携帯電話を勝手に見たり、友達の番号やアドレスを消す(または、消せという)」が 12.5%となっています。これらの項目は男子よりも女子の方が回答率が高くなっています。様々な項目の中で、男子の方の被害の割合が高かったのは「⑥デート代をいつもすべて払わせる」(女子:0.0%、男子:2.4%)のみです。

デート DV 加害については、いずれの項目も1割に達していない割合となっています。そのような中で比較的割合が高かったのは、「①自分を常に優先してほしいと言う」(5.0%)、「②しょっちゅう電話やメールをしてきたり、どこでだれと会っているか繰り返し聞く」(3.8%)、「③言うとおりにしないとすぐに無視をしたり、機嫌が悪くなる」(2.5%)などの項目です。

図表 24 デートDV被害と加害の経験(高校生・全体・性別)



5. 悩みや心配事について

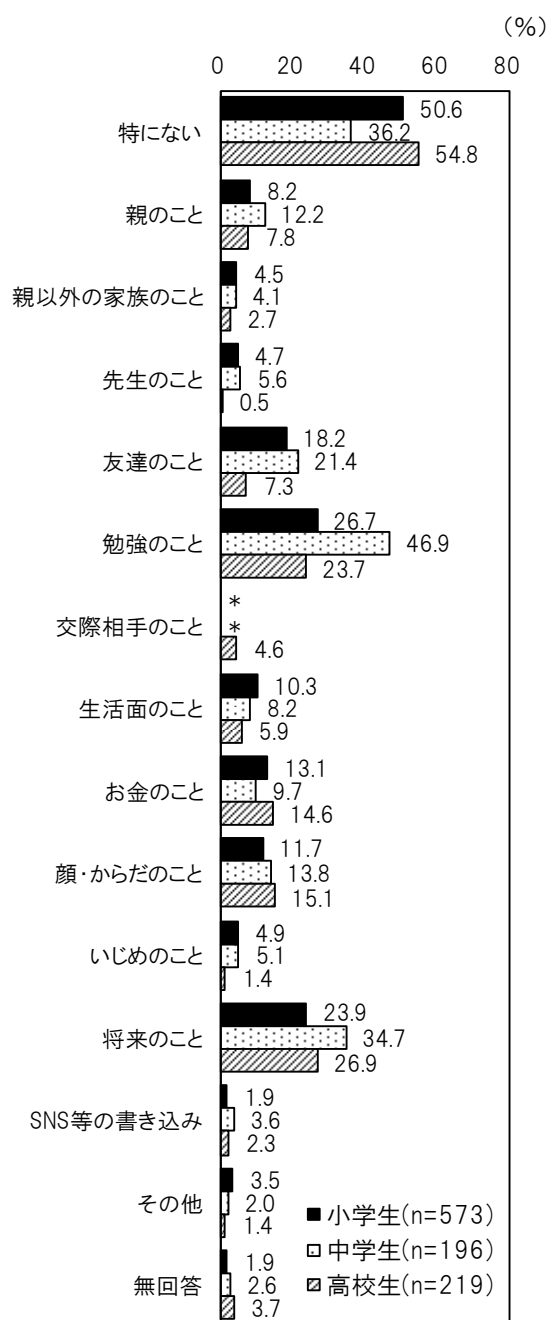
(1) 悩みや心配事＜対象：小学生(問9)・中学生(問12)・高校生(問11)＞

小学生、高校生は「特にない」とする回答が5割以上となっています。

具体的な悩みや心配事の内容の上位項目は、小学生と中学生の傾向はほぼ同様に、「勉強のこと」「将来のこと」「友達のこと」の順に高い割合となっています。

高校生については、「将来のこと」(26.9%)が最も高く、次いで「勉強のこと」(23.7%)、「顔・からだのこと」(15.1%)の順になっています。

図表 25 悩みや心配事(小中高生比較・全体)

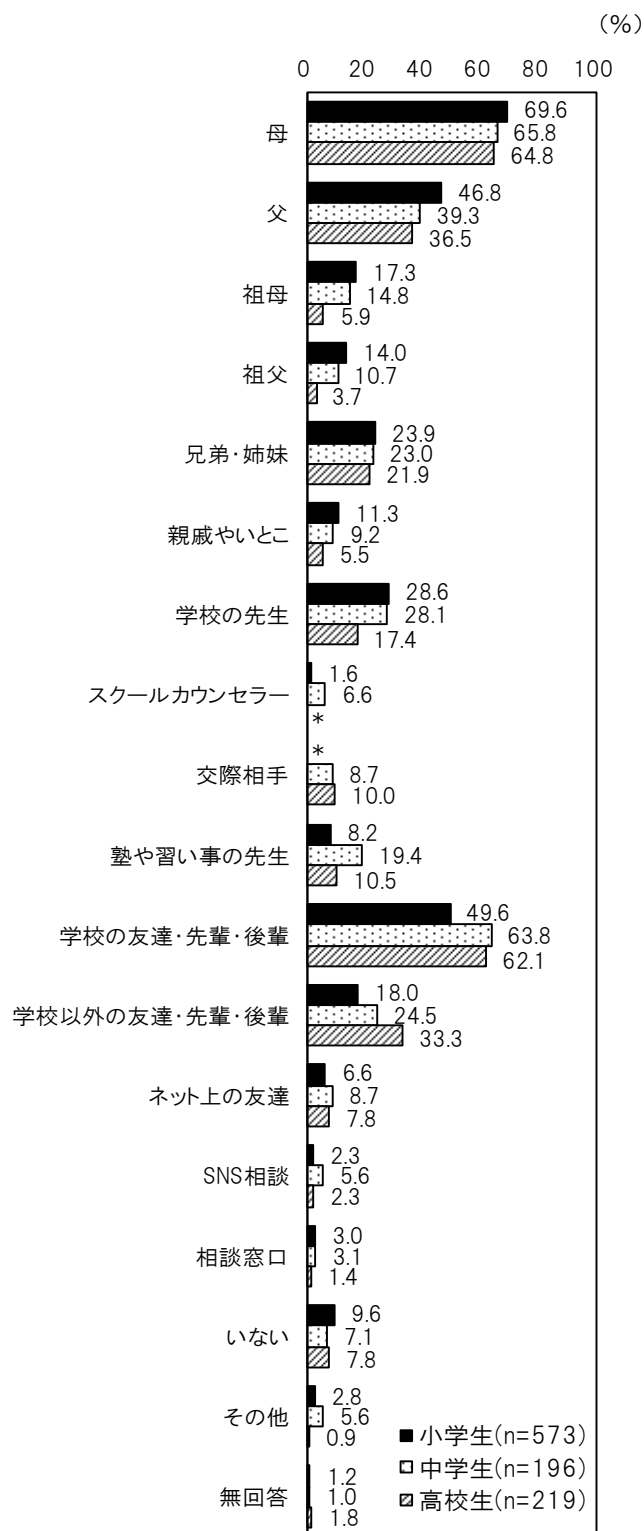


※「*」は選択肢がない項目

(2)悩みや心配事がある時の相談先<対象:小学生(問 10)・中学生(問 13)・高校生(問 12)>

小学生、中学生、高校生ともに傾向はほぼ同様に、「母」「学校の友達・先輩・後輩」「父」の順に回答が多くなっています。

図表 26 悩みや心配事がある時の相談先(小中高生比較・全体)



※「*」は選択肢がない項目

(3)相談窓口の認知度＜対象：小学生(問 11)・中学生(問 14)・高校生(問 13)＞

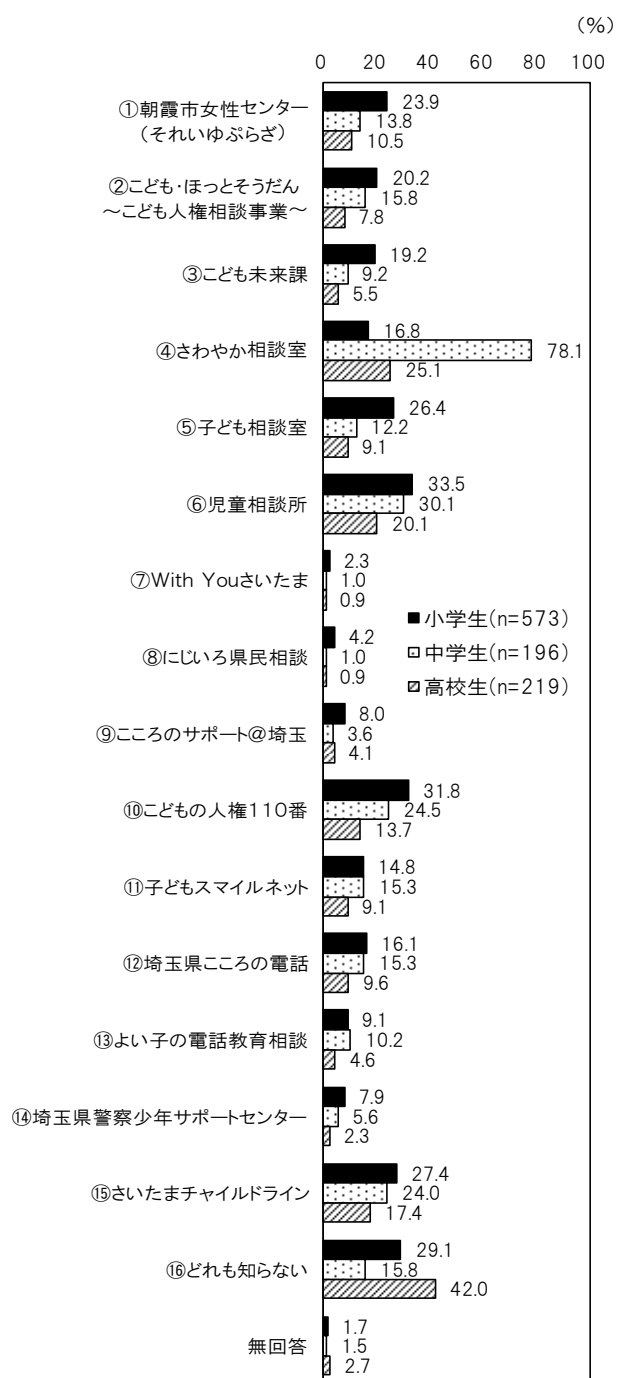
相談窓口の認知度の傾向は、小学生、中学生、高校生でやや異なっています。

小学生の認知度が高い相談窓口は、「⑥児童相談所」(33.5%)、「⑩こどもの人権 110 番」(31.8%)、「⑮さいたまチャイルドライン」(27.4%)の順になっています。

中学生の認知度が高い相談窓口は、「④さわやか相談室」(78.1%)、「⑥児童相談所」(30.1%)、「⑩こどもの人権 110 番」(24.5%)の順になっています。

高校生の認知度が高い相談窓口は、「④さわやか相談室」(25.1%)、「⑥児童相談所」(20.1%)、「⑮さいたまチャイルドライン」(17.4%)の順になっています。

図表 27 相談窓口の認知度(小中高生比較・全体)



(4)相談窓口の周知のための工夫<対象:小学生(問 12)・中学生(問 15)・高校生(問 14)>

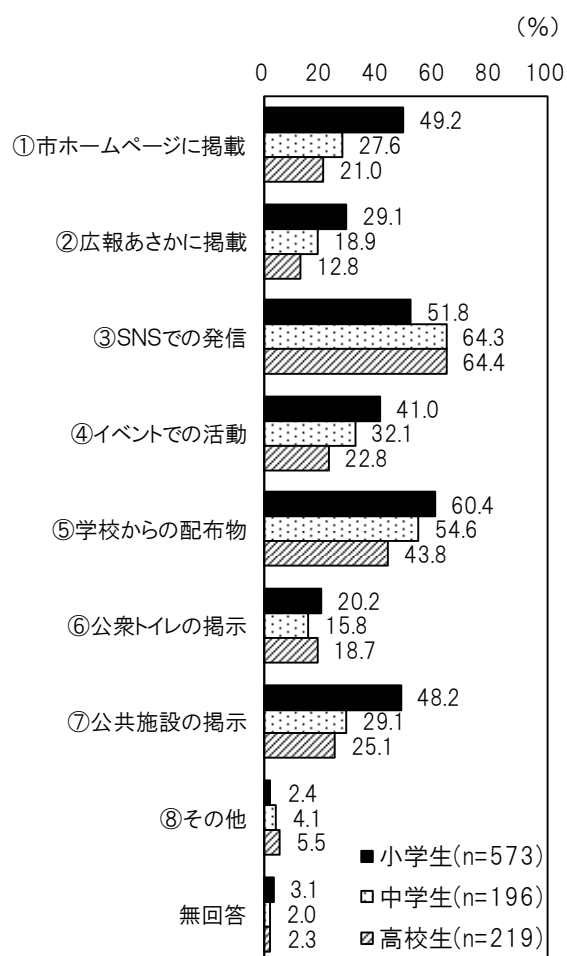
小学生については、「⑤学校からの配布物」が 60.4%で最も高く、次いで「③SNS での発信」(51.8%)、「①市ホームページに掲載」(49.2%)となっています。

中学生については、「③SNS での発信」が 64.3%で最も高く、次いで「⑤学校からの配布物」(54.6%)、「④イベントでの活動」(32.1%)となっています。

高校生については、「③SNS での発信」が 64.4%で最も高く、次いで「⑤学校からの配布物」(43.8%)、「⑦公共施設の掲示」(25.1%)となっています。

多くの項目では、小学生の回答率が最も高く、中学生、高校生の順に低くなっていますが、「③SNS での発信」については、小学生よりも中学生、高校生の割合の方が高くなっています。

図表 28 相談窓口の周知のための工夫(小中高生比較・全体)



Ⅲ. 調查結果

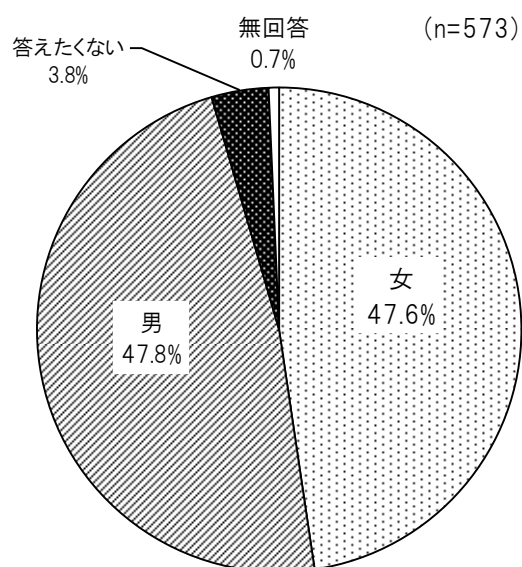
小 学 生 調 査

1. 回答者の属性について

(1)性別

問1 あなたの性別を教えてください。

図表 29 性別



■全体の回答傾向

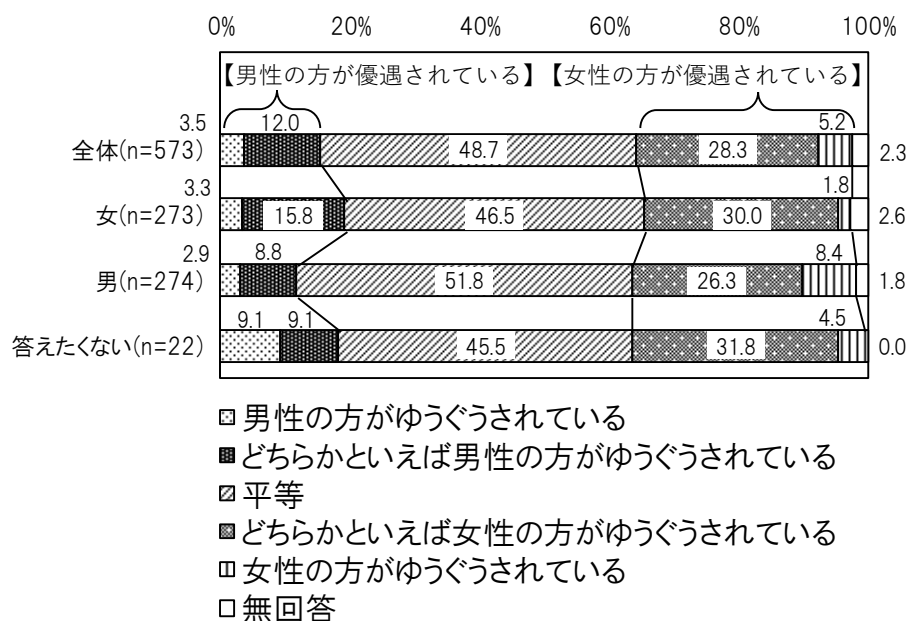
性別については「女」(女子)が 47.6%、「男」(男子)が 47.8%、「答えたくない」が 3.8%を占めています。

2. 男女の平等について

(1) 男女の平等について

問2 あなたはいろいろな場面において、男女は平等だと思いますか？(1つ選たく)

図表 30 男女は平等であるか(全体・性別)



■全体の回答傾向

男女は平等であるかについては、「平等」が 48.7%と半数近くを占めています。「女性の方がゆうぐうされている」「どちらかといえば女性の方がゆうぐうされている」の合計である【女性の方が優遇されている】は 33.5%、「男性の方がゆうぐうされている」と「どちらかといえば男性の方がゆうぐうされている」の合計である【男性の方が優遇されている】の 15.5%とは 18.0 ポイント差となり、男性よりも女性が優遇されていると感じることが多いようです。

■性別の回答傾向

性別でみると、【女性の方が優遇されている】については、女子が 31.8%、男子が 34.7%となっており、男子の方が 2.9 ポイント上回っています。【男性の方が優遇されている】については、女子は 19.1%、男子は 11.7%で女子の方が 7.4 ポイント上回っています。「平等」については、男子の方が女子(46.5%)よりも若干高い割合(51.8%)となっています。

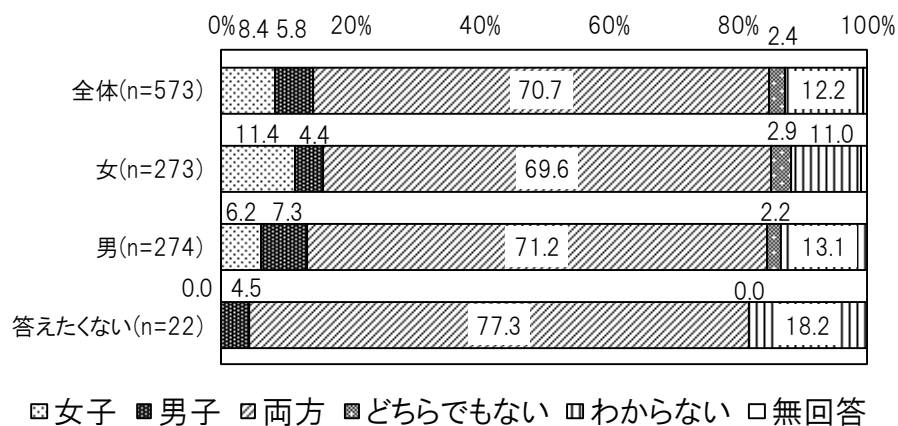
答えたくないと回答した人の傾向は、女子の回答傾向と類似しています。

(2)性別による向き不向き

問3 あなたは次のことについてどう思いますか。(1つ選たく)

① 児童会長はどちらが向いていると思うか。

図表 31 児童会長が向いていると思われる性別(全体・性別)



■全体の回答傾向

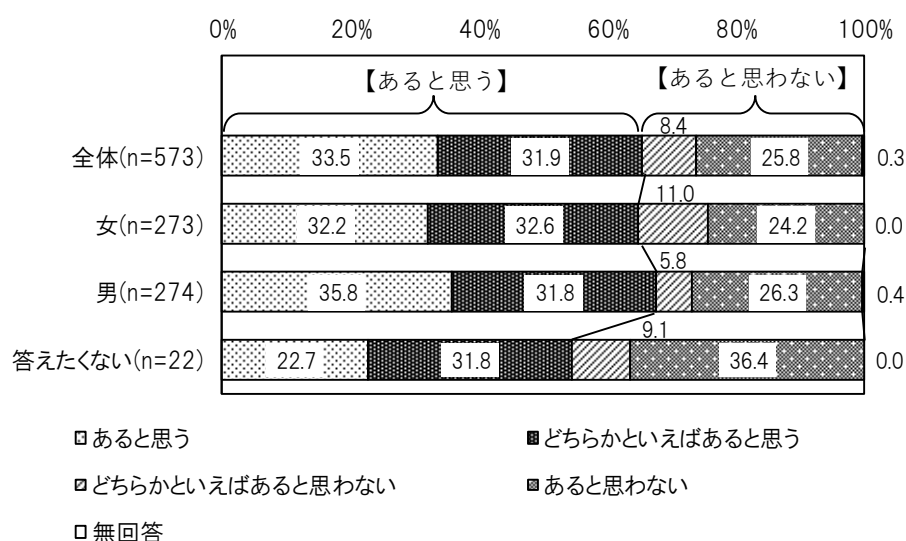
児童会長が向いていると思われる性別については、「両方」が70.7%で7割を占めています。

■性別の回答傾向

性別でみると、「女子」が向いていると回答した女子は11.4%、男子は6.2%で、女子の方が5.2ポイント上回っています。「男子」が向いていると回答した女子は4.4%、男子は7.3%で男子が2.9ポイント上回っています。答えたくないと回答した人では「女子」が向いていると回答した人はいません。

②学校の係で男子の方が向いている、女子の方が向いていると思う係はありますか。
(1つ選たく)

図表 32 性別によって向いている係があると思うか(全体・性別)



■全体の回答傾向

学校の係で男子の方が、あるいは女子の方が向いていると思う係があると思うかについては、「あると思う」「どちらかといえばあると思う」の合計の【あると思う】は 65.4%となり、「どちらかといえばあると思わない」「あると思わない」の合計の【あると思わない】(34.2%)を 31.2 ポイント上回っています。

■性別の回答傾向

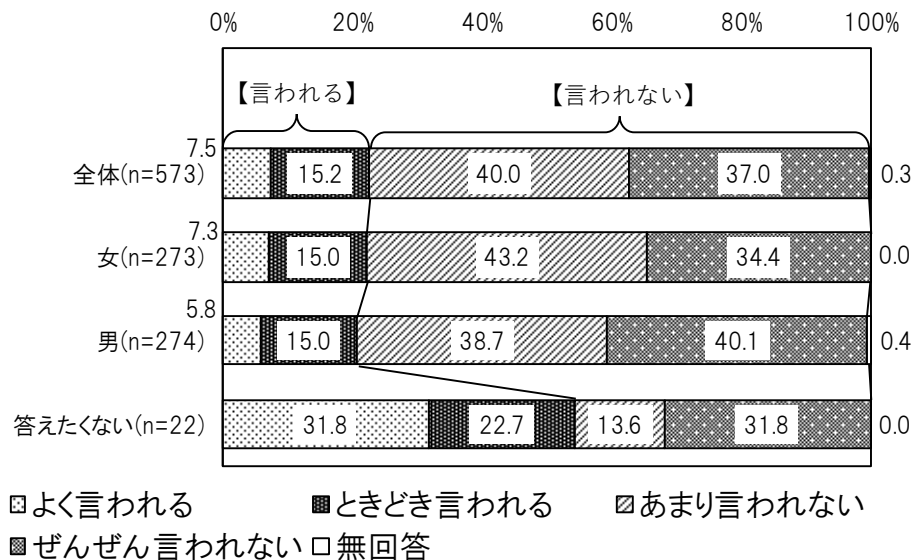
性別でみると、【あると思う】と回答した女子は 64.8%、男子は 67.6%となっており、2.8 ポイント差で男子が上回っています。一方、【あると思わない】と回答した女子は 35.2%、男子は 32.1%となっており、3.1 ポイント差で女子が上回っています。

答えたくないと回答した人は【あると思う】の合計が 54.5%となり、【あると思わない】(45.5%)を 9.0 ポイント上回っていますが、女子や男子の結果と比較するとその差は僅差となっています。

(3)男らしさ・女らしさの押し付け

問4 あなたは大人の人に「男だから〇〇しなさい」や「女だから〇〇しなさい」と言われたことがありますか。(1つ選たく)

図表 33 男らしさ・女らしさの押し付け(全体・性別)



■全体の回答傾向

「男らしくしなさい」や「女らしくしなさい」と言われた経験があるかどうかについては、「あまり言われない」が 40.0%となります。「あまり言われない」「ぜんぜん言われない」の合計である【言われない】は 77.0%となり、「よく言われる」「ときどき言われる」の合計の【言われる】(22.7%)よりも 54.3 ポイント上回っています。

■性別の回答傾向

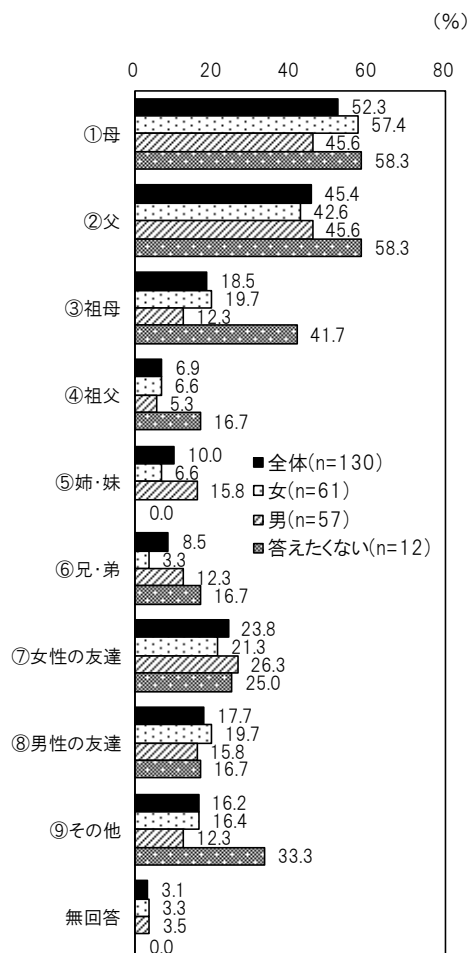
性別でみると、「ぜんぜん言われない」が女子は 34.4%、男子は 40.1%となっており、男子が 5.7 ポイント上回っています。「あまり言われない」も加えた【言われない】の割合は、女子は 77.6%、男子は 78.8%となっており、ほとんど同程度の割合となっています。【言われる】の割合は女子・男子ともに約2割程度となっています。

一方、答えたくないと回答した人の【言われる】の割合は 54.5%と過半数を占めており、女子・男子とは異なる傾向となっています。

(4)男らしさ・女らしさを押し付ける周囲の人について

問5 問4で「よく言われる」または「ときどき言われる」と答えた方にお聞きます。それは、だれに言われましたか。(当てはまるものすべてを選たく)

図表 34 男らしさ・女らしさを押し付ける周囲の人(全体・性別)



■全体の回答傾向

男らしさや女らしさを押し付ける周囲の人は、「①母」が 52.3%で最も高く、次いで「②父」が 45.4%、「⑦女性の友達」が 23.8%で上位となっています。

「⑨その他」の具体的な内容については、「(幼稚園や学校の)先生」や「習い事の先生(コーチ・監督)」などがあげられています。

■性別の回答傾向

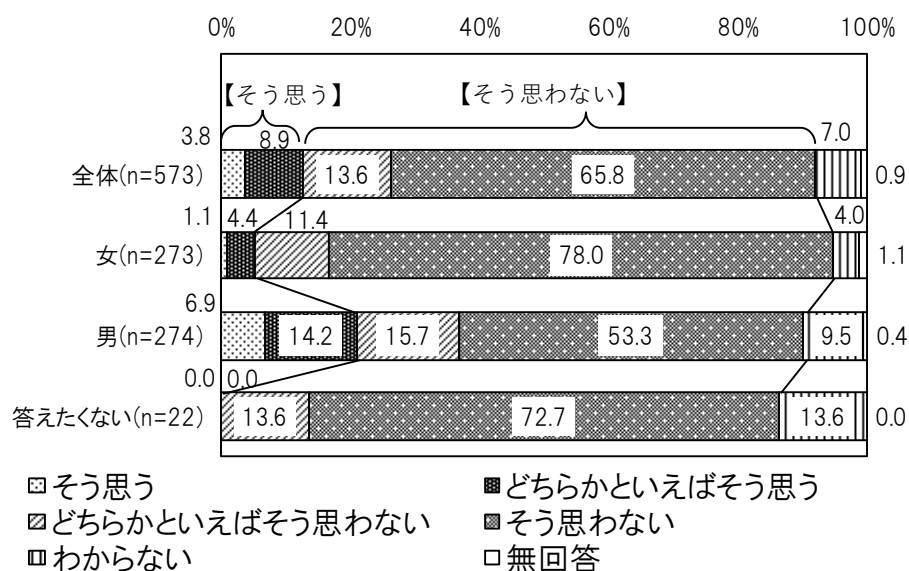
性別でみると、男女差が最も大きかった回答は「①母」となっており、女子は 57.4%、男子は 45.6%で、女子が 11.8 ポイント上回っています。次いで「⑤姉・妹」となっており、女子は 6.6%、男子は 15.8%で、男子が 9.2 ポイント上回っています。

答えたくないと回答した人は「①母」「②父」それぞれ 58.3%と過半数を占めています。次いで、「③祖母」が 41.7%となっています。特に、「②父」「③祖母」「④祖父」の割合は女子や男子よりも非常に高く、親族からの干渉が多いことがうかがえます。

(5)「男は仕事に専念して、女は家庭を守るべき」という考え方について

問6 「男は仕事に専念(せんねん)して、女は家庭を守るべき(家事や子育てなどに専念)」とあなたは思いますか。(1つ選たく)

図表 35 「男は仕事に専念して、女は家庭を守るべき」という考え方について
(全体・性別)



■全体の回答傾向

「男は仕事に専念して、女は家庭を守るべき」という性別役割分担に基づく考え方について、「そう思わない」が 65.8%と過半数を占めています。「どちらかといえばそう思わない」「そう思わない」の合計である【そう思わない】は 79.4%となり、「そう思う」「どちらかといえばそう思う」の合計である【そう思う】(12.7%)を 66.7 ポイント上回っています。

■性別の回答傾向

性別でみると、【そう思う】は女子が 5.5%、男子が 21.1%となっており、男子が 15.6 ポイント上回っています。【そう思わない】は女子が 89.4%、男子が 69.0%となっており、女子の方が 20.4 ポイント上回っています。

答えたくないと回答した人においては、【そう思う】の割合は 0%となり、【そう思わない】(86.3%)が 86.3 ポイント上回っています。

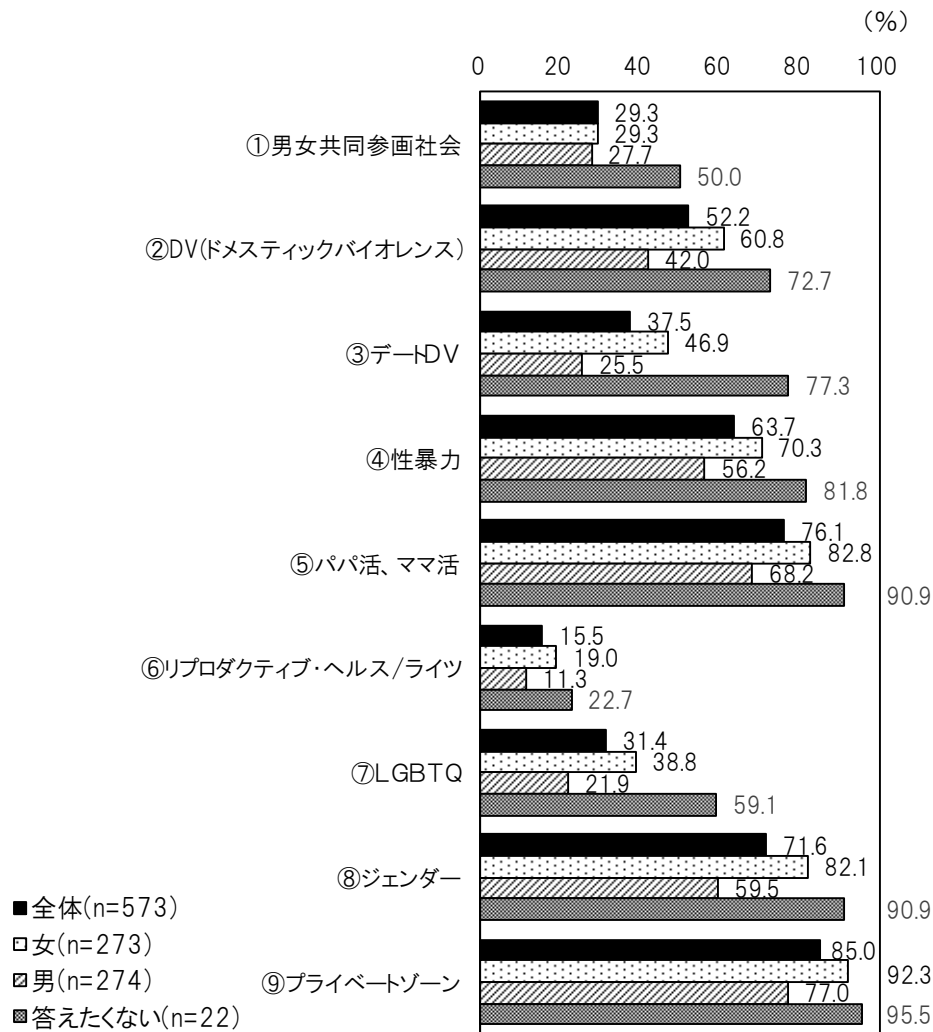
3. 用語の認知度について

(1) 男女共同参画関連の用語の認知度

問7 あなたは次の言葉を知っていますか？(①～⑨それぞれについて1つ選たく)

図表 36 男女共同参画関連の用語の認知度(全体・性別)

※グラフは「知っている」と回答した割合



■全体の回答傾向

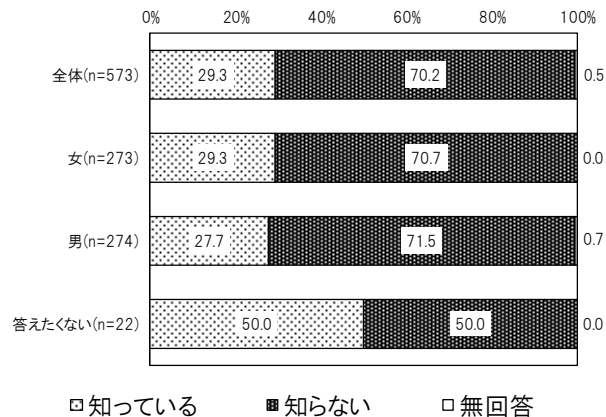
男女共同参画の用語の認知度については、「⑨プライベートゾーン」が最も高く 85.0%の認知度です。次いで「⑤パパ活、ママ活」が 76.1%、「⑧ジェンダー」が 71.6%となっています。

■性別の回答傾向

性別でみると、すべての項目において答えたくない人の認知度が最も高く、続いて女子・男子の順になっています。

① 男女共同参画社会

図表 37 「男女共同参画社会」という言葉の認知度(全体・性別)



■全体の回答傾向

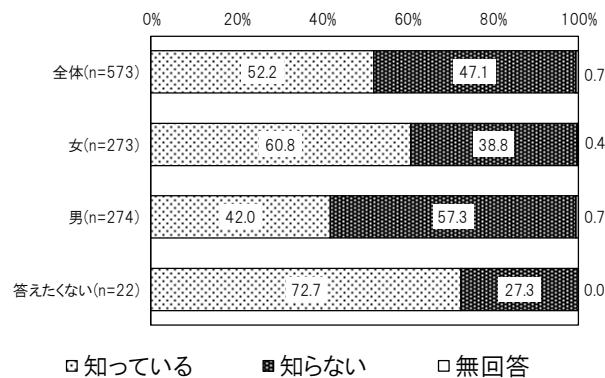
「男女共同参画社会」という言葉の認知度については、「知らない」が 70.2%となり、7割を占めています。「知っている」(29.3%)と比較すると、40.9 ポイント上回っています。

■性別の回答傾向

女子と男子では回答傾向に大きな違いは見られません。答えたくないと回答した人は「知っている」が 50.0%となり、女子・男子と比較すると高い認知度となっています。

② DV(ドメスティック・バイオレンス)

図表 38 「DV(ドメスティック・バイオレンス)」という言葉の認知度(全体・性別)



■全体の回答傾向

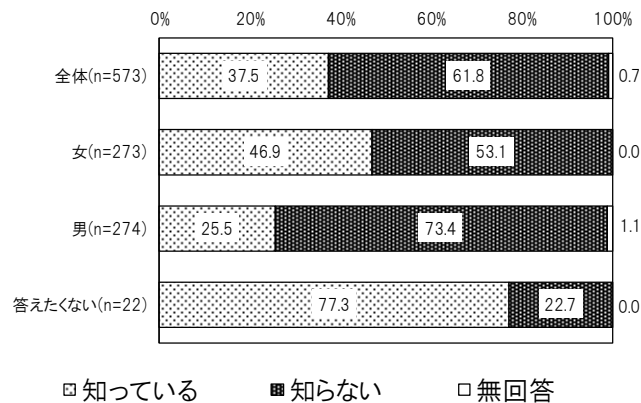
「DV(ドメスティック・バイオレンス)」という言葉の認知度については、「知っている」が 52.2%で、「知らない」(47.1%)を 5.1 ポイント上回っています。

■性別の回答傾向

性別でみると、「知っている」と回答した女子は 60.8%となっています。男子は 42.0%で、その差は 18.8 ポイントとなっています。答えたくないと回答した人は「知っている」が 72.7%となり「知らない」(27.3%)を 45.4 ポイント上回っています。

③ デートDV

図表 39 「デートDV」という言葉の認知度(全体・性別)



■全体の回答傾向

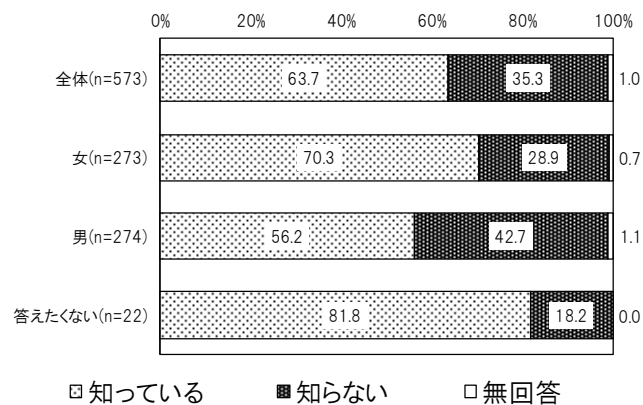
「デートDV」という言葉の認知度については、「知らない」が61.8%で過半数を占めており、「知っている」(37.5%)を24.3ポイント上回っています。

■性別の回答傾向

性別でみると、「知っている」と回答した女子は46.9%、男子は25.5%にとどまり、その差は21.4ポイントとなっています。答えたくないと回答した人は「知っている」の割合が77.3%と非常に高く、女子・男子の割合を大きく上回っています。

④ 性暴力

図表 40 「性暴力」という言葉の認知度(全体・性別)



■全体の回答傾向

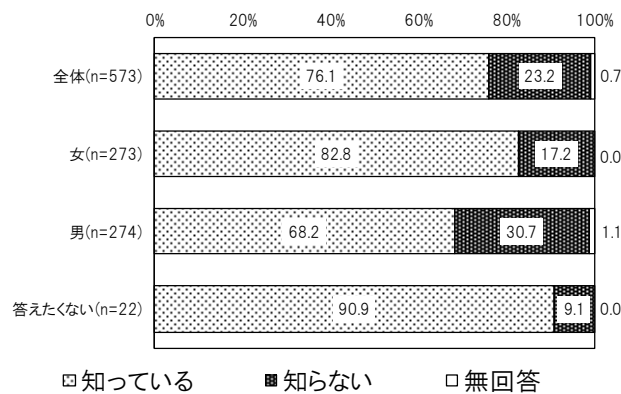
「性暴力」という言葉の認知度については、「知っている」が63.7%で過半数を占めており、「知らない」(35.3%)を28.4ポイント上回っています。

■性別の回答傾向

性別でみると、「知っている」と回答した女子は70.3%、男子は56.2%となっており、その差は14.1ポイントとなっています。答えたくないと回答した人は「知っている」の割合が81.8%と非常に高く、女子・男子を大きく上回っています。

⑤ パパ活、ママ活

図表 41 「パパ活、ママ活」という言葉の認知度(全体・性別)



■全体の回答傾向

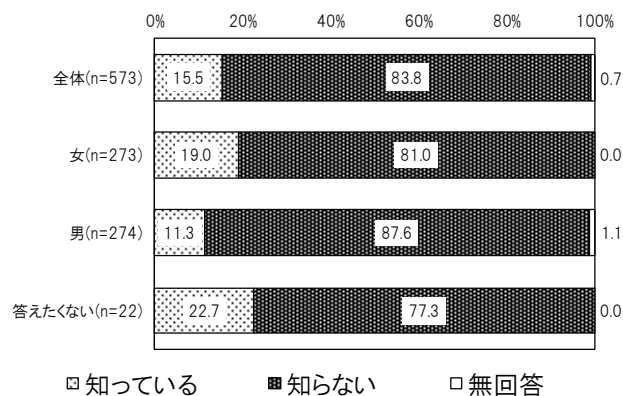
「パパ活、ママ活」という言葉の認知度については、「知っている」が 76.1%となり約7割を占めており、「知らない」(23.2%)を 52.9 ポイント上回っています。

■性別の回答傾向

性別でみると、「知っている」と回答した女子は 82.8%、男子は 68.2%となっており、その差は 14.6 ポイントとなっています。答えたくないと回答した人は「知っている」の割合が 90.9%と非常に高く、女子・男子を大きく上回っています。

⑥ リプロダクティブ・ヘルス／ライツ

図表 42 「リプロダクティブ・ヘルス／ライツ」という言葉の認知度(全体・性別)



■全体の回答傾向

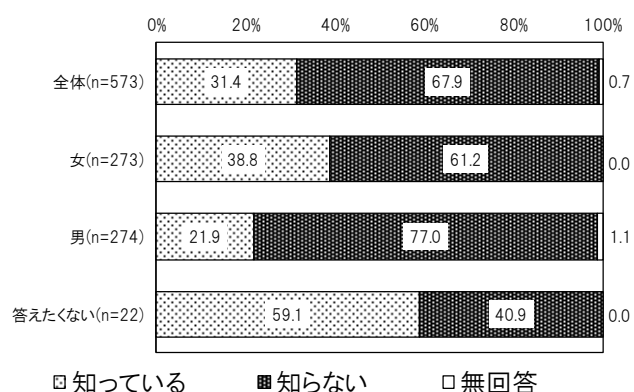
「リプロダクティブ・ヘルス／ライツ」という言葉の認知度については、「知らない」が 83.8%と高い比率となっており、「知っている」(15.5%)を 68.3 ポイント上回っています。

■性別の回答傾向

性別でみると、「知っている」と回答した女子は 19.0%、男子は 11.3%となっており、その差は 7.7 ポイントとなっています。答えたくないと回答した人は「知っている」の割合が 22.7%と、女子よりもさらに 3.7 ポイント高くなっています。

⑦ LGBTQ

図表 43 「LGBTQ」という言葉の認知度(全体・性別)



■全体の回答傾向

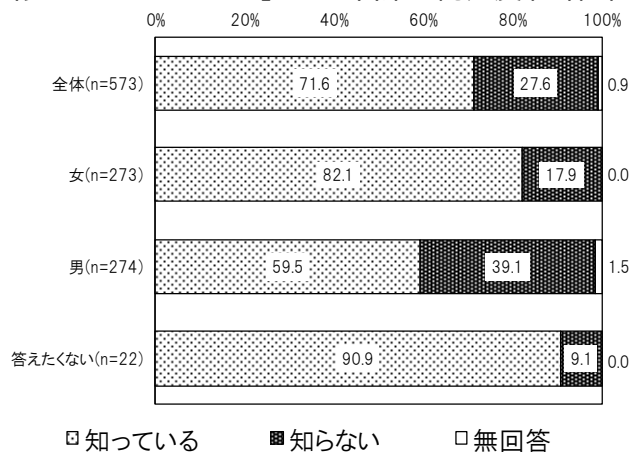
「LGBTQ」という言葉の認知度については、「知らない」が 67.9%と約7割を占めており、「知っている」(31.4%)を 36.5 ポイント上回っています。

■性別の回答傾向

性別でみると、「知っている」と回答した女子は 38.8%、男子は 21.9%となっており、その差は 16.9 ポイントです。答えたくないと回答した人は「知っている」が 59.1%と過半数を占めており、女子・男子の割合を大きく上回っています。

⑧ ジェンダー

図表 44 「ジェンダー」という言葉の認知度(全体・性別)



■全体の回答傾向

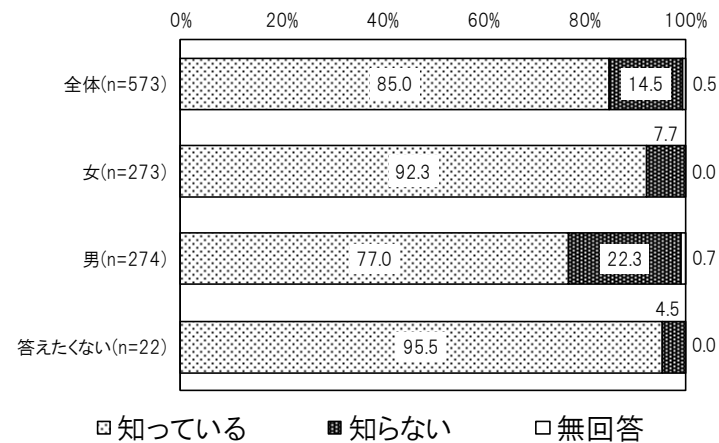
「ジェンダー」という言葉の認知度については、「知っている」が 71.6%と約7割を占めており、「知らない」(27.6%)を 44.0 ポイント上回っています。

■性別の回答傾向

性別でみると、「知っている」と回答した女子は 82.1%、男子は 59.5%で、その差は 22.6 ポイントとなっています。答えたくないと回答した人は「知っている」が 90.9%となっており、女子・男子の割合を大きく上回っています。

⑨プライベートゾーン

図表 45 「プライベートゾーン」という言葉の認知度(全体・性別)



■全体の回答傾向

「プライベートゾーン」という言葉の認知度については、「知っている」が 85.0%と高い比率となっており、「知らない」(14.5%)を 70.5 ポイント上回っています。

■性別の回答傾向

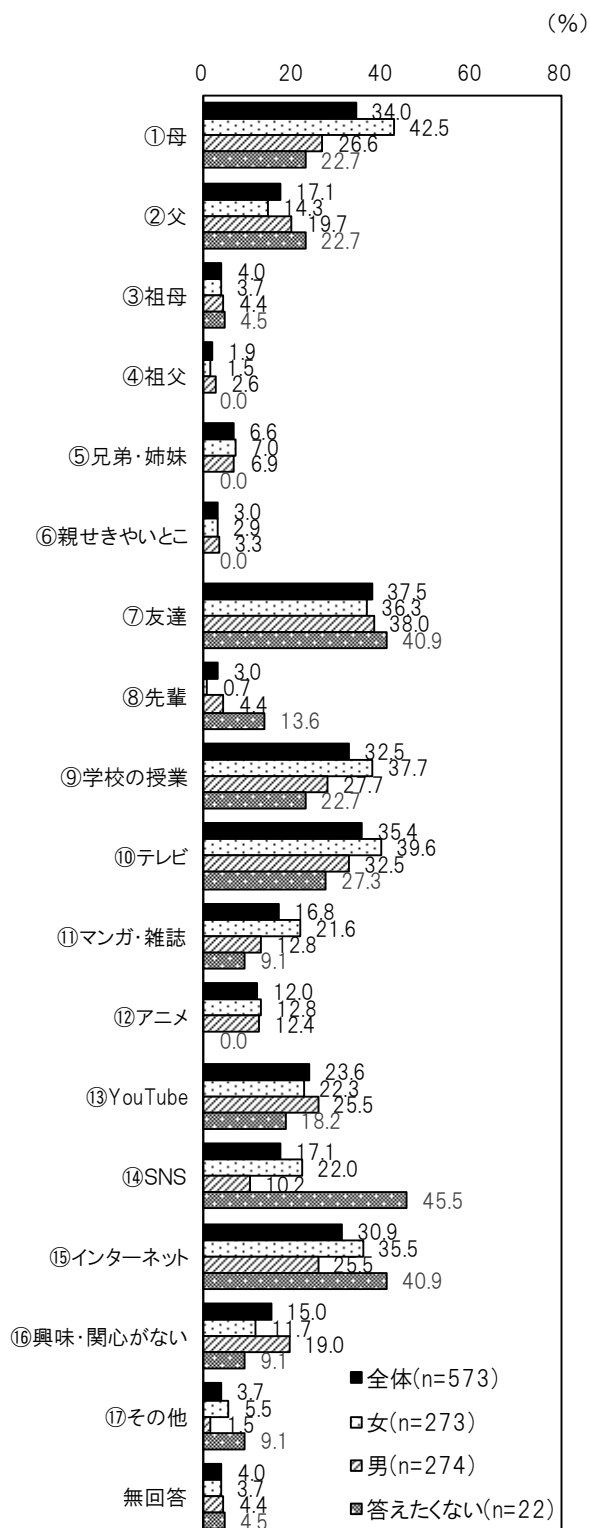
性別でみると、「知っている」と回答した女子は 92.3%、男子は 77.0%となっており、その差は 15.3 ポイントです。答えたくないと回答した人は「知っている」が 95.5%と非常に高い認知度となっています。

4. 性に関する情報について

(1)性に関する情報

問8 あなたは性に関する情報をどこから知りますか。(あてはまるものすべてを選たく)

図表 46 性に関する情報の入手先(全体・性別)



■全体の回答傾向

性に関する情報の入手先として、「⑦友達」が37.5%で最も高く、次いで「⑩テレビ」が35.4%、「①母」が34.0%と上位になっています。

「⑰その他」の具体的な内容については、「書籍(本)」や「年上の知人」、「知らない」、「特になし」などがあげられています。

■性別の回答傾向

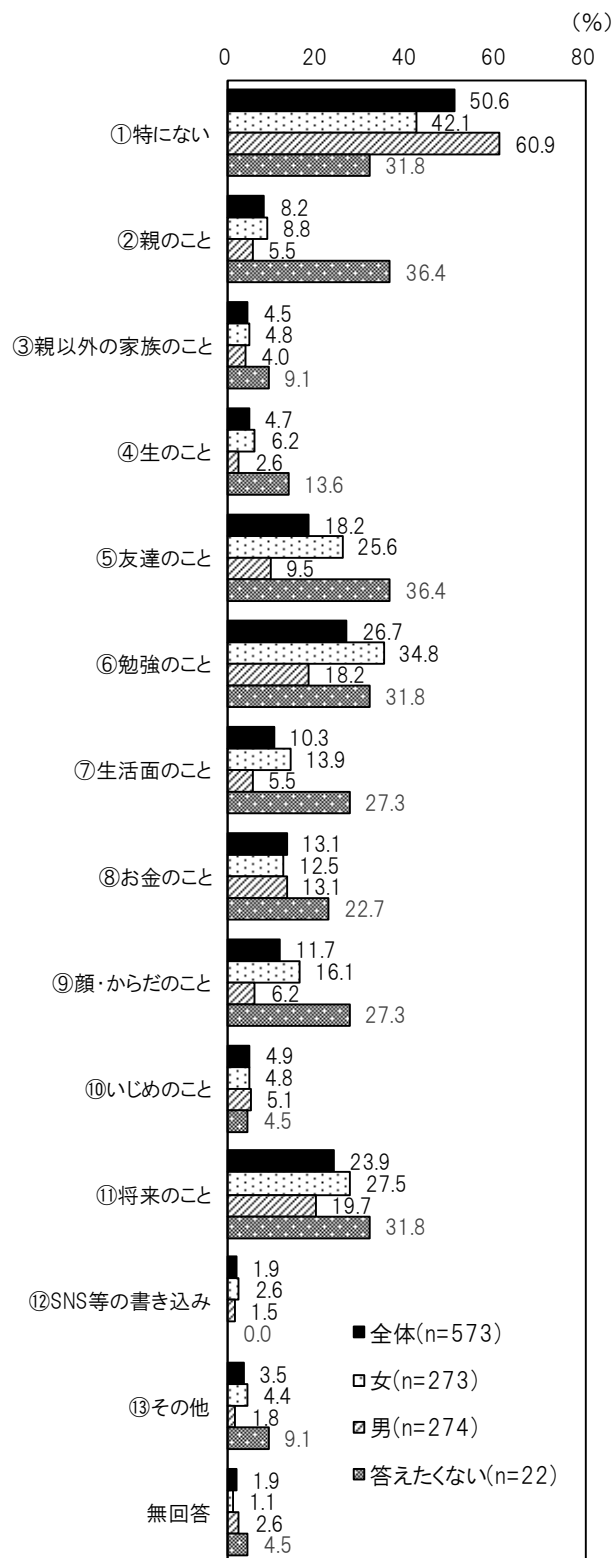
性別でみると、女子は「①母」が42.5%と最も高く、次いで「⑩テレビ」39.6%、「⑨学校の授業」37.7%となっています。男子は「⑦友達」が最も高く38.0%、次いで「⑩テレビ」32.5%、「⑨学校の授業」27.7%となっています。答えたくないと回答した人は「⑭SNS」が最も高く45.5%、次いで「⑦友達」「⑮インターネット」がそれぞれ40.9%となっています。

5. 悩みや心配事について

(1) 悩みや心配事

問9 あなたの悩(なや)みや心配事(しんぱいごと)は何ですか。(あてはまるものすべてを選たく)

図表 47 悩みや心配事(全体・性別)



■全体の回答傾向

悩みや心配事については、「①特にない」が 50.6%で最も高くなっています。

具体的な悩み事がある場合は、「⑥勉強のこと」が 26.7%で最も高く、次いで「⑪将来のこと」(23.9%)、「⑤友達のこと」(18.2%)が上位となっています。

「③その他」の具体的な内容については、「自分の性格について」や「性的指向のこと」、「学校のこと」、「誰も気持ちをわかってくれない」、「色んなものからくるプレッシャー」などがあげられています。

■性別の回答傾向

性別でみると、「①特にない」の割合は、女子が 42.1%、男子が 60.9%と、性別によって傾向が異なっています。

具体的な悩み事がある場合については、女子は「⑥勉強のこと」(34.8%)、「⑪将来のこと」(27.5%)、「⑤友達のこと」(25.6%)が上位となっています。

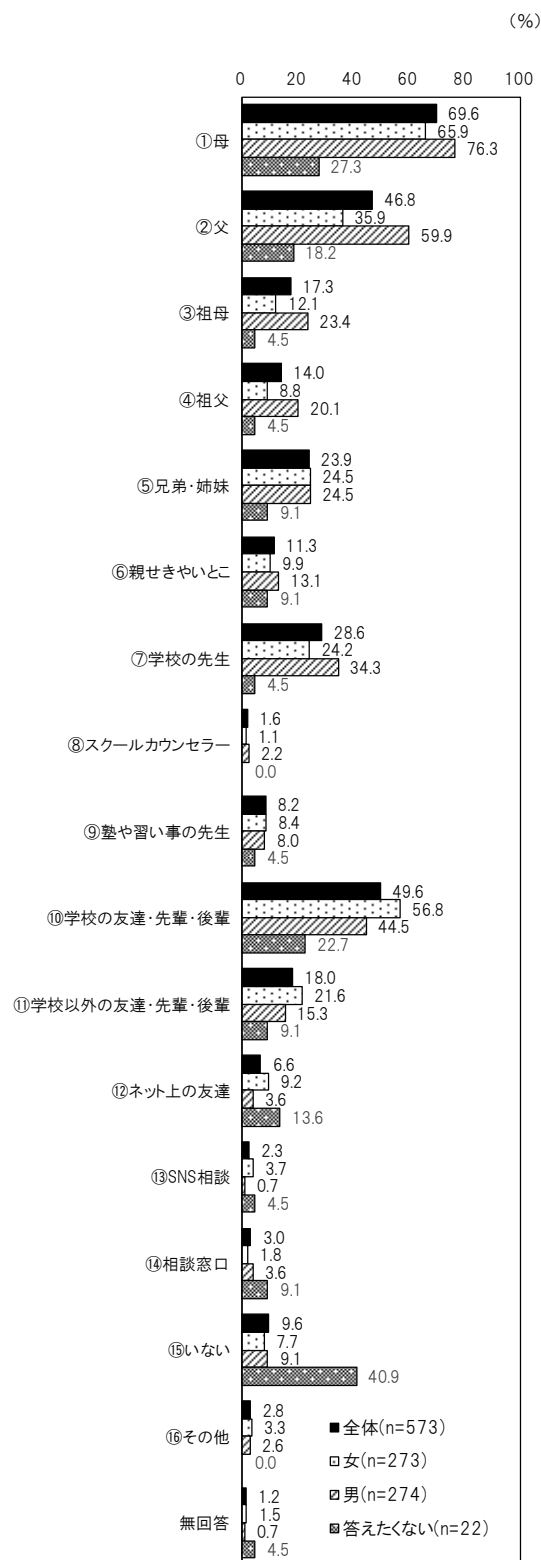
男子は「⑪将来のこと」(19.7%)、「⑥勉強のこと」(18.2%)、「⑧お金のこと」(13.1%)が上位となっています。

答えたくないと回答した人は「②親のこと」「⑤友達のこと」がともに 36.4%、次いで「⑥勉強のこと」「⑪将来のこと」がともに 31.8%で上位となっています。答えたくないと回答した人の特徴として、女子・男子と比べて「①特にない」の割合が低く、具体的な悩み事の割合が非常に高いことがあげられます。

(2) 悩みや心配事がある時の相談先

問 10 あなたは悩(なや)みや心配事(しんぱいごと)があるとき、相談(そうだん)できる人は誰ですか。(あてはまるものすべてを選たく)

図表 48 悩みや心配事がある時の相談先(全体・性別)



■全体の回答傾向

悩みや心配事がある時の相談先については、「①母」が最も高く 69.6%、次いで「⑩学校の友達・先輩・後輩」が 49.6%、「②父」が 46.8%と上位になっています。

「⑥その他」の具体的な内容については、「信頼できる人」や「心理士」、「親以外」、「悩みはない」などがあげられています。

■性別の回答傾向

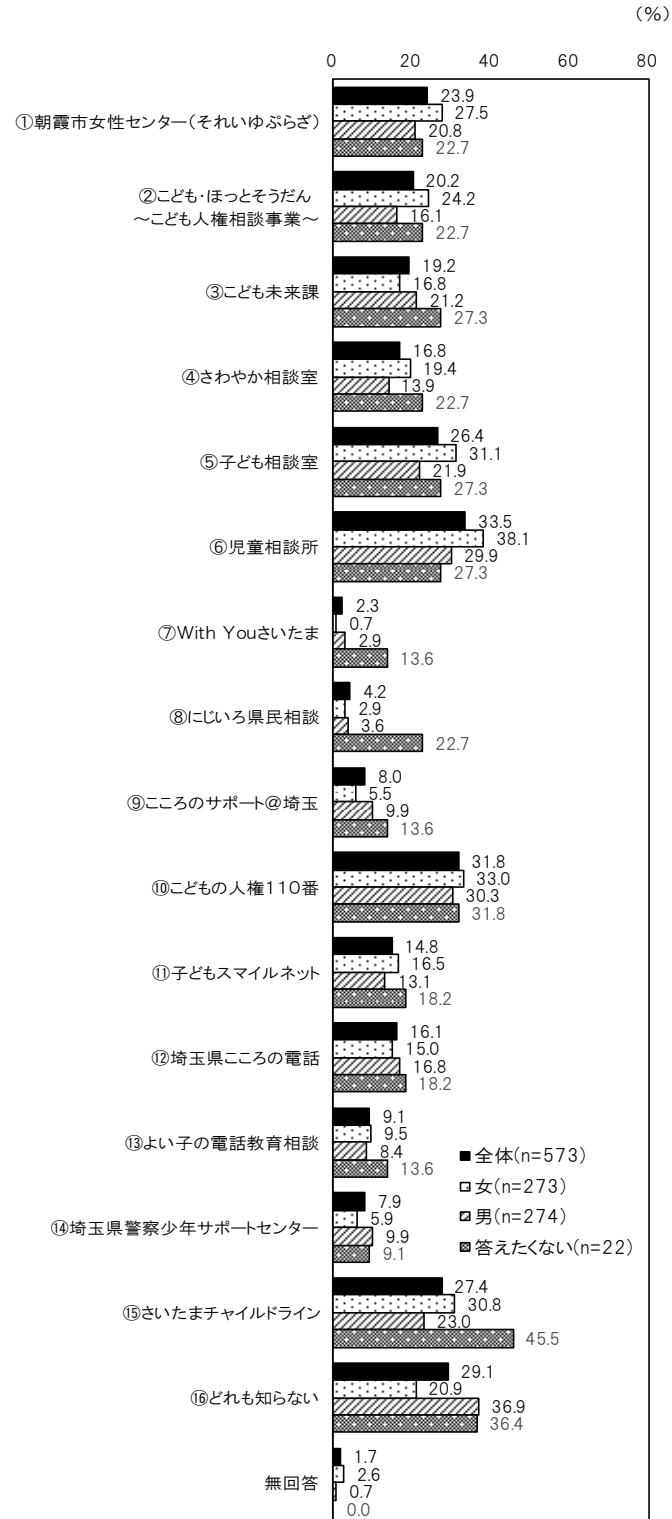
性別でみると、男女差が最も大きかった回答は「②父」となっており、女子は 35.9%、男子は 59.9%で、その差は 24.0 ポイントで男子が上回っています。次いで「⑩学校の友達・先輩・後輩」となり、女子は 56.8%、男子は 44.5%で、その差は 12.3 ポイントで女子が上回っています。

答えたくないと回答した人は「⑤いない」の割合が最も高く 40.9%となっています。この割合は女子・男子と比較するとそれぞれ 30 ポイント以上高くなっています。次いで「①母」が 27.3%、「⑩学校の友達・先輩・後輩」が 22.7%となっています。

(3)相談窓口の認知度

問 11 あなたは次の相談窓口で知っているものはどれですか？
(あてはまるものすべてを選たく)

図表 49 相談窓口の認知度(全体・性別)



■全体の回答傾向

相談窓口の認知度について、「⑥児童相談所」が 33.5%で最も高く、次いで「⑩こどもの人権 110 番」(31.8%)、「⑮さいたまチャイルドライン」(27.4%)が上位となっています。

また、「⑯どれも知らない」は 29.1%で比較的高い割合となっています。

■性別の回答傾向

性別でみると、性別による差が大きかった回答は「⑯どれも知らない」で、女子は 20.9%、男子は 36.9%、答えたくない人は 36.4%です。男子の割合は女子よりも 16.0 ポイント高く、答えたくない人の割合は女子よりも 15.5 ポイント高くなっています。

認知度が高い相談窓口についてみると、女子は「⑥児童相談所」が 38.1%で最も高く、次いで「⑩こどもの人権 110 番」(33.0%)、「⑤子ども相談室」(31.1%)となっています。

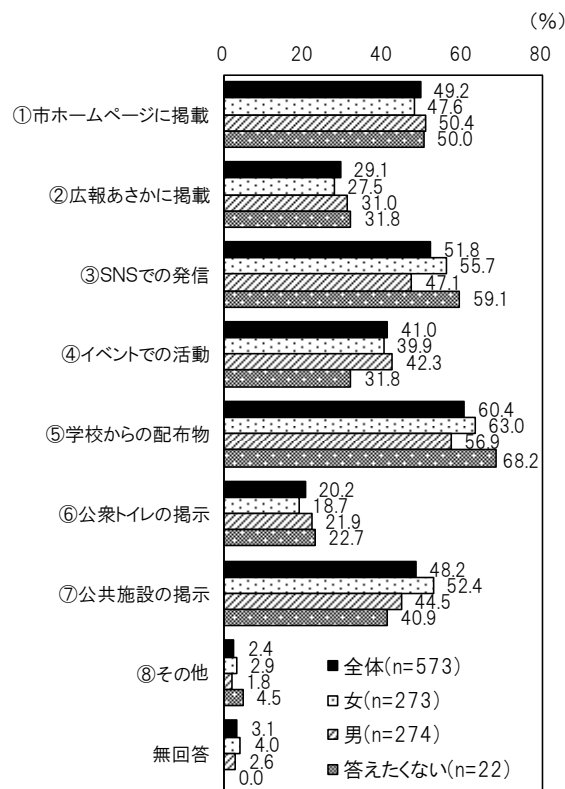
男子は「⑩こどもの人権 110 番」(30.3%)で最も高く、次いで「⑥児童相談所」(29.9%)、「⑮さいたまチャイルドライン」(23.0%)となっています。

答えたくないと回答した人は「⑮さいたまチャイルドライン」45.5%で最も高くなっています。「⑮さいたまチャイルドライン」の回答率は、女子よりも 14.7 ポイント高く、男子よりも 22.5 ポイント高くなっています。次いで「⑩こどもの人権 110 番」が 31.8%、「③こども未来課」「⑤子ども相談室」「⑥児童相談所」がいずれも 27.3%となっています。

(4)相談窓口周知のための工夫

問 12 相談窓口を多くの人に知ってもらうにはどんな工夫をしたら良いと思いますか。
(あてはまるものすべて選択)

図表 50 相談窓口の周知のための工夫(全体・性別)



■全体の回答傾向

相談窓口の周知のための工夫について、「⑤学校からの配布物」が60.4%で最も高く、次いで「③SNSでの発信」が51.8%、「①市ホームページに掲載」が49.2%で上位となっています。

■性別の回答傾向

性別でみると、女子・男子・答えたくない人のいずれも「⑤学校からの配布物」が最も高くなっています。「③SNSでの発信」は女子・答えたくない人の回答割合はともに5割を超えており、2番目に高くなっています。男子で2番目に高かった回答は「①市ホームページに掲載」で50.4%となっています。

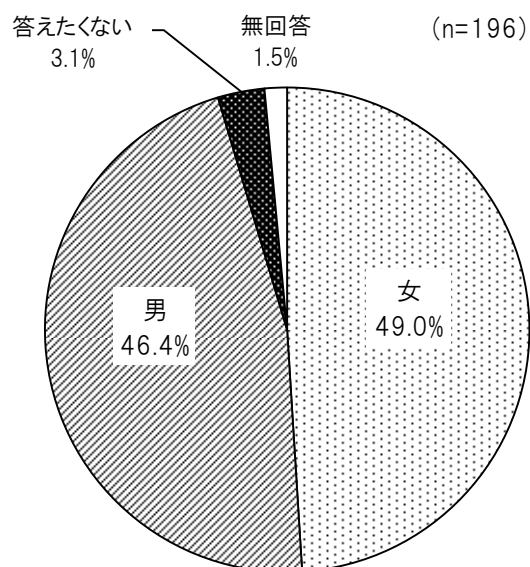
中 学 生 調 査

1. 回答者の属性について

(1)性別

問1 あなたの性別を教えてください。

図表 51 性別



■全体の回答傾向

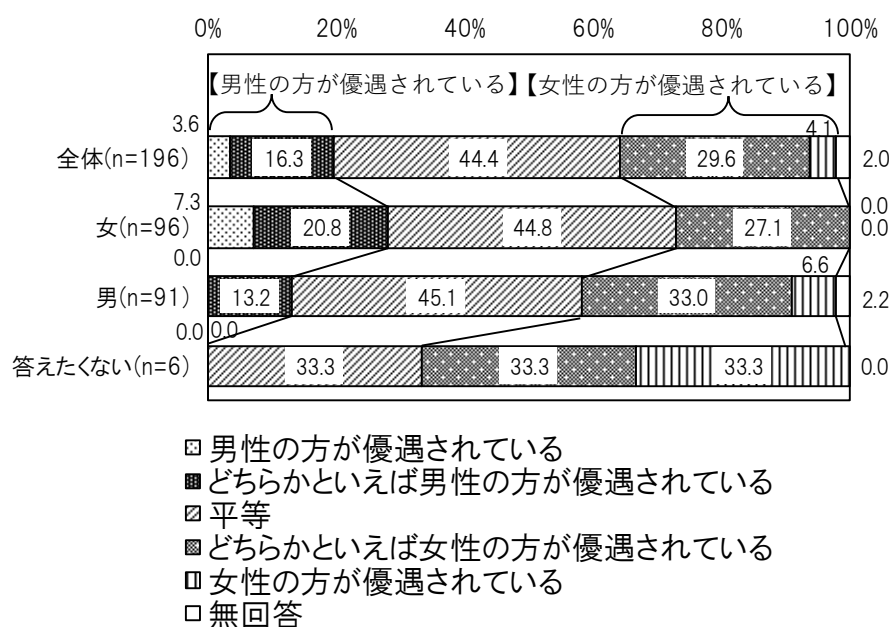
性別については「女」(女子)が 49.0%、「男」(男子)が 46.4%、「答えたくない」が 3.1%を占めています。

2. 男女の平等について

(1) 男女の平等について

問2 あなたはいろいろな場面において、男女は平等だと思いますか？(1つ選択)

図表 52 男女は平等であるか(全体・性別)



■全体の回答傾向

男女は平等に扱われているかどうかについては、「平等」が最も高く 44.4%です。「どちらかといえば女性の方が優遇されている」「女性の方が優遇されている」の合計である【女性の方が優遇されている】は 33.7%となり、「男性の方が優遇されている」「どちらかといえば男性の方が優遇されている」の合計である【男性の方が優遇されている】(19.9%)を 13.8 ポイント差で上回っています。

■性別の回答傾向

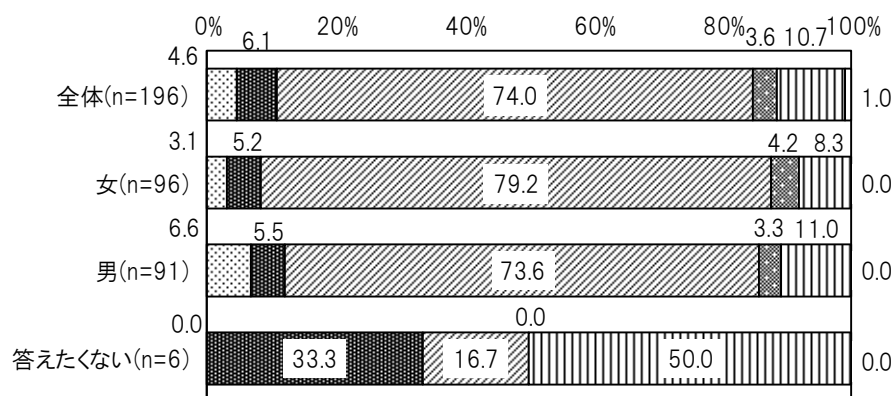
性別でみると、【男性の方が優遇されている】の割合は、女子は 28.1%、男子は 13.2%と、14.9 ポイント差で女子が上回っています。対照的に【女性の方が優遇されている】の割合は、女子は 27.1%、男子は 39.6%と 12.5 ポイント差で男子の方が上回っています。答えたくないと回答した人においては【女性の方が優遇されている】が 66.6%と突出して高い割合となっています。

(2)性別による向き不向き

問3 あなたは次のことについてどう思いますか。(1つ選択)

① 生徒会長はどちらが向いていると思うか。

図表 53 生徒会長が向いていると思われる性別(全体・性別)



□女子 ■男子 ▨両方 ■どちらでもない ▩わからない □無回答

■全体の回答傾向

生徒会長が向いていると思われる性別については、「両方」が74.0%と高い比率となっています。

■性別の回答傾向

性別でみると、「両方」の割合は女子が79.2%、男子は73.6%で、女子の方が男子よりも5.6ポイント上回っています。

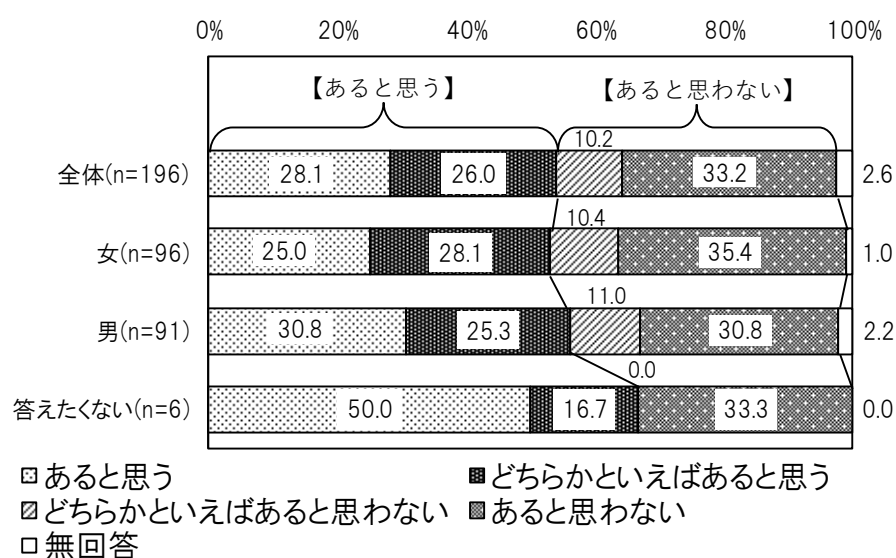
「女子」の方が向いているという回答は、女子が3.1%、男子が6.6%で、男子の方が3.5ポイント上回っています。

「男子」の方が向いているという回答は、女子が5.2%、男子が5.5%で、男子の方がやや高い割合となっています。

また、答えたくないと回答した人は、「男子」と考える割合が33.3%と突出しており、「両方」と考える割合は16.7%にとどまりました。

②学校の係で男子の方が向いている、女子の方が向いていると思う係はありますか。
(1つ選択)

図表 54 性別によって向いている係があると思うか(全体・性別)



■全体の回答傾向

学校の係で男子の方が、あるいは女子の方が向いていると思う係があると思うかどうかについては、「あると思う」「どちらかといえばあると思う」を合わせた【あると思う】の割合は 54.1%と過半数を占めており、「どちらかといえばあると思わない」「あると思わない」を合わせた【あると思わない】(43.4%)を 10.7 ポイント上回っています。

■性別の回答傾向

性別でみると、【あると思う】の割合は、女子が 53.1%、男子は 56.1%で、男子の方が 5.8 ポイント上回っています。【あると思わない】の割合は、女子が 45.8%、男子は 41.8%で、女子の方が 4.0 ポイント上回っています。

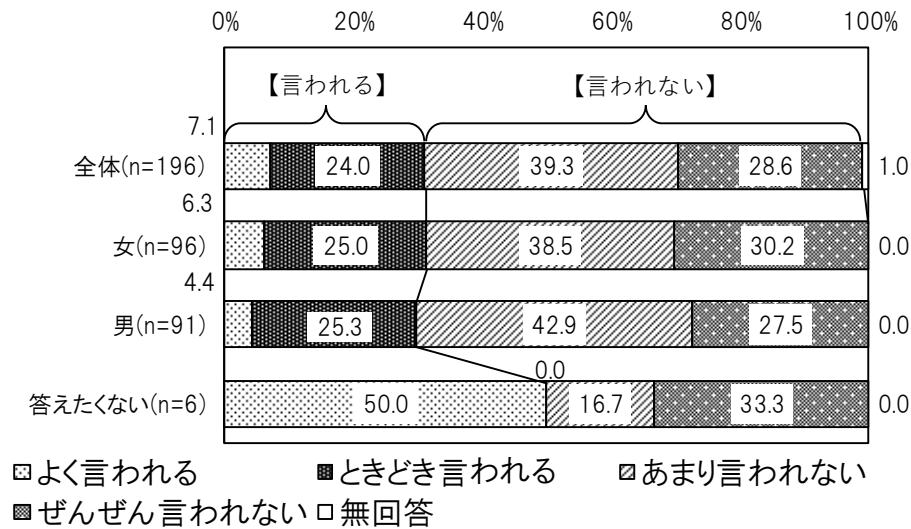
男女ともに【あると思う】の方が【あると思わない】よりも高い割合ですが、その差は女子は 7.3 ポイント、男子は 14.3 ポイントと、男子の方が差が大きい結果となっています。

また、答えたくないと回答した人は、「性別役割分担があると思う」と回答する割合が 50.0%と突出しており、「どちらかといえばあると思う」と回答する割合は 16.7%にとどまりました。

(3)男らしさ・女らしさの押し付け

問4 あなたは大人の人に「男だから〇〇しなさい」や「女だから〇〇しなさい」と言われたことがありますか。(1つ選択)

図表 55 男らしさ・女らしさの押し付け(全体・性別)



■全体の回答傾向

「男らしくしなさい」や「女らしくしなさい」と言われた経験があるかどうかについては、「あまり言われない」が 39.3%となっています。「あまり言われない」「ぜんぜん言われない」の合計である【言われない】は 67.9%となり、「よく言われる」「ときどき言われる」の合計である【言われる】(31.1%)を 36.8 ポイント上回っています。

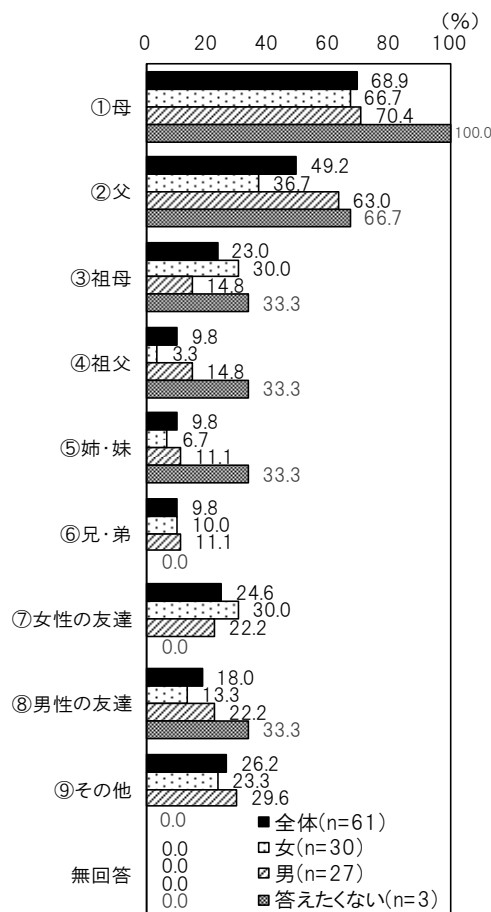
■性別の回答傾向

性別でみると、男女での回答傾向に大きな違いは見られませんが、答えたくないと回答した人は「よく言われる」と回答した割合が 50.0%と突出しています。

(4)男らしさ・女らしさを押し付ける周囲の人について

問5 問4で「よく言われる」または「ときどき言われる」と答えた方にお聞きます。それは、だれに言われましたか。(当てはまるものすべてを選択)

図表 56 男らしさ・女らしさを押し付ける周囲の人(全体・性別)



■全体の回答傾向

男らしさや女らしさを押し付ける周囲の人は、「①母」が最も高く 68.9%、次いで「②父」が 49.2%、「⑨その他」が 26.2%と上位を占めています。

「⑨その他」の具体的な内容については、「学校の先生」や「親戚」、「部活のコーチ」などがあげられています。

■性別の回答傾向

性別でみると、男女ともに最も高い割合は「①母」で女子は 66.7%、男子は 70.4%となっています。2番目に高かったのは男女ともに「②父」ですが、女子が 36.7%であるのに対して、男子が 63.0%と、男子の方が 26.3 ポイント上回っています。対照的に「③祖母」の割合は女子が 30.0%であるのに対して、男子は 14.8%と 15.2 ポイント低くなっています。

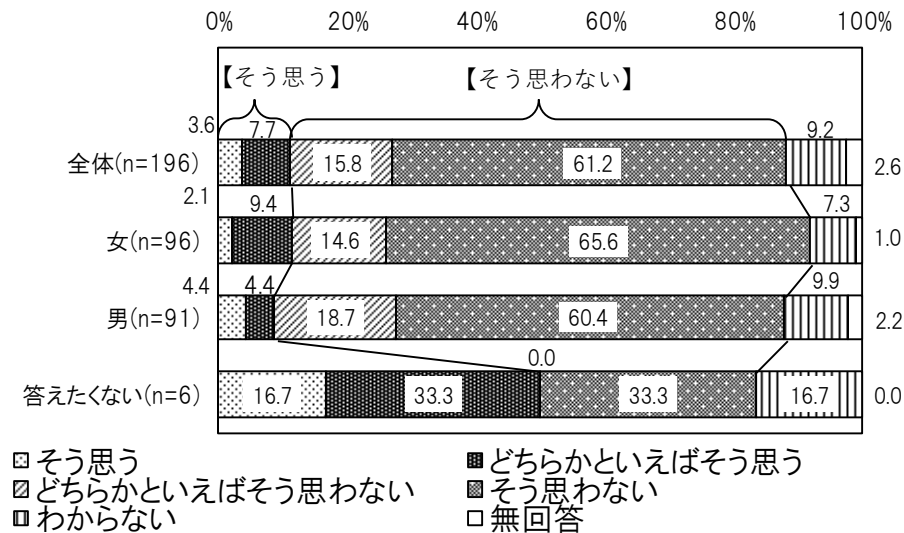
「①母」を除くと、同性の親族からよく言われるといった傾向が見られます。

また、答えたくないと回答した人においては、「①母」が 100.0%と突出しており、「②父」の割合も 66.7%と高いです。

(5)「男は仕事に専念して、女は家庭を守るべき」という考え方について

問6 「男は仕事に専念して、女は家庭(家事や子育てなどに専念)を守るべき」とあなたは思いますか。(1つ選択)

図表 57 「男は仕事に専念して、女は家庭を守るべき」という考え方について
(全体・性別)



■全体の回答傾向

「男は仕事に専念して、女は家庭を守るべき」という性別役割分担に基づく考え方について、「そう思わない」が最も高く 61.2%です。「どちらかといえばそう思わない」「そう思わない」の合計である【そう思わない】は 77.0%となり、「そう思う」「どちらかといえばそう思う」の合計【そう思う】(11.3%)を 65.7 ポイント上回っています。

■性別の回答傾向

性別でみると、【そう思わない】の割合は女子が 80.2%、男子が 79.1%で、ともに約8割を占めています。【そう思う】の割合は女子が 11.5%、男子が 8.8%となっています。

また、答えたくないと回答した人は【そう思う】と回答する割合が 50.0%と高く、「そう思わない」と回答する割合は 33.3%でした。

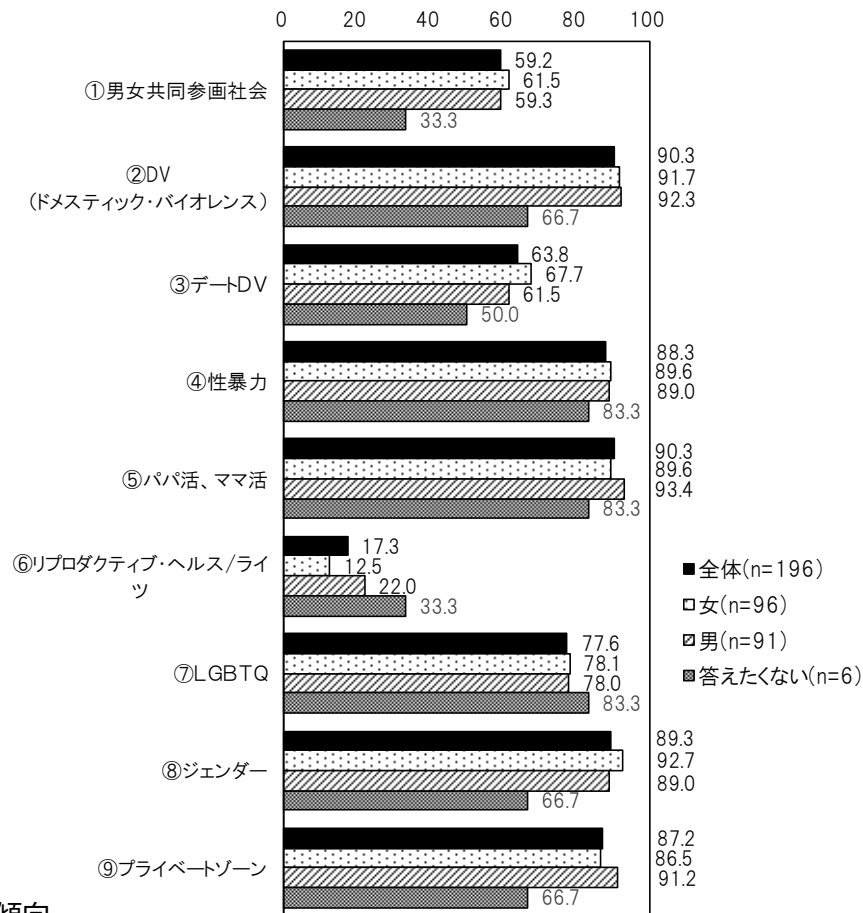
3. 用語の認知度について

(1) 男女共同参画関連の用語の認知度

問7 あなたは次の言葉を知っていますか？(①～⑨それぞれについて1つ選択)

図表 58 男女共同参画関連の用語の認知度(全体・性別)

※グラフは「知っている」と回答した割合
(%)



■全体の回答傾向

男女共同参画の用語の認知度については、「知っている」が「②DV(ドメスティック・バイオレンス)」 「⑤パパ活、ママ活」がそれぞれ 90.3%で、各用語の中で最も高くなっています。次いで「⑧ジェンダー」が 89.3%、「④性暴力」が 88.3%、「⑨プライベートゾーン」が 87.2%となっています。

ほとんどの用語の認知度が5割以上である一方、「⑥リプロダクティブ・ヘルス/ライツ」は「知っている」が 17.3%にとどまっています。

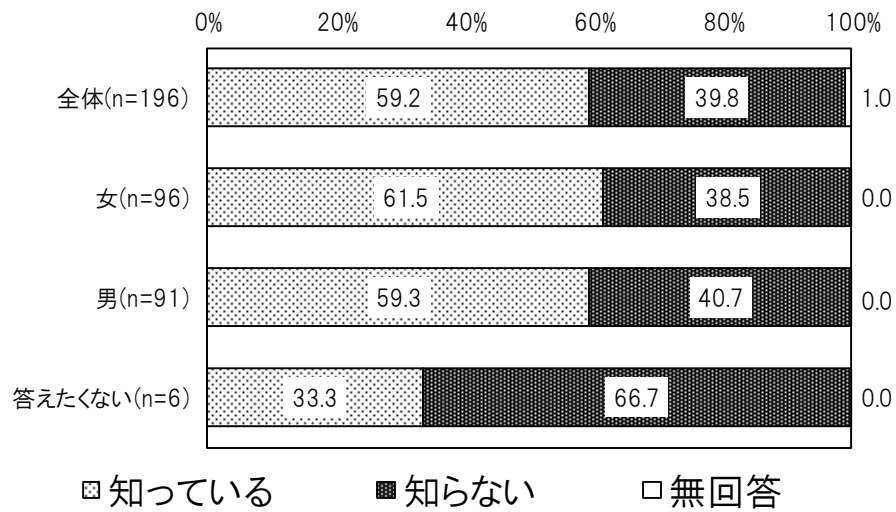
■性別の回答傾向

性別でみると、ほとんどの用語の認知度で性別による回答傾向に大きな違いが見られない中、男女差が最も大きかったのは「⑥リプロダクティブ・ヘルス/ライツ」で、女子は 12.5%、男子はそれよりも 9.5 ポイント高い 22.0%となっています。そのほか、「デートDV」は女子が 67.7%、男子は 61.5%で、女子が 6.2 ポイント上回っています。

答えたくないと回答した人は、「④性暴力」(83.3%)や「⑦LGBTQ」(83.3%)、そして「②DV(ドメスティック・バイオレンス)」(66.7%)や「⑧ジェンダー」(66.7%)といった用語の認知度が上位となっています。

① 男女共同参画社会

図表 59 「男女共同参画社会」という言葉の認知度(全体・性別)



■ 全体の回答傾向

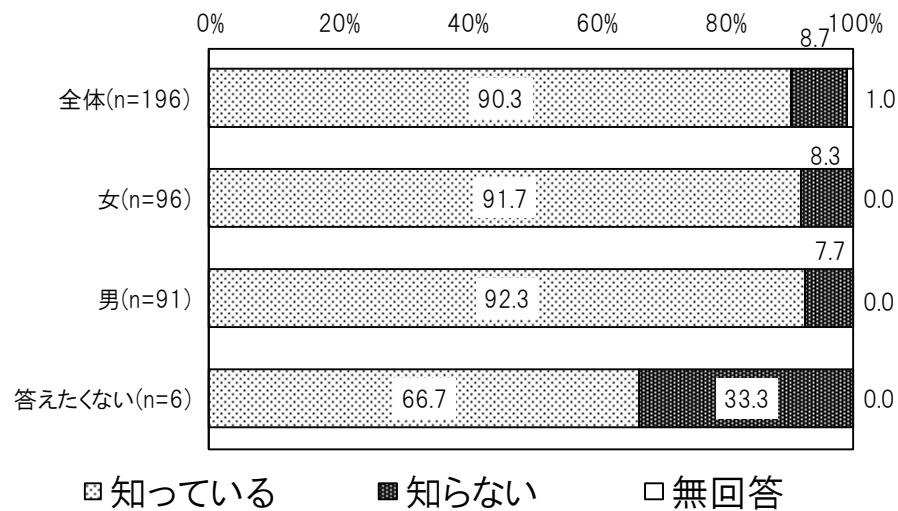
「男女共同参画社会」という言葉の認知度については、「知っている」が 59.2% で過半数を占めており、「知らない」(39.8%) を 19.4 ポイント上回っています。

■ 性別の回答傾向

性別でみると、男女の回答傾向に大きな違いは見られませんが、答えたくないと回答した人においては、特に認知度が低い傾向にあります。

② DV(ドメスティック・バイオレンス)

図表 60 「DV(ドメスティック・バイオレンス)」という言葉の認知度(全体・性別)



■全体の回答傾向

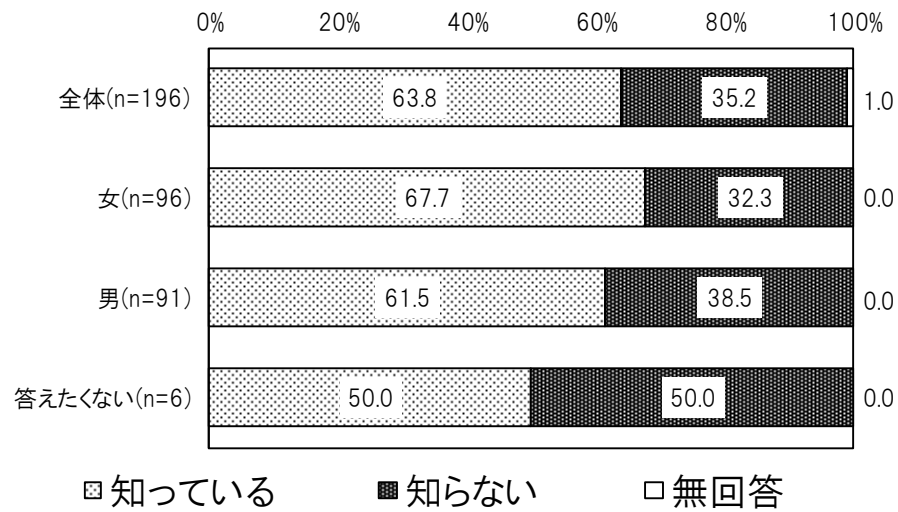
「DV(ドメスティック・バイオレンス)」という言葉の認知度については、「知っている」が 90.3%と、かなり高い認知度となっています。「知らない」(8.7%)と比較すると、81.6 ポイント上回っています。

■性別の回答傾向

性別でみると、男女の回答傾向に大きな違いは見られませんが、答えたくないと回答した人においては 66.7%と、男女と比較して認知度が低い傾向にあります。

③ デートDV

図表 61 「デートDV」という言葉の認知度(全体・性別)



■ 全体の回答傾向

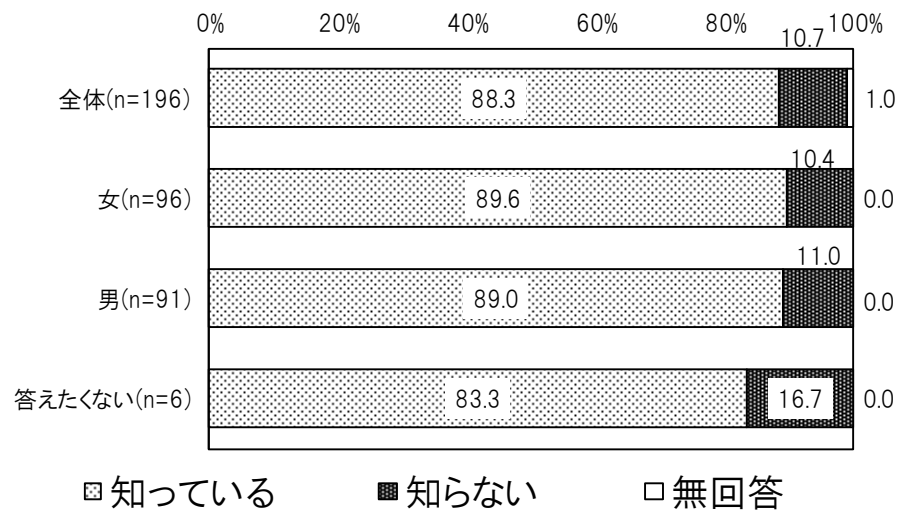
「デートDV」という言葉の認知度については、「知っている」が63.8%で過半数を占めており、「知らない」(35.2%)を28.6ポイント上回っています。

■ 性別の回答傾向

性別でみると、「知っている」が女子は67.7%、男子は61.5%、答えたくないと回答した人は50.0%となっており、女子の割合が最も高くなっています。

④ 性暴力

図表 62 「性暴力」という言葉の認知度(全体・性別)



■全体の回答傾向

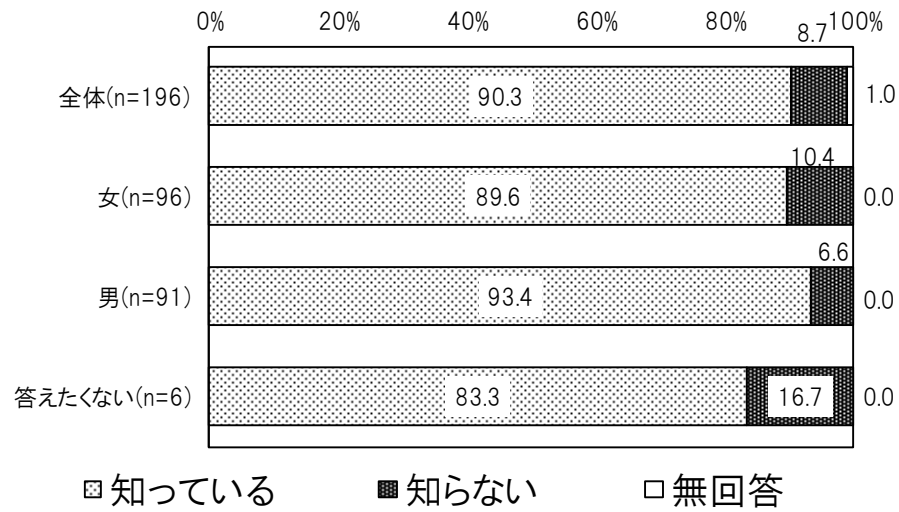
「性暴力」という言葉の認知度については、「知っている」が 88.3%と高い認知度となっており、「知らない」(10.7%)を 77.6 ポイント上回っています。

■性別の回答傾向

性別でみると、回答傾向に大きな違いは見られません。

⑤ パパ活、ママ活

図表 63 「パパ活、ママ活」という言葉の認知度(全体・性別)



■全体の回答傾向

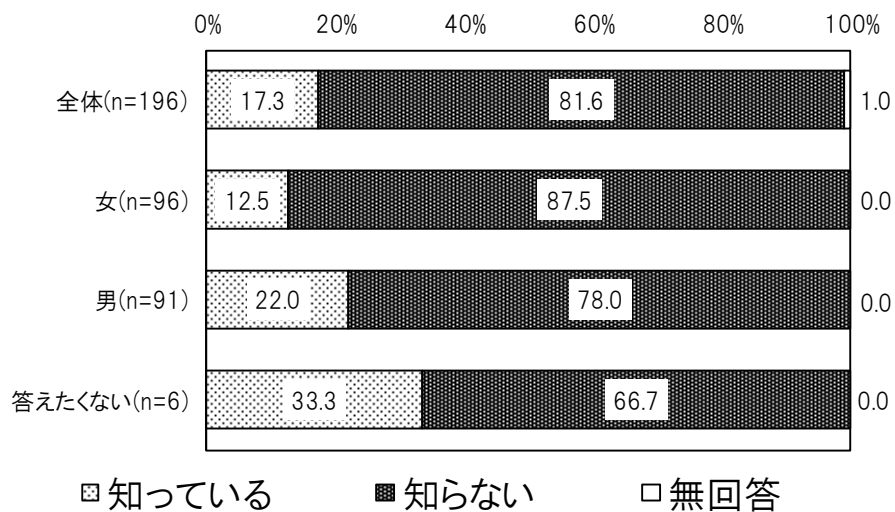
「パパ活、ママ活」という言葉の認知度については、「知っている」が 90.3%と高い認知度となっており、「知らない」(8.7%)を 81.6 ポイント上回っています。

■性別の回答傾向

性別でみると、回答傾向に大きな違いは見られません。

⑥ リプロダクティブ・ヘルス・ライツ

図表 64 「リプロダクティブ・ヘルス・ライツ」という言葉の認知度(全体・性別)



■全体の回答傾向

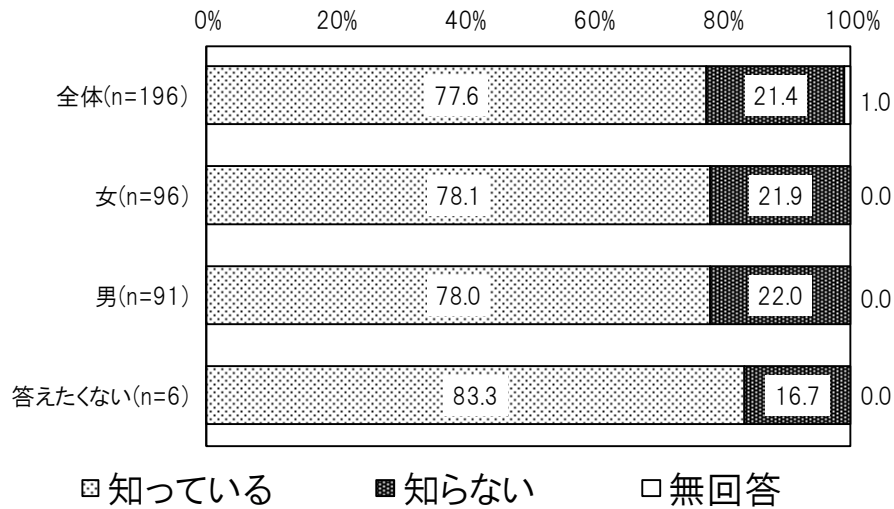
「リプロダクティブ・ヘルス・ライツ」という言葉の認知度については、「知らない」が 81.6%と高い割合を占めており、「知っている」(17.3%)を 64.3 ポイント上回っています。

■性別の回答傾向

性別でみると、「知っている」が女子は 12.5%、男子は 22.0%、答えたくないと回答した人が 33.3%です。男女差は 9.5 ポイントで男子が女子を上回り、答えたくないと回答した人はさらに男子よりも 11.3 ポイント上回っています。

⑦ LGBTQ

図表 65 「LGBTQ」という言葉の認知度(全体・性別)



■ 全体の回答傾向

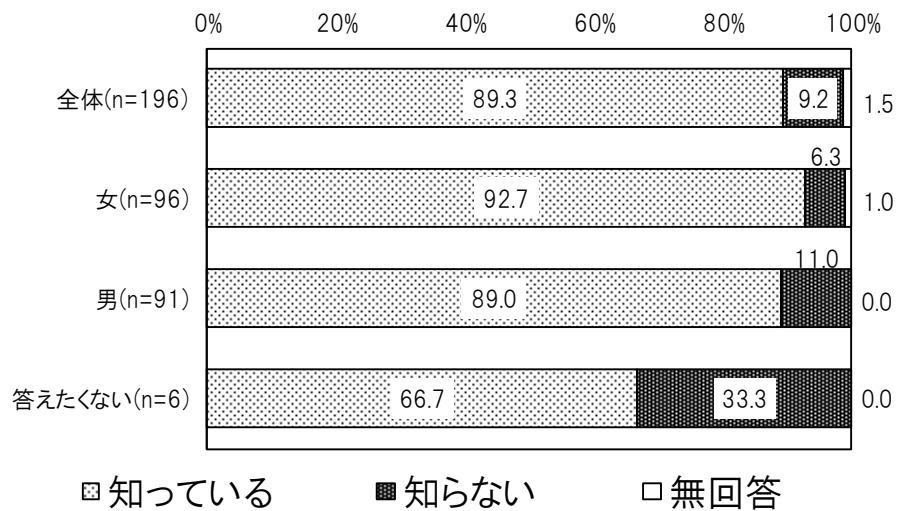
「LGBTQ」という言葉の認知度については、「知っている」が 77.6%と高い認知度となっており、「知らない」(21.4%)を 56.2 ポイント上回っています。

■ 性別の回答傾向

性別でみると、男女の回答傾向に大きな違いは見られませんが、答えたくないと回答した人は「知っている」が 83.3%と高い認知度となっています。

⑧ ジェンダー

図表 66 「ジェンダー」という言葉の認知度(全体・性別)



■ 全体の回答傾向

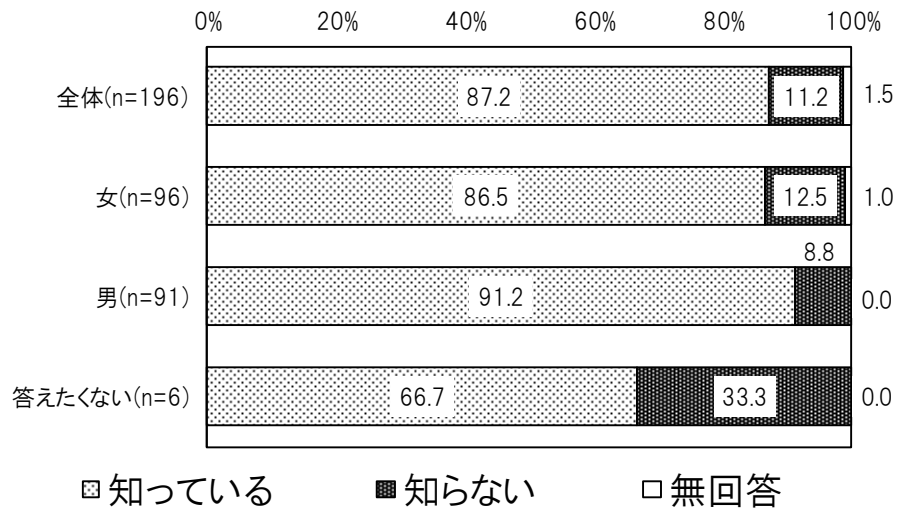
「ジェンダー」という言葉の認知度については、「知っている」が 89.3%と高い認知度となっており、「知らない」(9.2%)を 80.1 ポイント上回っています。

■ 性別の回答傾向

性別でみると、男女の回答傾向に大きな違いは見られませんが、答えたくないと回答した人は「知っている」が 66.7%と、男女と比較して認知度が低い傾向にあります。

⑨ プライベートゾーン

図表 67 プライベートゾーン」という言葉の認知度(全体・性別)



■全体の回答傾向

「プライベートゾーン」という言葉の認知度については、「知っている」が 87.2%と高い認知度となっており、「知らない」(11.2%)を 76.0 ポイント上回っています。

■性別の回答傾向

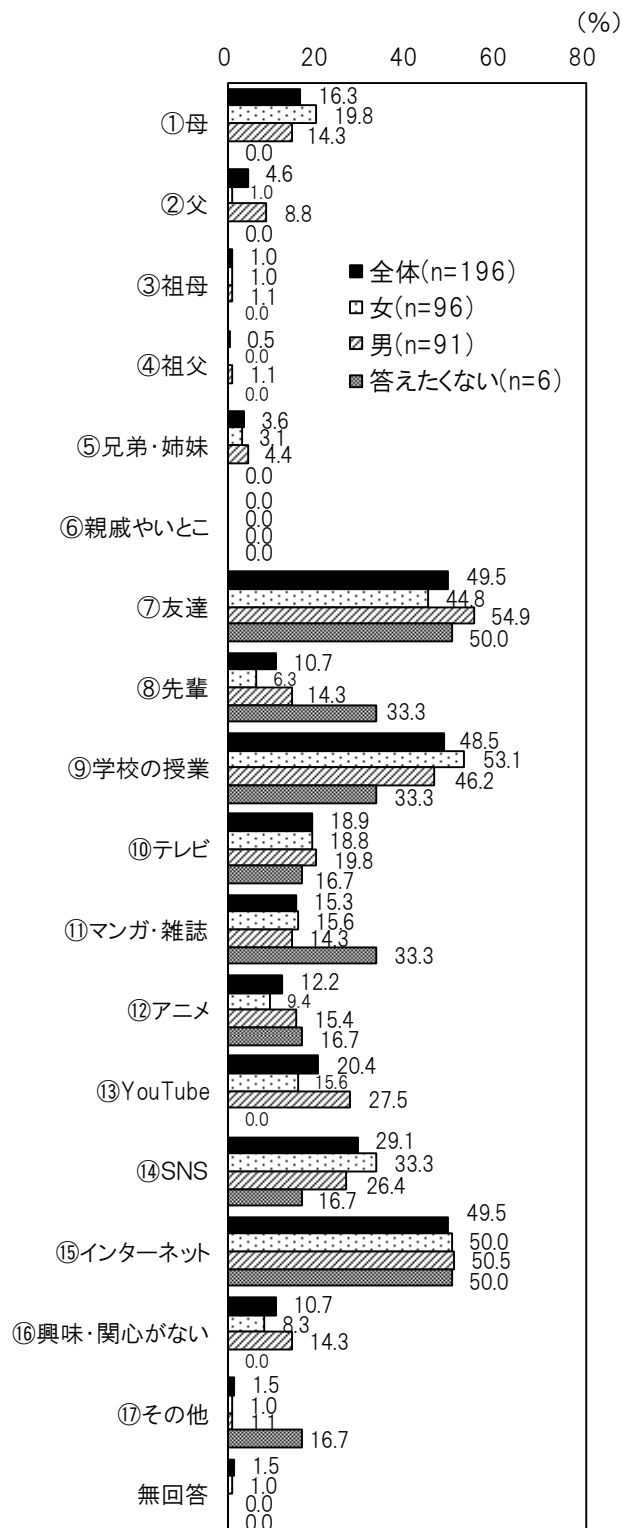
性別でみると、「知っている」の割合は女子が 86.5%、男子が 91.2%で、男子が女子を 4.7 ポイント上回っています。答えたくないと回答した人は「知っている」が 66.7%と、男女と比較し認知度が低い傾向にあります。

4. 性に関する情報について

(1)性に関する情報

問8 あなたは性に関する情報をどこから知りますか。(あてはまるものすべてを選択)

図表 68 性に関する情報の入手先(全体・性別)



■全体の回答傾向

性に関する情報の入手先として、「⑦友達」「⑮インターネット」が49.5%で最も高く、次いで「⑨学校の授業」48.5%となっています。

■性別の回答傾向

性別でみると、女子については「⑨学校の授業」が53.1%で最も高く、次いで「⑮インターネット」(50.1%)、「⑦友達」(44.8%)が上位となっています。

男子については「⑦友達」が54.9%で最も高く、次いで「⑮インターネット」(50.5%)、「⑨学校の授業」(46.2%)が上位となっています。

答えたくないと回答した人は、「⑦友達」(50.0%)や「⑮インターネット」(50.0%)から情報を得ている割合が高い一方で、「①母」や「②父」から情報を得ている人はいませんでした。

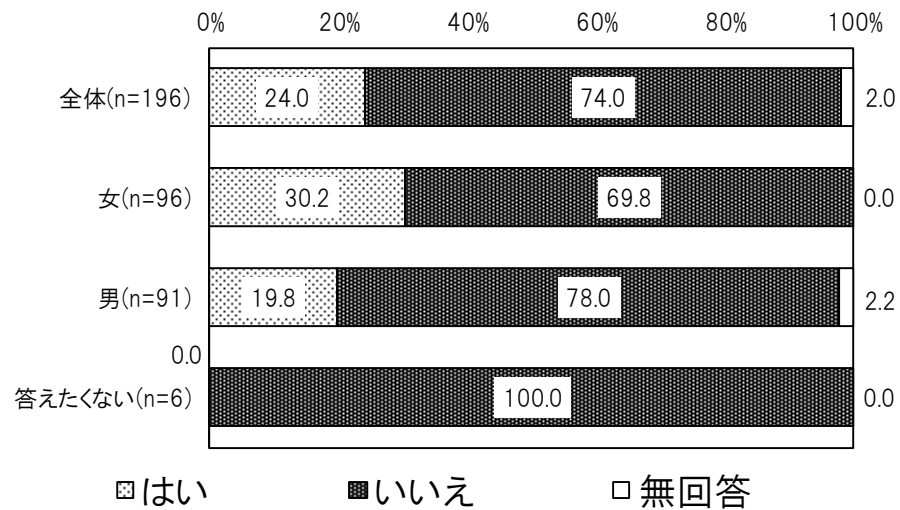
男女差が最も大きな回答は「③YouTube」で、女子は15.6%、男子は27.5%でその差は11.9ポイントとなっています。次いで、「⑦友達」となっており、女子は44.8%、男子は54.9%で、その差は男子が10.1ポイント上回っています。

5. 交際とデートDVについて

(1) 交際相手の有無

問9 あなたには恋人(交際相手)がいますか。または恋人(交際相手)がいましたか？

図表 69 交際相手の有無(全体・性別)



■全体の回答傾向

交際相手の有無については、「いいえ(いない)」が 74.0%と過半数を占めており、「はい(いる)」(24.0%)を 50.0 ポイント上回っています。

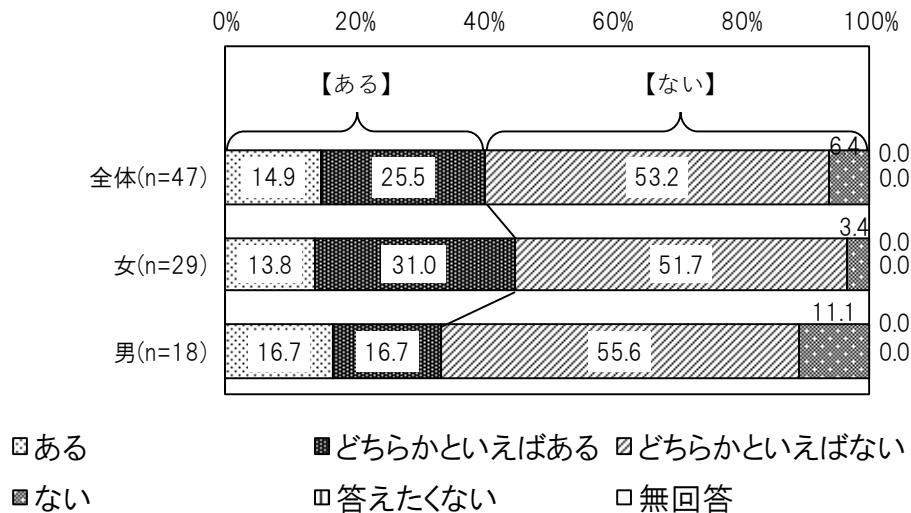
■性別の回答傾向

性別でみると、「はい(いる)」と回答した女子は 30.2%、男子は 19.8%となっており、女子が 10.4 ポイント上回っています。答えたくないと回答した人は「いいえ(いない)」が 100%となっています。

(2)嫌なことを我慢した経験

問 10 問9で「はい」と答えた方にお聞きます。本当は嫌だけど恋人だから我慢していること、または我慢していたことはありますか。

図表 70 嫌なことを我慢した経験(全体・性別)



※性別「答えたくない」は該当者がいないため、掲載していない。

■全体の回答傾向

交際相手がいる(いた)と回答した人に対して、交際相手に対して嫌なことを我慢した経験についてたずねたところ、「ある」が 14.9%、「どちらかといえばある」が 25.5%で、合計すると 40.4% の人は嫌なことを我慢した経験があることがうかがえます。

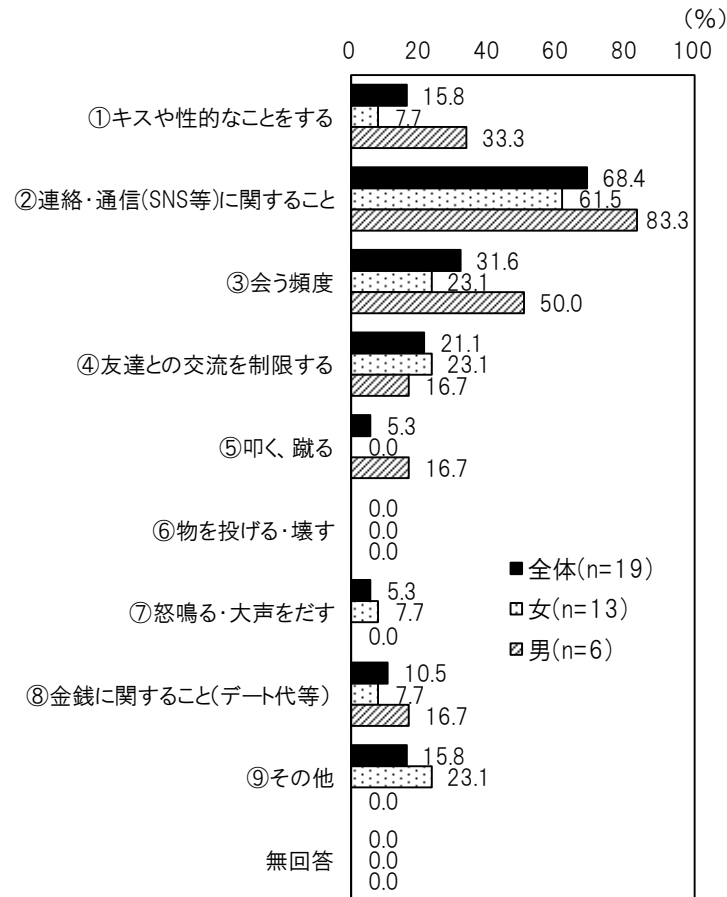
■性別の回答傾向

性別でみると、女子は「ある」が 13.8%、「どちらかといえばある」が 31.0%で、両方を合計した【ある】の割合は 44.8%となります。男子は「ある」「どちらかといえばある」はともに 16.7%で、合計の【ある】は 33.4%となっています。【ある】の割合は、女子が男子よりも 11.4 ポイント高く、女子の方が交際相手から嫌なことをされた経験を持つ人が多いことがうかがえます。

(3)交際相手からされた嫌なことの内容

問 11 問 10 で「ある」「どちらかといえばある」と答えた方にお聞きします。その内容は何ですか。(あてはまるものすべてを選択)

図表 71 交際相手からされた嫌なことの内容(全体・性別)



※「答えたくない」は該当者がいないため、掲載していない。

■全体の回答傾向

交際相手から嫌なことをされた経験を持つ人を対象に具体的な内容をたずねたところ、「②連絡・通信(SNS等)に関すること」が最も高く68.4%、次いで「③会う頻度」が31.6%、「④友達との交流を制限する」が21.1%で上位を占めています。

■性別の回答傾向

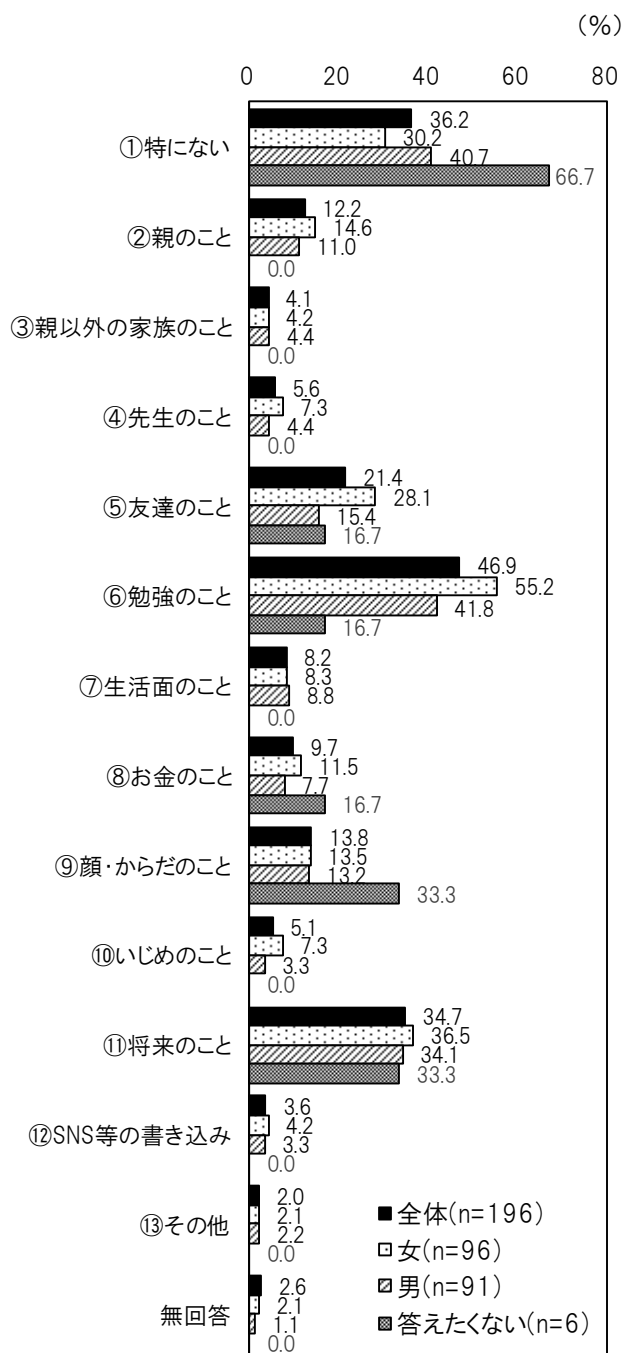
女子については、上位項目は全体と同様の傾向となっています。男子については、「②連絡・通信(SNS等)に関すること」(83.3%)が最も高く、次いで「③会う頻度」(50.0%)の順番は全体の傾向と同様ですが、3番目に回答が多いのは「①キスや性的なことをする」(33.3%)となっています。

6. 悩みや心配事について

(1) 悩みや心配事

問 12 あなたの悩みや心配事は何ですか。(あてはまるものすべてを選択)

図表 72 悩みや心配事(全体・性別)



■全体の回答傾向

悩みや心配事については、「⑥勉強のこと」が46.9%、次いで「⑪将来のこと」が34.7%、「⑤友達のこと」が21.4%で上位を占めています。また、「①特にない」も36.2%と比較的高い割合となっています。

「③その他」の具体的な内容については、「進路のこと」や「恋人との将来のこと」などがあげられています。

■性別の回答傾向

性別でみると、男女ともに上位の項目は全体の結果と同様です。また、「①特にない」は女子が30.2%、男子が40.7%、答えたくないと回答した人は66.7%で、答えたくないと回答した人の割合が突出しています。

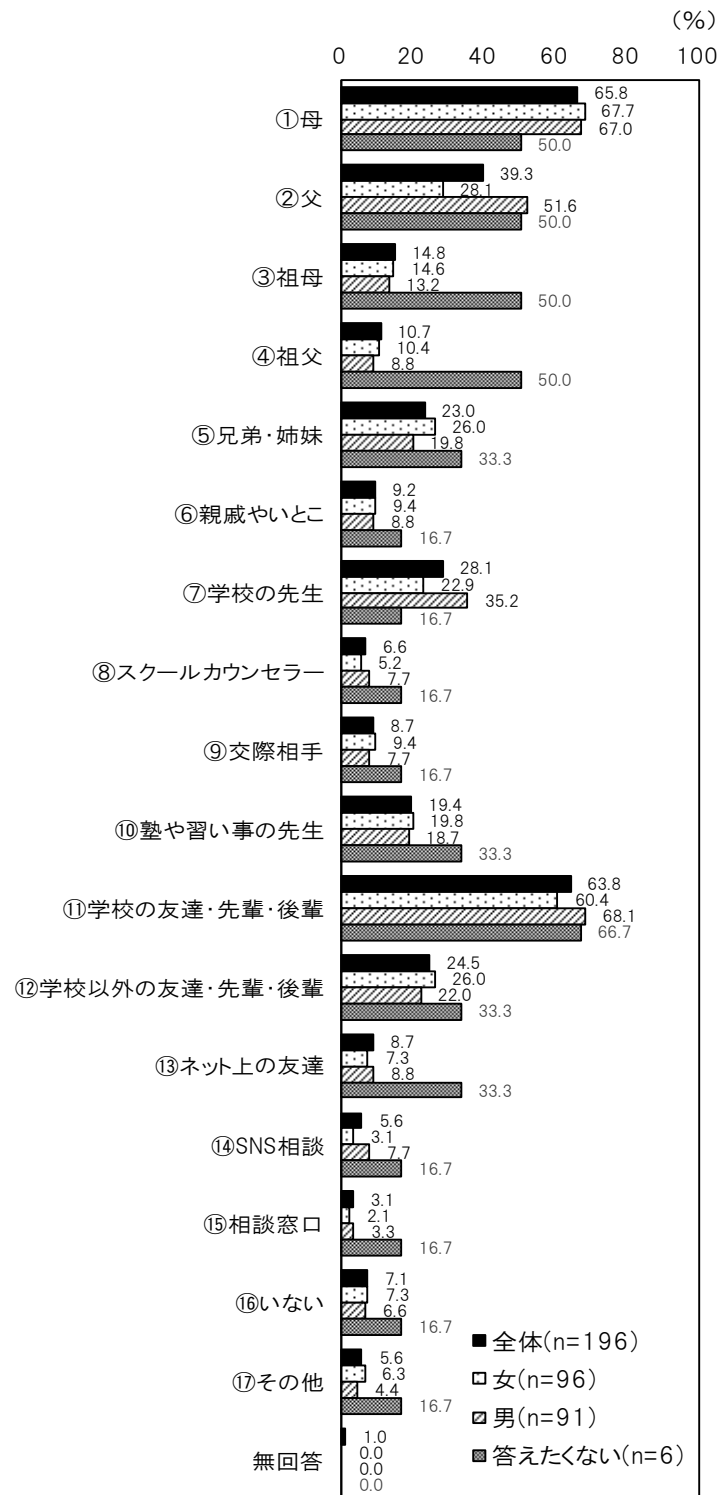
悩みや心配事の内容としては、女子・男子ともに全体の回答傾向と同様に、「⑥勉強のこと」(女子:55.2%、男子41.8%)、「⑪将来のこと」(女子:36.5%、男子34.1%)、「⑤友達のこと」(女子:28.1%、男子15.4%)の順に高くなっています。

答えたくないと回答した人は、「⑨顔・からだのこと」「⑪将来のこと」がともに33.3%、「⑤友達のこと」「⑥勉強のこと」「⑧お金のこと」が16.7%となっています。

(2) 悩みや心配事がある時の相談先

問 13 あなたは悩みや心配事があるとき、相談できる人は誰ですか。(あてはまるものすべてを選択)

図表 73 悩みや心配事がある時の相談先(全体・性別)



■全体の回答傾向

悩みや心配事がある時の相談先については、「①母」が最も高く 65.8%、次いで「⑪学校の友達・先輩・後輩」63.8%、「②父」が 39.3%となっています。

「⑦その他」の具体的な内容については、「保健室の先生」や「塾や習い事の先生」、「自分の話を聞いてくれるとは思えない(親)」などがあげられています。

■性別の回答傾向

性別でみると、女子の上位の項目は全体と同様に「①母」(67.7%)、「⑪学校の友達・先輩・後輩」(60.4%)、「②父」(28.1%)の順になっています。男子の上位項目は、「⑪学校の友達・先輩・後輩」(68.1%)、「①母」(67.0%)、「②父」(51.6%)の順になっています。

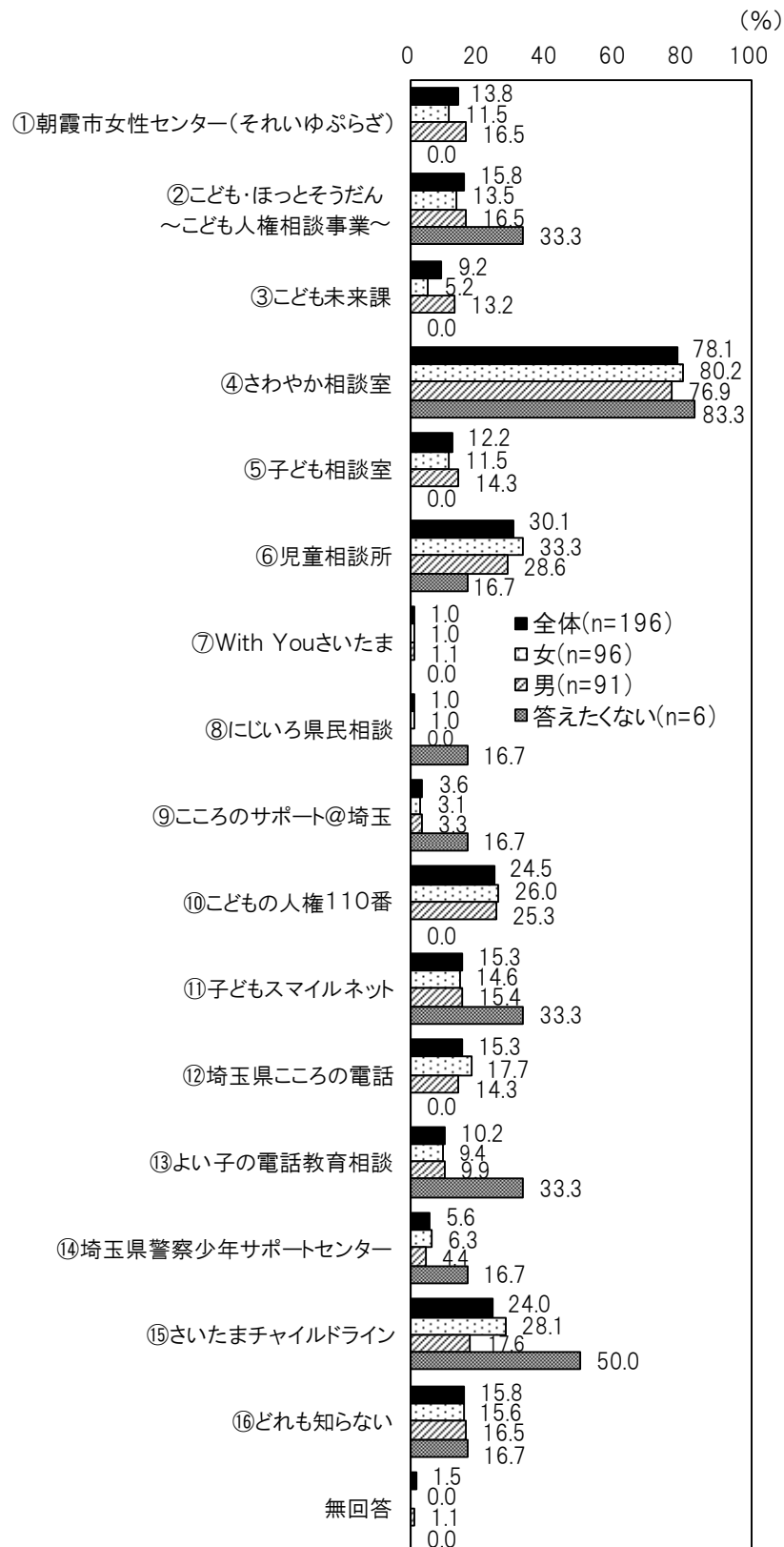
最も男女差が大きかった回答は「②父」で、女子は 28.1%、男子はそれよりも 23.5 ポイント高い 51.6%となっています。次いで、「⑦学校の先生」は、女子は 22.9%、男子はそれよりも 12.3 ポイント高い 35.2%となっています。

答えたくないと回答した人は、「⑪学校の友達・先輩・後輩」(66.7%)に相談する割合が最も高くなっています。また、「①母」「②父」「③祖母」「④祖父」(それぞれ 50.0%)にも相談する割合が高いです。

(3)相談窓口の認知度

問 14 あなたは次の相談窓口で知っているものはどれですか。(あてはまるものすべてを選択)

図表 74 相談窓口の認知度(全体・性別)



■全体の回答傾向

相談窓口の認知度は、「④さわやか相談室」が最も高く 78.1%、次いで「⑥児童相談所」が 30.1%、「⑩こどもの人権110番」が 24.5%となっています。

■性別の回答傾向

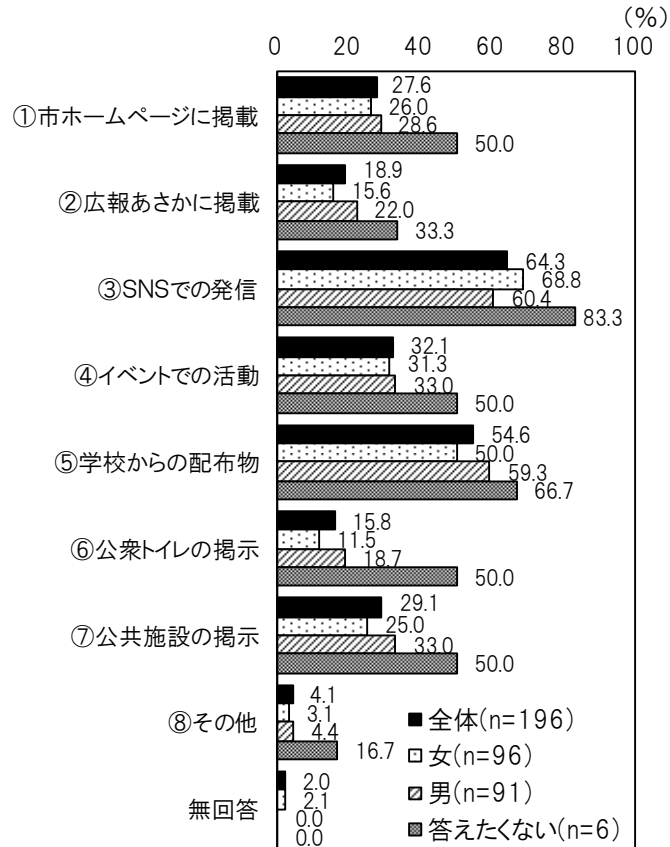
性別でみると、男子の上位項目は全体と同様で、「④さわやか相談室」(76.9%)、「⑥児童相談所」(28.6%)、「⑩こどもの人権110番」(25.3%)の順になっています。女子については、上位2位までは全体と同様に「④さわやか相談室」(80.2%)、「⑥児童相談所」(33.3%)となっていますが、3位は「⑮さいたまチャイルドライン」(28.1%)となっています。

答えたくないと回答した人においても男女同様「④さわやか相談室」(83.3%)となっています。次いで「⑮さいたまチャイルドライン」(50.0%)、3位は「②こども・ほっとそうだん～こども人権相談事業～」 「⑪子どもスマイルネット」 「⑬よい子の電話教育相談」(それぞれ 33.3%)となっています。

(4)相談窓口の周知のための工夫

問 15 相談窓口を多くの人に知ってもらうにはどんな工夫をしたら良いと思いますか。(あてはまるものすべてを選択)

図表 75 相談窓口の周知のための工夫(全体・性別)



■全体の回答傾向

相談窓口の周知のための工夫については、「③SNSでの発信」が最も高く 64.3%、次いで「⑤学校からの配布物」が 54.6%、「④イベントでの活動」が 32.1%で上位を占めています。

「⑧その他」の具体的な内容については、「テレビでの放送」や「学校での掲示」、「学校での演説」などがあげられています。

■性別の回答傾向

性別でみると、女子の上位3項目は全体の傾向と同様です。男子の上位項目も同様ですが、3位は「④イベントでの活動」(33.0%)のほか「⑦公共施設の掲示」も同率であげられています。

答えたくないと回答した人において、特に目立つのは「③SNSでの発信」(83.3%)と「⑤学校からの配布物」(66.7%)となっています。

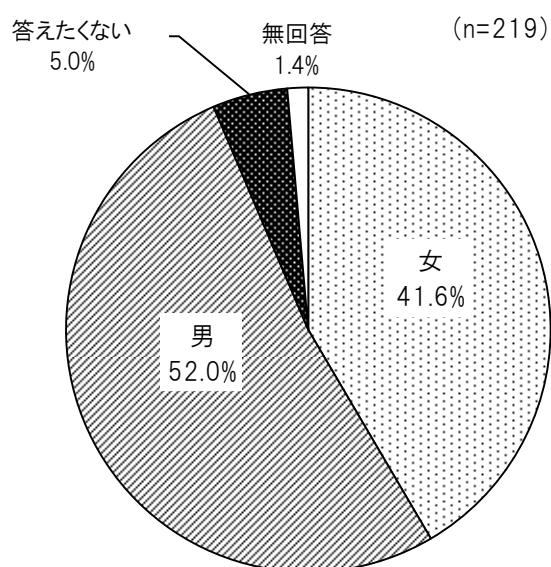
高 校 生 調 査

1. 回答者の属性について

(1)性別

問1 あなたの性別を教えてください。

図表 76 性別



■全体の回答傾向

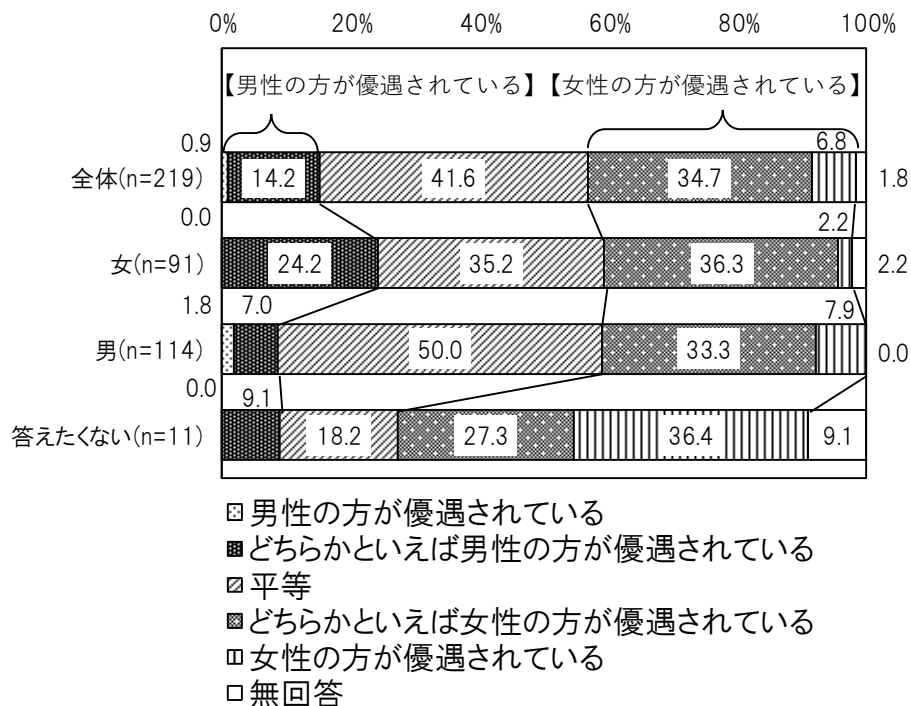
性別については「女」(女子)が 41.6%、「男」(男子)が 52.0%、「答えたくない」が 5.0%を占めています。

2. 男女の平等について

(1)男女の平等について

問2 あなたはいろいろな場面において、男女は平等だと思いますか？
(1つ選択)

図表 77 男女は平等であるか(全体・性別)



■全体の回答傾向

男女は平等に扱われているかどうかについては、「平等」が最も高く 41.6%です。「どちらかといえば女性の方が優遇されている」「女性の方が優遇されている」の合計である【女性の方が優遇されている】は 41.5%となり、「男性の方が優遇されている」「どちらかといえば男性の方が優遇されている」(15.1%)の合計である【男性の方が優遇されている】を 26.4 ポイント上回っています。

■性別の回答傾向

性別でみると、「平等」の割合が最も高いのは男子で 50.0%を占めています。

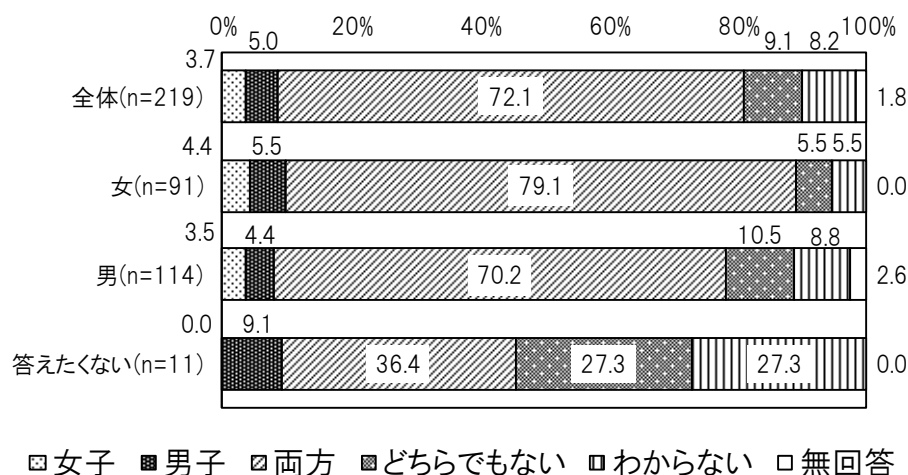
【男性の方が優遇されている】と【女性の方が優遇されている】の割合を比較すると、女子・男子・答えたくない人のいずれも【女性の方が優遇されている】の方が高くなっています。特に、答えたくない人については、【女性の方が優遇されている】の割合が 63.7%で過半数を占めており、【男性の方が優遇されている】(9.1%)と【女性の方が優遇されている】(63.7%)の差は 54.6 ポイントとなっています。

(2)性別による向き不向き

問3 あなたは次のことについてどう思いますか。(1つ選択)

① 代表委員、生徒会長はどちらが向いていると思うか。

図表 78 代表委員、生徒会長が向いていると思われる性別(全体・性別)



■全体の回答傾向

代表委員、生徒会長が向いていると思われる性別については、「両方」が 72.1%で最も高い比率となっています。

■性別の回答傾向

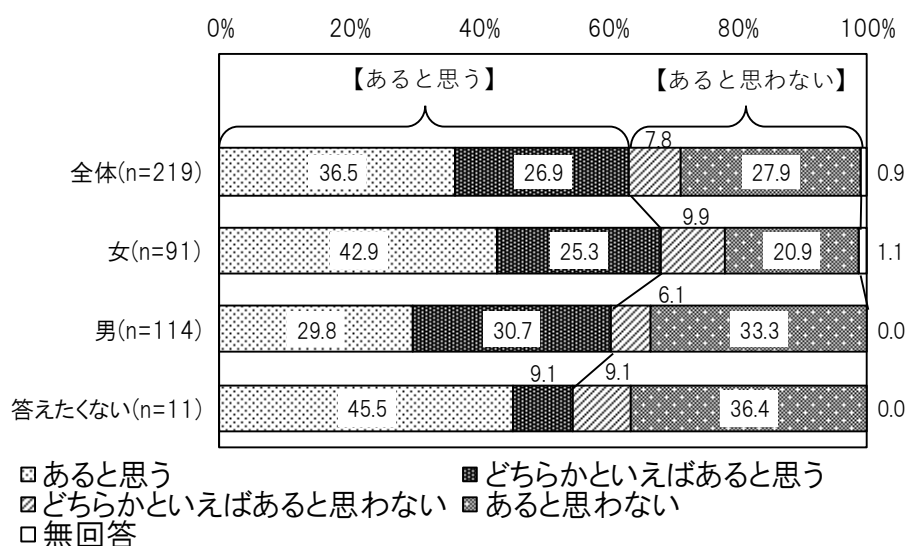
性別でみると、男女については「両方」の回答率が最も高くなっていますが、女子は 79.1%、男子が 70.2%で女子が 8.9 ポイント上回っていることから、男女の意識に差があります。

一方で、答えたくないと回答した人は、「両方」と感じる割合が 36.4%にとどまっています。「どちらでもない」と「わからない」と感じる割合がそれぞれ 27.3%と高くなっています。

また、女子・男子の傾向では「女子」や「男子」と回答した割合が低いですが、答えたくないと回答した人の中では「男子」と感じる割合が 9.1%と比較的高くなっています。

②学校の係で男子の方が向いている、女子の方が向いていると思う係はありますか。
(1つ選択)

図表 79 性別によって向いている係があると思うかどうか(全体・性別)



■全体の回答傾向

学校の係で男子の方が、あるいは女子の方が向いていると思う係があると思うかどうかについては、「あると思う」が36.5%で最も高くなっています。「あると思う」「どちらかといえばあると思う」の合計である【あると思う】は63.4%となっており、「どちらかといえばあると思わない」「あると思わない」の合計【あると思わない】(35.7%)を27.7ポイント上回っています。

■性別の回答傾向

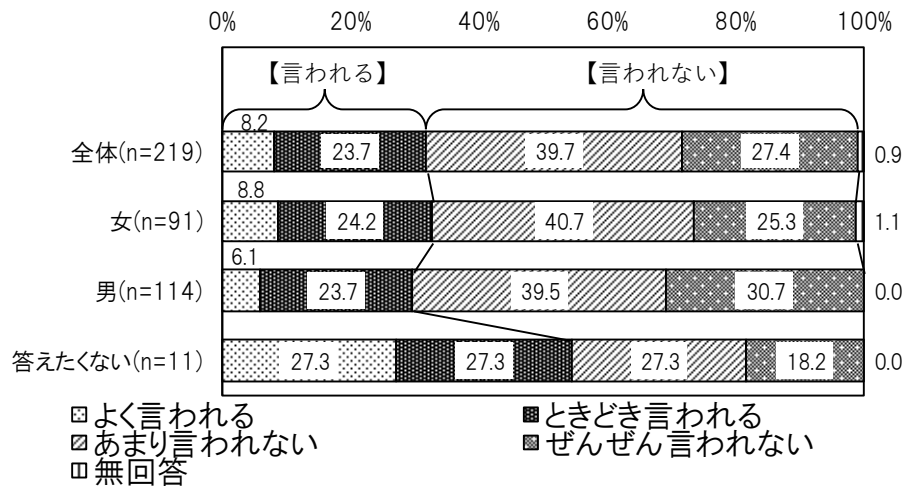
性別でみると、【あると思う】の割合は、女子が68.2%、男子が60.5%、答えたくないと回答した人は54.6%で、女子が最も高く、答えたくないと回答した人が最も低くなっています。

一方、【あると思わない】の割合は、女子が30.8%、男子が39.4%、答えたくないと回答した人は45.5%で、女子が最も低く、答えたくないと回答した人が最も高くなっています。

(3)男らしさ・女らしさの押し付け

問4 あなたは大人の人に「男だから〇〇しなさい」や「女だから〇〇しなさい」と言われたことがありますか。(1つ選択)

図表 80 男らしさ・女らしさの押し付け(全体・性別)



■全体の回答傾向

「男らしくしなさい」や「女らしくしなさい」と言われた経験があるかどうかについては、「あまり言われない」が最も高く 39.7%です。「あまり言われない」「ぜんぜん言われない」の合計である【言われない】は 67.1%となり、「よく言われる」「ときどき言われる」の合計【言われる】(31.9%)を 35.2 ポイント上回っています。

■性別の回答傾向

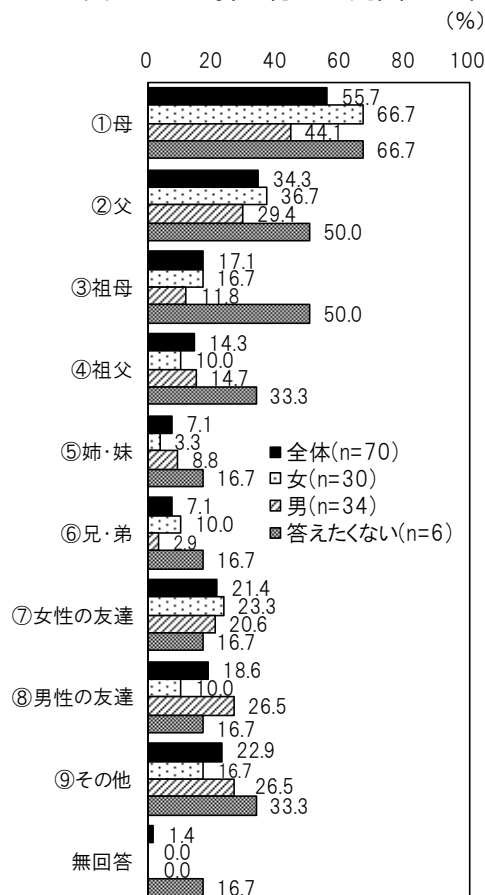
性別でみると、【言われる】の割合は、女子が 33.0%、男子が 29.8%で、女子の方が 3.2 ポイント上回っています。一方、【言われない】の割合は、女子が 66.0%、男子が 70.2%で、男子の方が 4.2 ポイント上回っています。

答えたくないと回答した人の回答傾向は女子・男子と大きく異なり、【言われる】が 54.6%、【言われない】が 45.5%で、大人からの性別役割分担意識について言われる割合が目立って高いことがうかがえます。

(4)男らしさ・女らしさを押し付ける周囲の人について

問5 問4で「よく言われる」または「ときどき言われる」と答えた方にお聞きます。それは、だれに言われましたか。(当てはまるものすべてを選択)

図表 81 男らしさ・女らしさを押し付ける周囲の人(全体・性別)



■全体の回答傾向

男らしさや女らしさを押し付ける周囲の人は、「①母」が最も高く 55.7%、次いで「②父」が 34.3%、「⑦女性の友達」が 21.4%と上位を占めています。

「⑨その他」の具体的な内容については、「学校の先生」や「バイト先の上司」などがあげられています。

■性別の回答傾向

性別でみると、女子については「①母」(66.7%)、「②父」(36.7%)、「⑦女性の友達」(23.3%)が上位となっています。

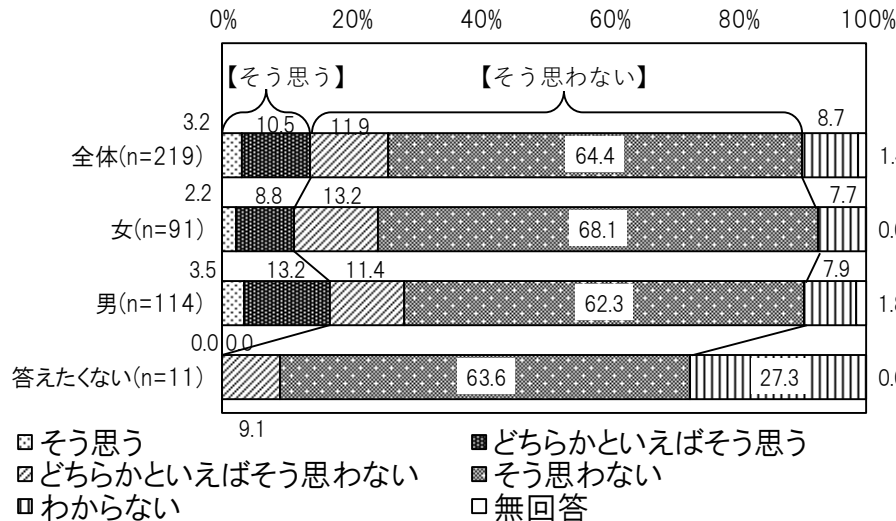
男子については「①母」(44.1%)、「②父」(29.4%)、「⑧男性の友達」(26.5%)が上位となっています。

答えたくないと回答した人は、「①母」が 66.7%で最も高く、全体の傾向と同様です。一方、「②父」「③祖母」(それぞれ 50.0%)、「④祖父」(33.3%)などほかの親族の割合が女子・男子と比較して高いことが特徴的です。

(5)「男は仕事に専念して、女は家庭を守るべき」という考え方について

問6 「男は仕事に専念して、女は家庭(家事や子育てなどに専念)を守るべき」とあなたは思いますか。(1つ選択)

図表 82 「男は仕事に専念して、女は家庭を守るべき」という考え方について(全体・性別)



■全体の回答傾向

「男は仕事に専念して、女は家庭を守るべき」という性別役割分担に基づく考え方について、「そう思わない」が64.4%で最も高くなっています。「そう思わない」「どちらかといえばそう思わない」の合計である【そう思わない】は76.3%となり、「そう思う」「どちらかといえばそう思う」の合計【そう思う】(13.7%)を62.6ポイント上回っています。

■性別の回答傾向

性別でみると、【そう思う】の割合は女子が11.0%、男子が16.7%で、男子の方が5.7ポイント上回っています。

一方、【そう思わない】の割合は女子が81.3%、男子が73.7%で、女子の方が7.6ポイント上回っています。

答えたくないと回答した人は、【そう思う】の割合は0.0%と皆無でした。【そう思わない】と感じる割合は72.7%となっています。「わからない」と回答した割合は27.3%と非常に高くなっており、女子・男子の傾向と大きく異なっています。

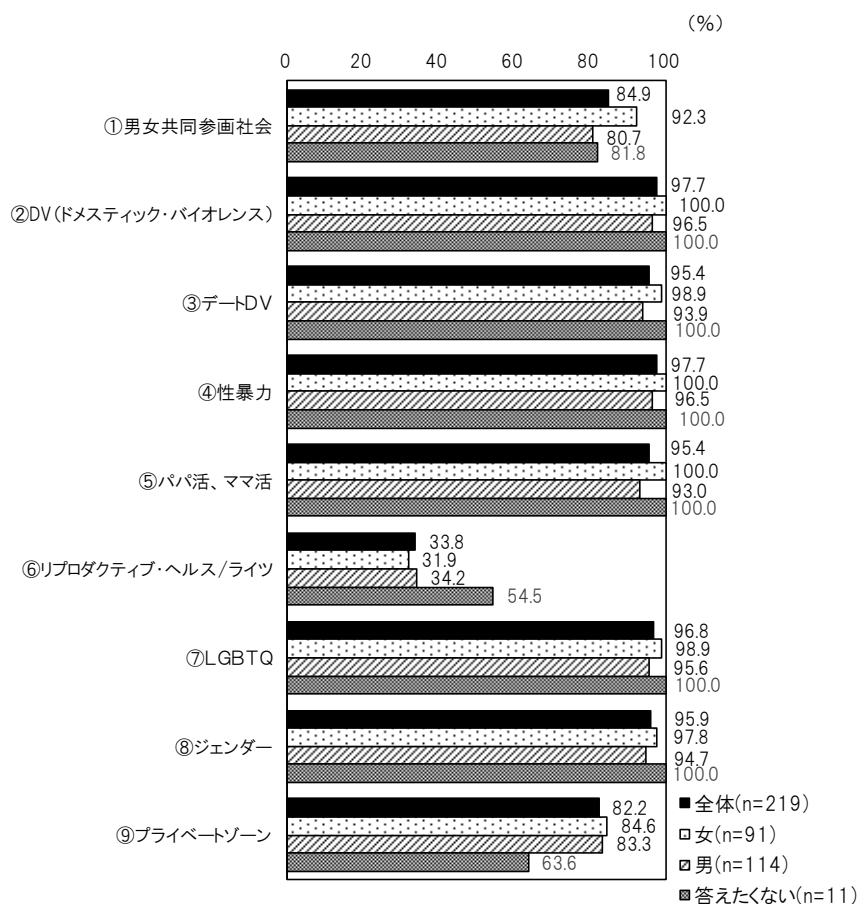
3. 用語の認知度について

(1)男女共同参画関連の用語の認知度

問7 あなたは次の言葉を知っていますか？(①～⑨それぞれについて1つ選択)

図表 83 男女共同参画関連の用語の認知度(全体・性別)

※グラフは「知っている」と回答した割合



■全体の回答傾向

男女共同参画の用語の認知度については、「②DV(ドメスティック・バイオレンス)」「④性暴力」が97.7%、次いで「⑦LGBTQ」が96.8%と高い認知度となっています。そのほかの用語についても、ほとんどが8割以上の高い認知度となっています。

一方、「⑥リプロダクティブ・ヘルス/ライツ」については33.8%と低い認知度になっています。

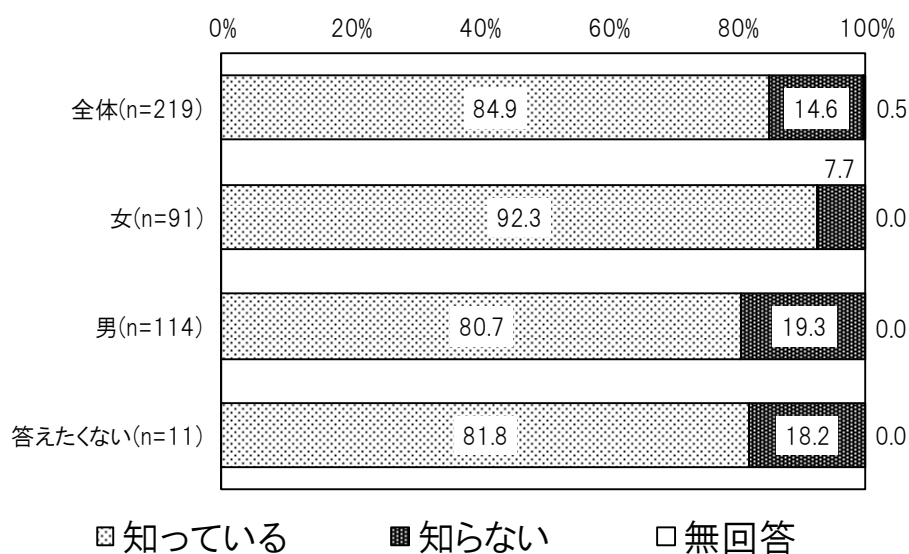
■性別の回答傾向

性別で見ると、ほとんどの用語において、答えたくないと回答した人、女子・男子の順に認知度が高い結果となっています。

答えたくないと回答した人においては、ほとんどの項目で関心が高い傾向にありますが、「①男女共同参画社会」については女子よりも低く、「⑨プライベートゾーン」については女子・男子よりも認知度が低い結果となっています。

① 男女共同参画社会

図表 84 「男女共同参画社会」という言葉の認知度(全体・性別)



■全体の回答傾向

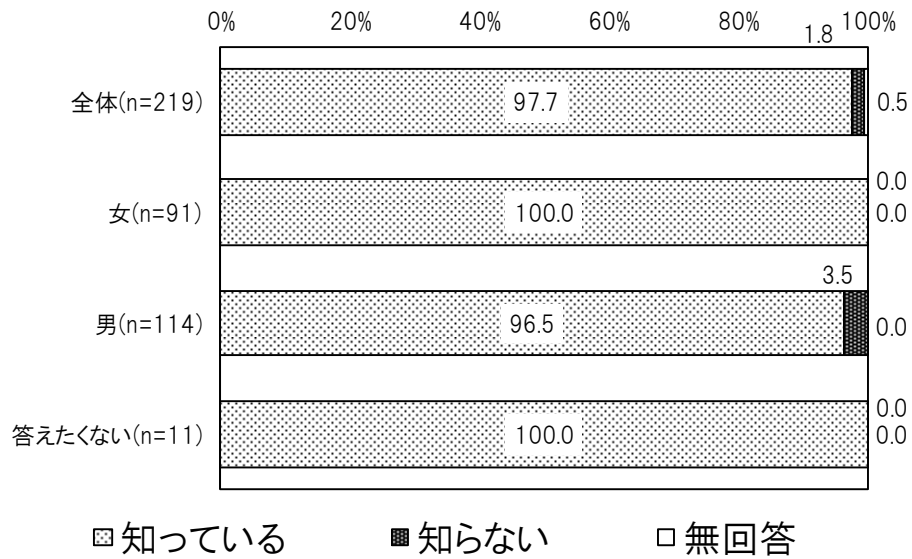
「男女共同参画社会」という言葉の認知度については、「知っている」が 84.9%と高い認知度となっており、「知らない」(14.6%)を 70.3 ポイント上回っています。

■性別の回答傾向

性別でみると、「知っている」は女子が 92.3%、男子が 80.7%、となっており、その差は 11.6 ポイントで女子が上回っています。答えたくないと回答した人は、「知っている」が 81.8%と、男子よりも 1.1 ポイント上回っていますが、女子よりも 10.5 ポイント下回っています。

② DV(ドメスティック・バイオレンス)

図表 85 「DV(ドメスティック・バイオレンス)」という言葉の認知度(全体・性別)



■ 全体の回答傾向

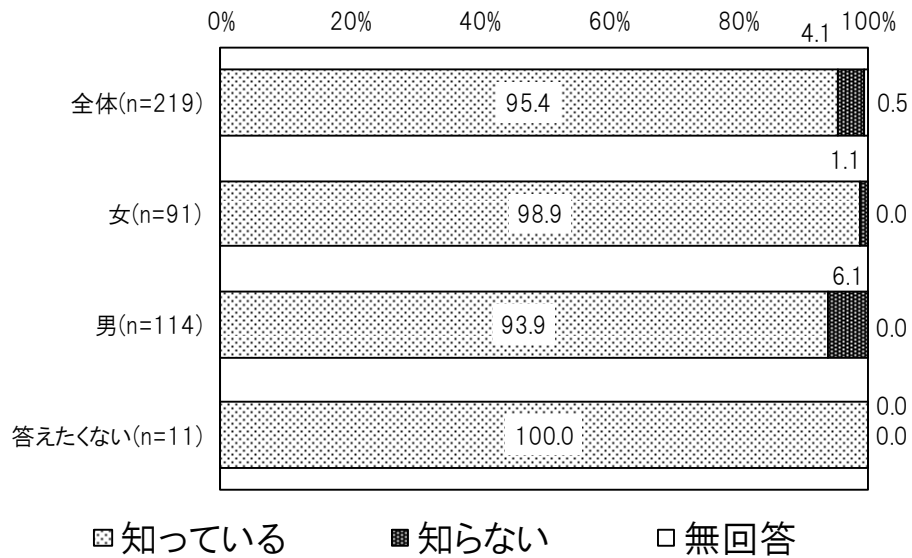
「DV(ドメスティック・バイオレンス)」という言葉の認知度については、「知っている」が 97.7%と非常に高い認知度となっており、「知らない」(1.8%)を 95.9 ポイント上回っています。

■ 性別の回答傾向

性別でみると、「知っている」が女子と答えたくないと回答した人は 100%となっています。男子は 96.5%で、僅差ですが女子・答えたくないと回答した人が 3.5 ポイント上回っています。

③ デートDV

図表 86 「デートDV」という言葉の認知度(全体・性別)



■全体の回答傾向

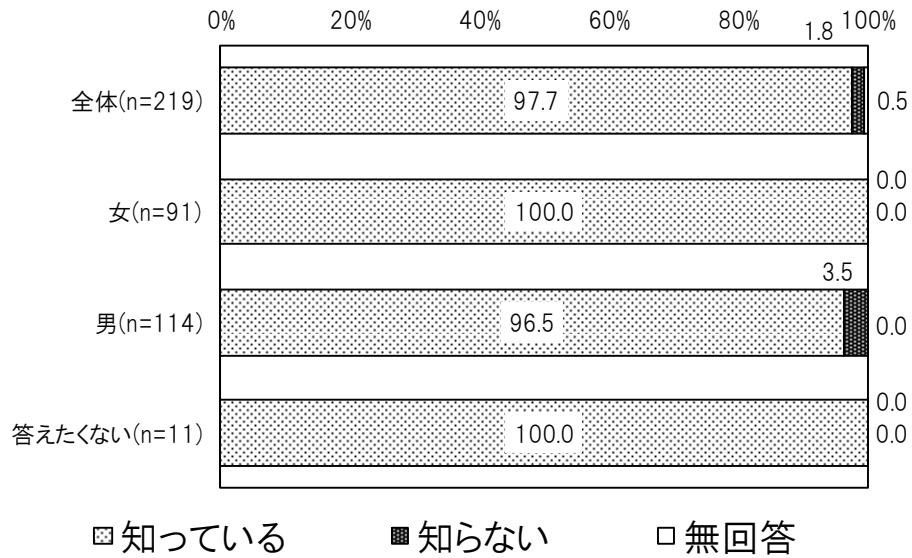
「デートDV」という言葉の認知度については、「知っている」が95.4%と非常に高い認知度となっており、「知らない」(4.1%)を91.3ポイント上回っています。

■性別の回答傾向

性別でみると、「知っている」は女子が98.9%、男子は93.9%で、女子が5.0ポイント上回っています。答えたくないと回答した人においては100.0%の認知度となっています。

④ 性暴力

図表 87 「性暴力」という言葉の認知度(全体・性別)



■全体の回答傾向

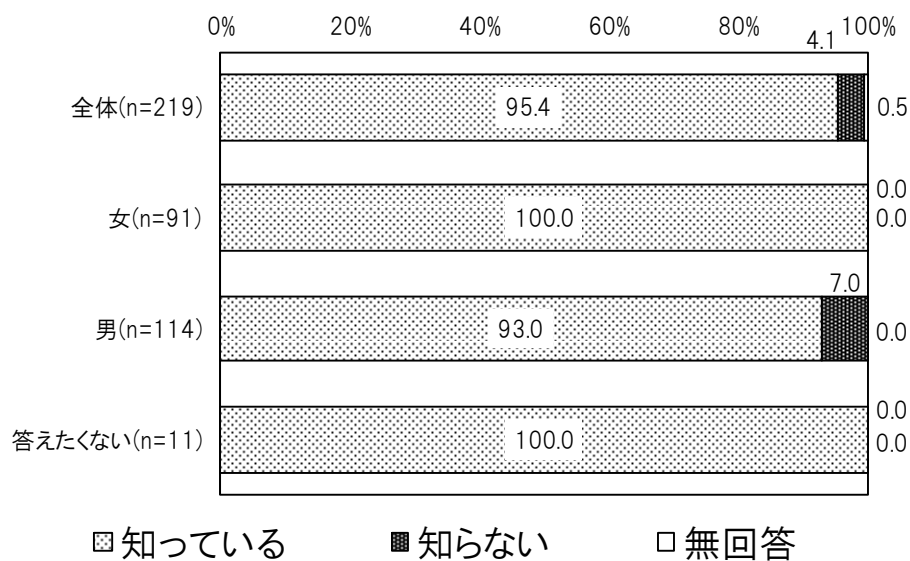
「性暴力」という言葉の認知度については、「知っている」が 97.7%と非常に高い認知度となっており、「知らない」(1.8%)を 95.9 ポイント上回っています。

■性別の回答傾向

性別でみると、「知っている」は女子と答えたくないと回答した人が 100.0%となっています。男子は 96.5%で、僅差ですが女子と答えたくないと回答した人が 3.5 ポイント上回っています。

⑤ パパ活、ママ活

図表 88 「パパ活、ママ活」という言葉の認知度(全体・性別)



■全体の回答傾向

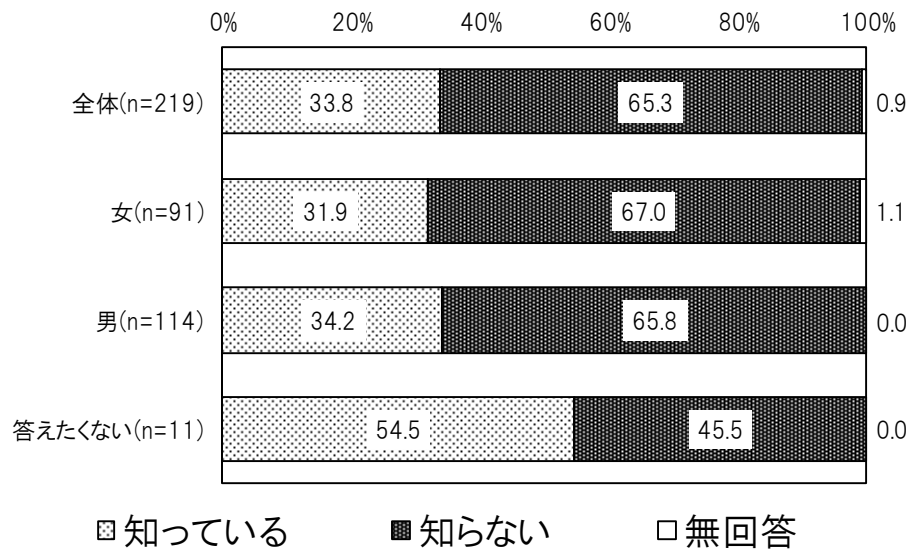
「パパ活、ママ活」という言葉の認知度については、「知っている」が 95.4%と非常に高い認知度となっており、「知らない」(4.1%)を 91.3 ポイント上回っています。

■性別の回答傾向

性別でみると、「知っている」が女子と答えたくないと回答した人は 100.0%となっており、男子は 93.0%で、女子と答えたくないと回答した人が 7.0 ポイント上回っています。

⑥ リプロダクティブ・ヘルス・ライツ

図表 89 「リプロダクティブ・ヘルス・ライツ」という言葉の認知度(全体・性別)



■全体の回答傾向

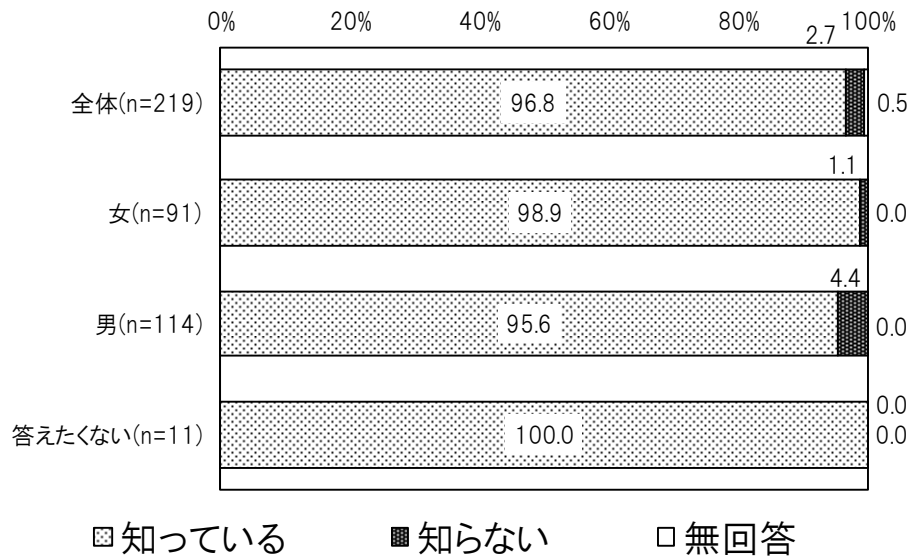
「リプロダクティブ・ヘルス・ライツ」という言葉の認知度については、「知らない」が 65.3%で、「知っている」(33.8%)を 31.5 ポイント上回っており、認知度が低いことがうかがえます。

■性別の回答傾向

答えたくないと回答した人は女子・男子に比べて「リプロダクティブ・ヘルス/ライツ」の用語について高い認知度を示しています。女子と男子の認知度の傾向はほぼ同様です。

⑦ LGBTQ

図表 90 「LGBTQ」という言葉の認知度(全体・性別)



■全体の回答傾向

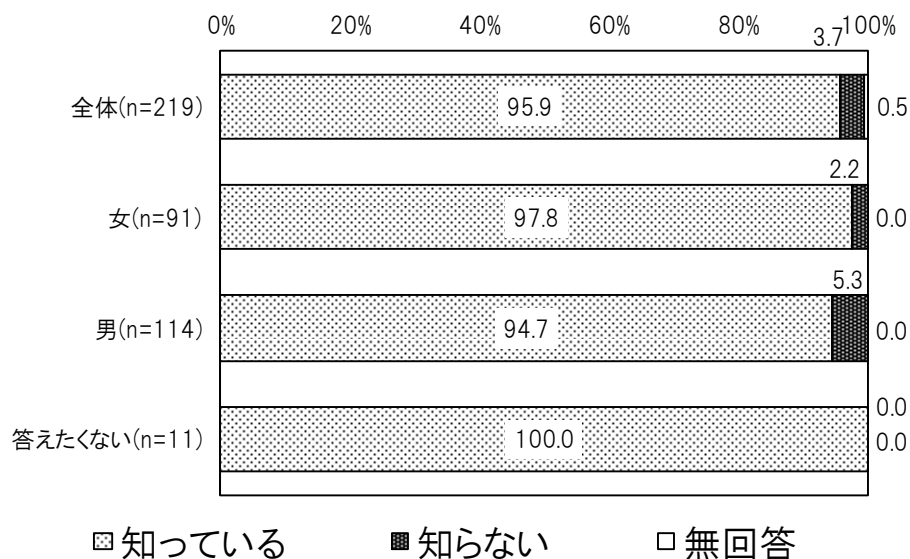
「LGBTQ」という言葉の認知度については、「知っている」が 96.8%と非常に高い認知度となっており、「知らない」(2.7%)を 94.1 ポイント上回っています。

■性別の回答傾向

性別でみると、女子と答えたくないと回答した人は、LGBTQ の用語について非常に高い認知度(女子:98.9%、答えたくない:100.0%)となっています。男子も高い認知度(95.6%)を示していますが、女子と比べると 3.3 ポイント低く、答えたくない人よりも 4.4 ポイント低くなっています。

⑧ ジェンダー

図表 91 「ジェンダー」という言葉の認知度(全体・性別)



■全体の回答傾向

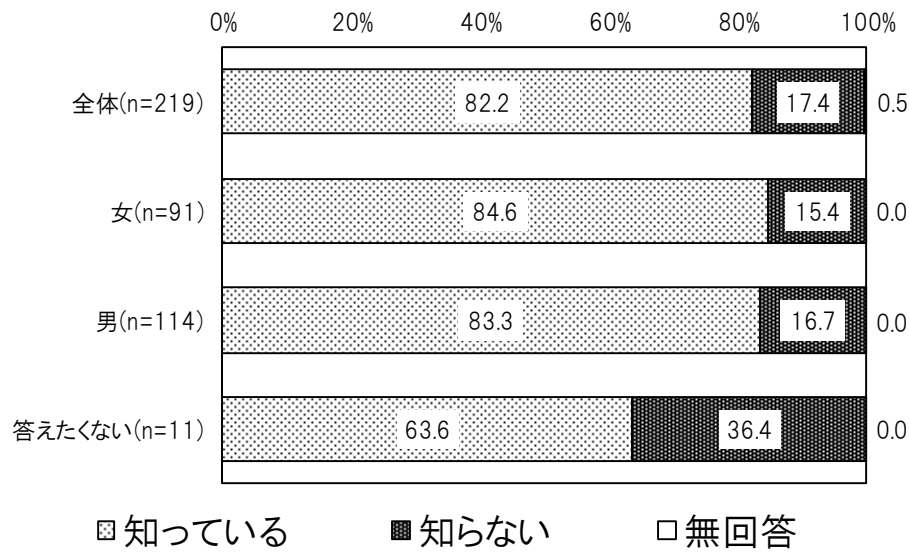
「ジェンダー」という言葉の認知度については、「知っている」が95.9%と非常に高い認知度となっており、「知らない」(3.7%)を92.2ポイント上回っています。

■性別の回答傾向

性別でみると、女子と答えたくないと回答した人は、非常に高い認知度(女子:97.8%、「答えたくない」と回答した人:100.0%)となっています。男子も高い認知度(94.7%)を示していますが、女子に比べると3.1ポイント低く、答えたくない人よりも5.3ポイント低くなっています。

⑨ プライベートゾーン

図表 92 「プライベートゾーン」という言葉の認知度(全体・性別)



■全体の回答傾向

「プライベートゾーン」という言葉の認知度については、「知っている」が 82.2%と高い認知度となっています。「知らない」(17.4%)を 64.8 ポイント上回っています。

■性別の回答傾向

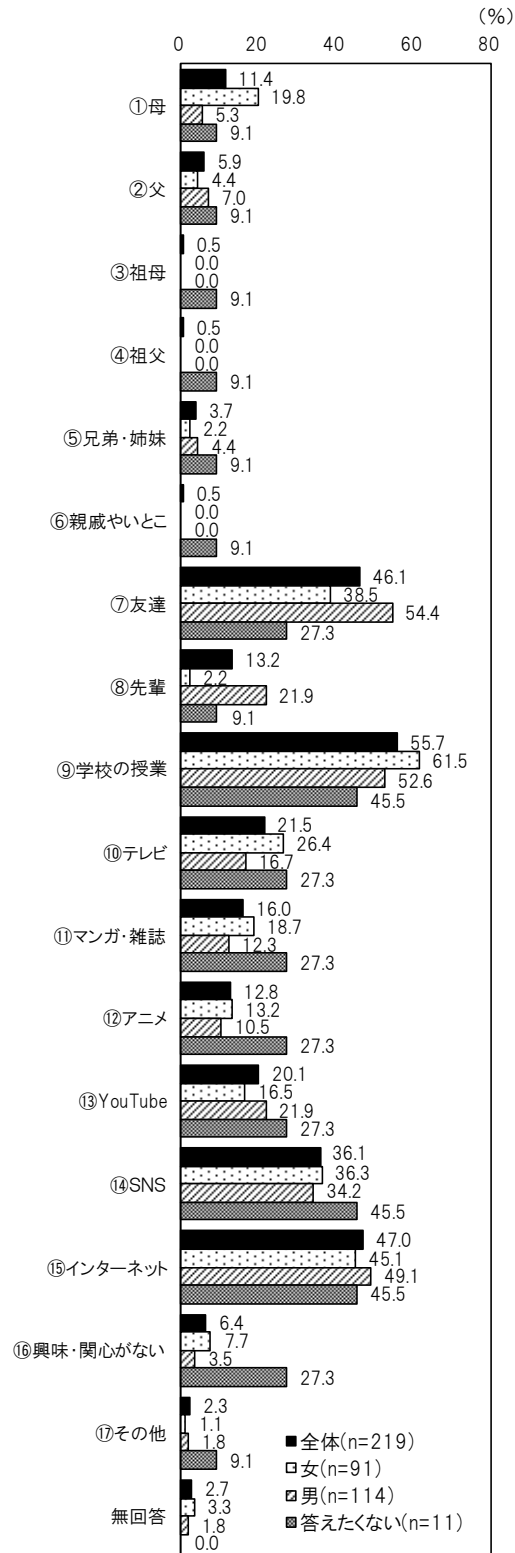
性別でみると、女子と男子は「プライベートゾーン」の用語についてほぼ同程度の認知度(女子: 84.6%、男子: 83.3%)となっており、高い認知度です。一方、答えたくないと回答した人は女子・男子に比べて認知度が低い(63.6%)傾向にあります。

4. 性に関する情報について

(1)性に関する情報

問8 あなたは性に関する情報をどこから知りますか。(あてはまるものすべてを選択)

図表 93 性に関する情報の入手先(全体・性別)



■全体の回答傾向

性に関する情報の入手先として、「⑨学校の授業」が最も高く 55.7%です。次いで「⑮インターネット」が 47.0%、「⑦友達」が 46.1%と上位を占めています。

「⑰その他」の具体的な内容については、「校外の方からのお話」や「性の講演会」などがあげられています。

■性別の回答傾向

性別でみると、女子は全体の回答傾向と同様に、「⑨学校の授業」(61.5%)、「⑮インターネット」(45.1%)、「⑦友達」(38.5%)の順に高くなっています。

男子については、「⑦友達」が 54.4%で最も高く、次いで「⑨学校の授業」(52.6%)、「⑮インターネット」(49.1%)の順に高くなっています。

女子と男子は傾向が類似しているものの、項目によっては回答の割合に差がある項目もあります。男女差が最も大きかった回答は「⑧先輩」で、女子が 2.2%、男子が 21.9%と男子が 19.7 ポイント上回っています。次いで「⑦友達」は、女子が 38.5%、男子が 54.4%で、男子が 15.9 ポイント上回っています。

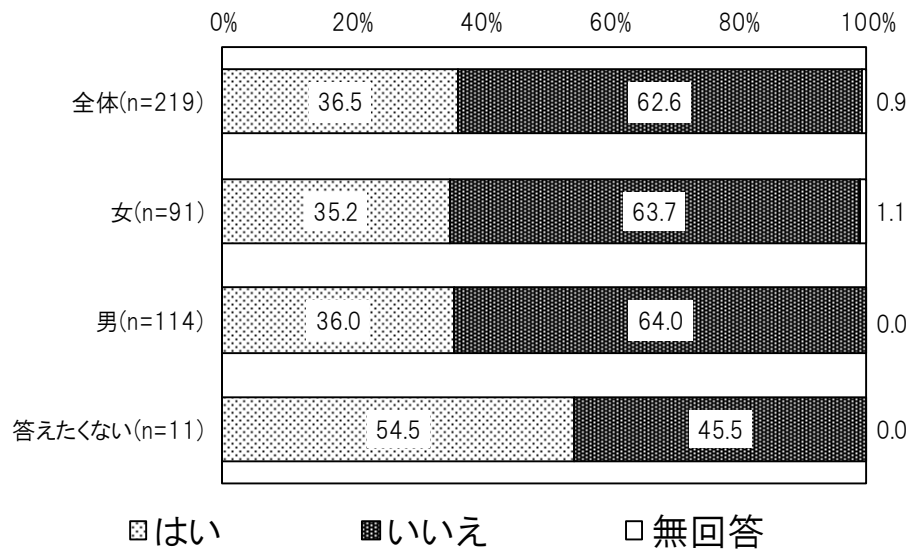
一方、答えたくないと回答した人は「⑨学校の授業」「⑭SNS」「⑮インターネット」(それぞれ 45.5%)が上位となっています。女子・男子と比較すると「⑭SNS」の割合は高く、「⑨学校の授業」の割合が低くなっています。また、「⑯興味・関心がない」(27.3%)は、女子(7.7%)、男子(3.5%)と比較して非常に高い割合となっています。

5. 交際とデートDVについて

(1) 交際相手の有無

問9 あなたには恋人(交際相手)がいますか。または恋人(交際相手)がいましたか？

図表 94 交際相手の有無(全体・性別)



■ 全体の回答傾向

交際相手の有無については、「いいえ」が 62.6%となっており、「はい」(36.5%)を 26.1 ポイント上回っています。

■ 性別の回答傾向

性別でみると、答えたくないと回答した人は、交際相手がいる割合(54.5%)が女子・男子よりも高いです。女子と男子は、交際相手がいる割合(女子:35.2%、男子:36.0%)がほぼ同程度です。

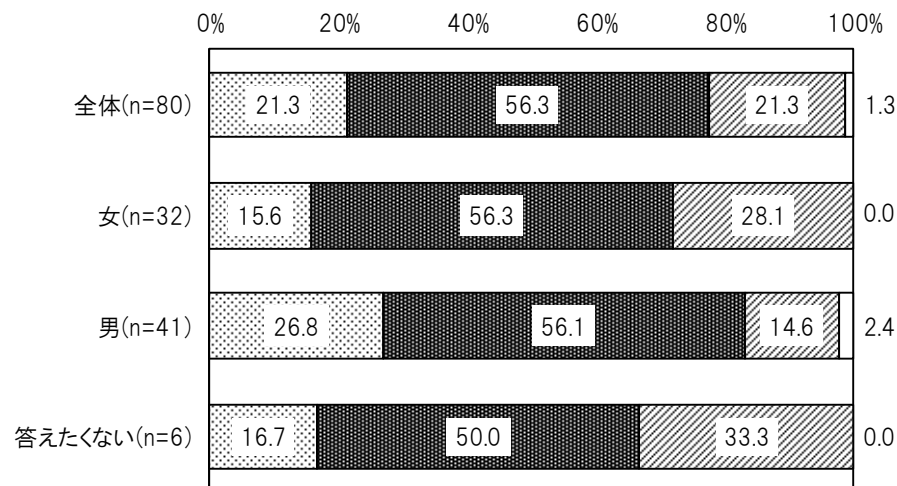
(2)デートDVに関する認識と経験

問 10 問9で「はい」と答えた方にお聞きします。恋人との間で次のようなことが行われた場合、あなたはどのように思いますか？また、次のようなことを実際にされた経験はありますか。

①自分を常に優先してほしいと言う

【デートDVと思うか】

図表 95 「①自分を常に優先してほしい」【デートDVの認識】(全体・性別)



□ デートDVだと思う ■ デートDVではないと思う ▨ 分からない □ 無回答

■ 全体の回答傾向

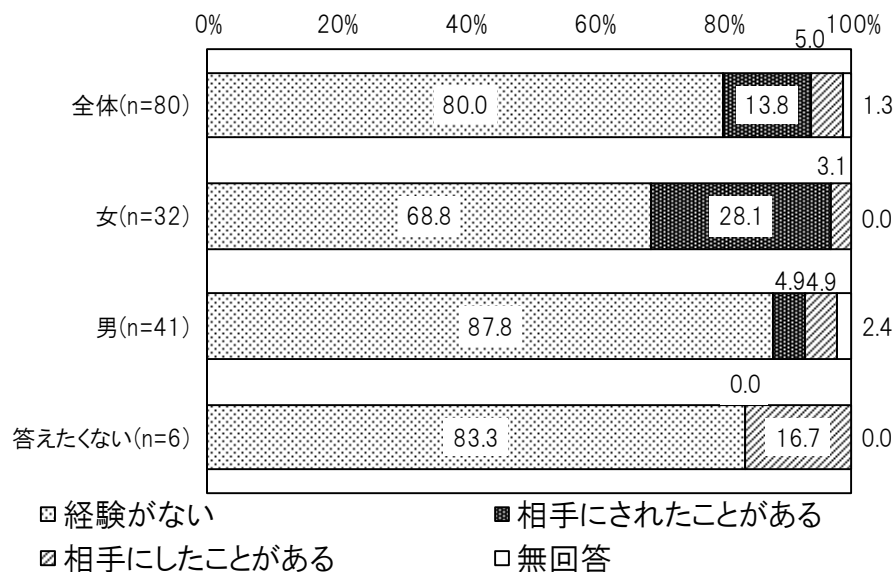
「自分を常に優先してほしいと言う」ことをデートDVと思うかについては、「デート DV ではないと思う」が 56.3%で、「デート DV だと思う」(21.3%)を 35.0 ポイント上回っています。

■ 性別の回答傾向

性別でみると、「デート DV だと思う」の割合は男子が 26.8%で最も高くなっています。女子 (15.6%)と答えたくないと回答した人(16.7%)の割合にはあまり大きな差は見られません。

【行為の経験】

図表 96 「①自分を常に優先してほしい」【行為の経験】(全体・性別)



■全体の回答傾向

「自分を常に優先してほしい」ということについての経験については、「経験がない」が 80.0%、「相手にされたことがある」が 13.8%、「相手にしたことがある」が 5.0%となっています。

■性別の回答傾向

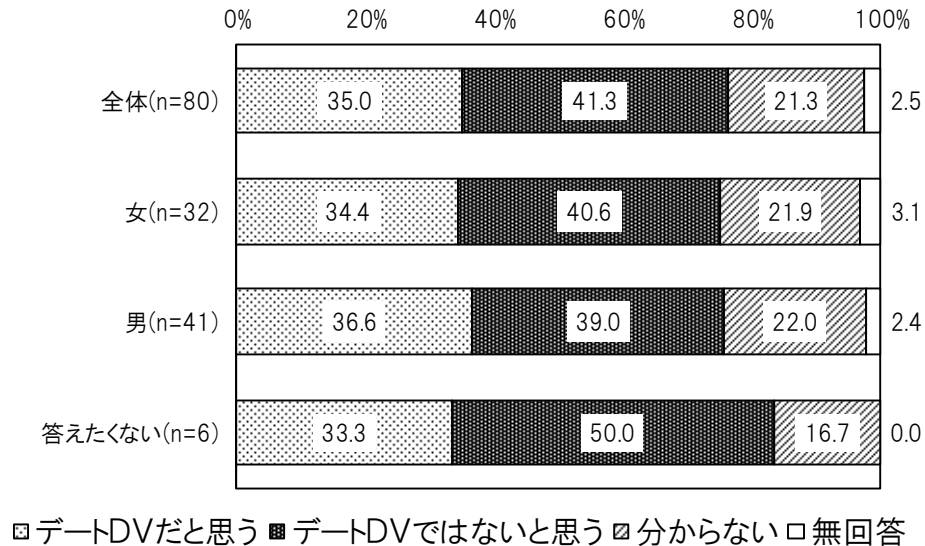
性別でみると、男子は「経験がない」割合(87.8%)が女子(68.8%)、答えたくないと回答した人(83.3%)と比較して高いです。

女子は「相手にされたことがある」と答える割合(28.1%)が高くなっています。

答えたくないと回答した人は「相手にしたことがある」と答える割合(16.7%)が最も高いです。

②しょっちゅう電話やメールをしてきたり、どこでだれと会っているか繰り返し聞く
【デートDVと思うか】

図表 97 「②しょっちゅう電話やメールをしてきたり、どこでだれと会っているか繰り返し聞く」
【デートDVの認識】(全体・性別)



■全体の回答傾向

「しょっちゅう電話やメールをしてきたり、どこでだれと会っているか繰り返し聞く」ことをデートDVと思うかについては、「デートDVではないと思う」が41.3%となっており、「デートDVだと思う」(35.0%)を6.3ポイント上回っています。

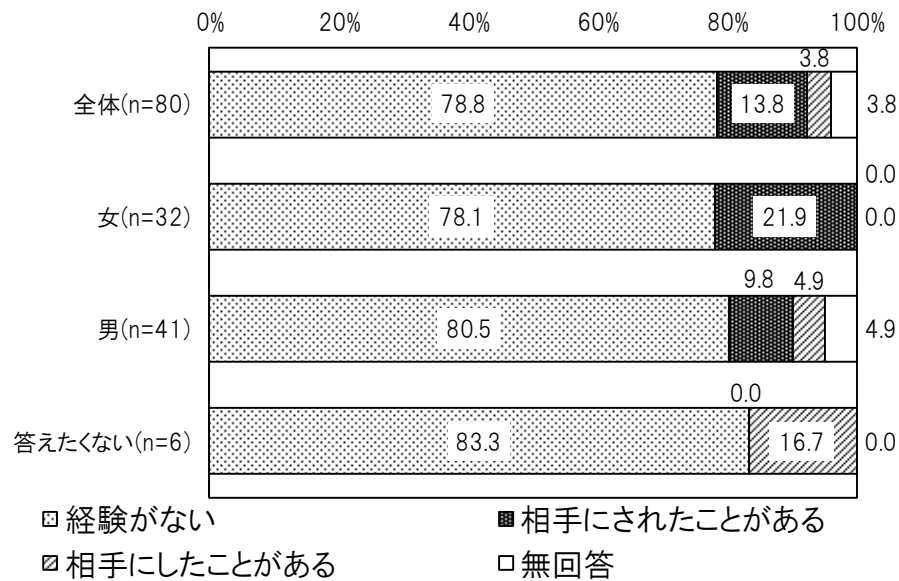
■性別の回答傾向

性別でみると、「デートDVだと思う」割合は、性別による差はあまりありません。

答えたくないと回答した人は、「デートDVではないと思う」割合(50.0%)が最も高いです。

【行為の経験】

図表 98 「②しょっちゅう電話やメールをしてきたり、どこでだれと会っているか繰り返し聞く」
【行為の経験】(全体・性別)



■全体の回答傾向

「しょっちゅう電話やメールをしてきたり、どこでだれと会っているか繰り返し聞く」ことについての経験については、「経験がない」が 78.8%、「相手にされたことがある」が 13.8%、「相手にしたことがある」が 3.8%となっています。

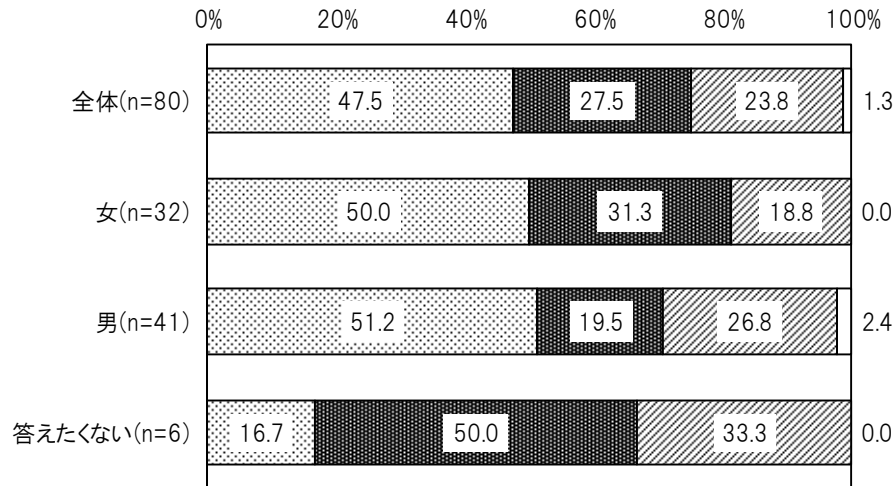
■性別の回答傾向

性別でみると、「相手にされたことがある」は、女子が 21.9%、男子が 9.8%、答えたくないと回答した人が 0.0%で、女子が男子を 12.1 ポイント上回っています。

対称的に、「相手にしたことがある」は、女子は 0%、男子は 4.9%、答えたくないと回答した人が 16.7%となっています。

③言うとおりにしないとすぐに無視をしたり、機嫌が悪くなる
【デートDVと思うか】

図表 99 「③言うとおりにしないとすぐに無視をしたり、機嫌が悪くなる」
【デートDVの認識】(全体・性別)



▨ デートDVだと思う ■ デートDVではないと思う ▨ 分からない □ 無回答

■ 全体の回答傾向

「言うとおりにしないとすぐに無視をしたり、機嫌が悪くなる」ことをデートDVと思うかについては、「デート DV だと思う」が 47.5%で、「デート DV ではないと思う」(27.5%)を 20.0 ポイント上回っています。

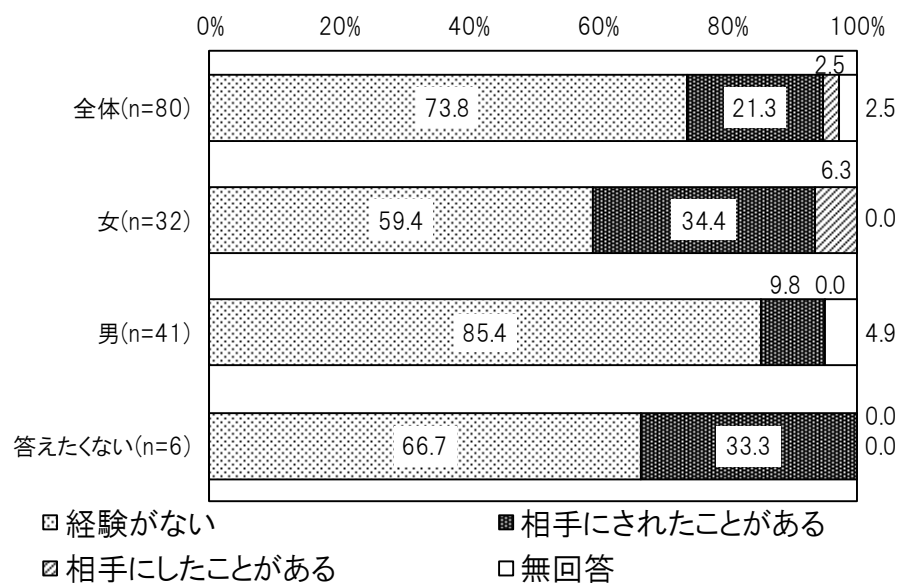
■ 性別の回答傾向

性別でみると、女子と男子は「デート DV だと思う」割合(女子:50.0%、男子:51.2%)がほぼ半数を占めています。

答えたくないと回答した人は、「デートDVだと思う」の割合が 16.7%、「デート DV ではないと思う」(50.0%)がほぼ半数を占めるなど、女子・男子とはやや異なる傾向がみられます。

【行為の経験】

図表 100 「③言うとおりにしないとすぐに無視をしたり、機嫌が悪くなる」
【行為の経験】(全体・性別)



■全体の回答傾向

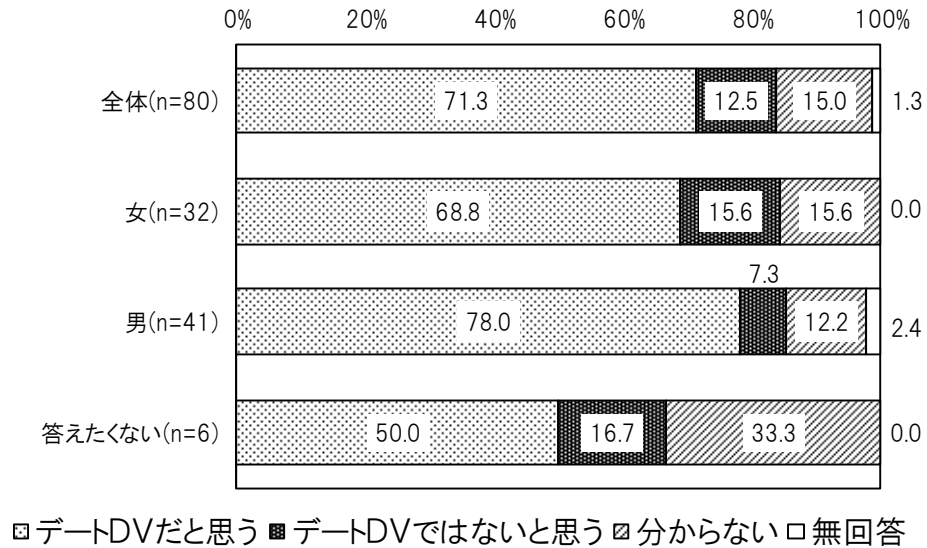
「言うとおりにしないとすぐに無視をしたり、機嫌が悪くなる」ことについての経験については、「経験がない」が 73.8%、「相手にされたことがある」が 21.3%、「相手にしたことがある」が 2.5%となっています。

■性別の回答傾向

性別でみると、「経験がない」の割合は、女子が 59.4%、男子が 85.4%、答えたくないと回答した人が 66.7%となっています。一方、「相手にされたことがある」は、女子が 34.4%、男子が 9.8%、答えたくないと回答した人が 33.3%となっており、女子と答えたくないと回答した人の傾向は類似していますが、男子はやや異なる傾向がみられます。

④携帯電話を勝手に見たり、友達の番号やアドレスを消す(または、消せという)
【デートDVと思うか】

図表 101 「④携帯電話を勝手に見たり、友達の番号やアドレスを消す(または、消せという)」
【デートDVの認識】(全体・性別)



■ 全体の回答傾向

「携帯電話を勝手に見たり、友達の番号やアドレスを消す(または、消せという)」ことをデートDVと思うかについては、「デートDVだと思う」が71.3%と過半数を占めており、「デートDVではないと思う」(12.5%)を58.8ポイント上回っています。

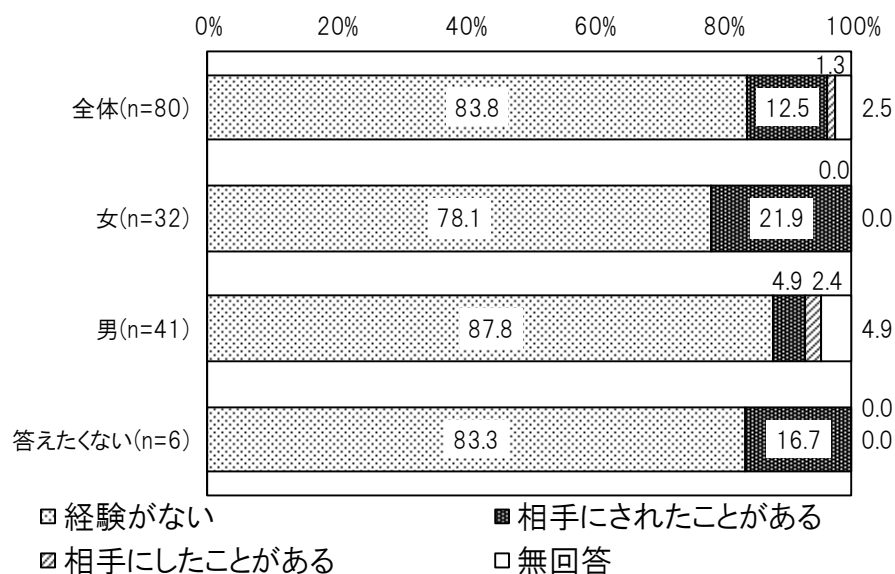
■ 性別の回答傾向

性別でみると、男子は、「デートDVだと思う」割合(78.0%)が女子・答えたくないと回答した人と比較して最も高いです。

女子もデートDVだと思う割合(68.8%)が高いですが、男性よりは9.2ポイント低くなっています。

【行為の経験】

図表 102 「④携帯電話を勝手に見たり、友達の番号やアドレスを消す(または、消せという)」
【行為の経験】(全体・性別)



■全体の回答傾向

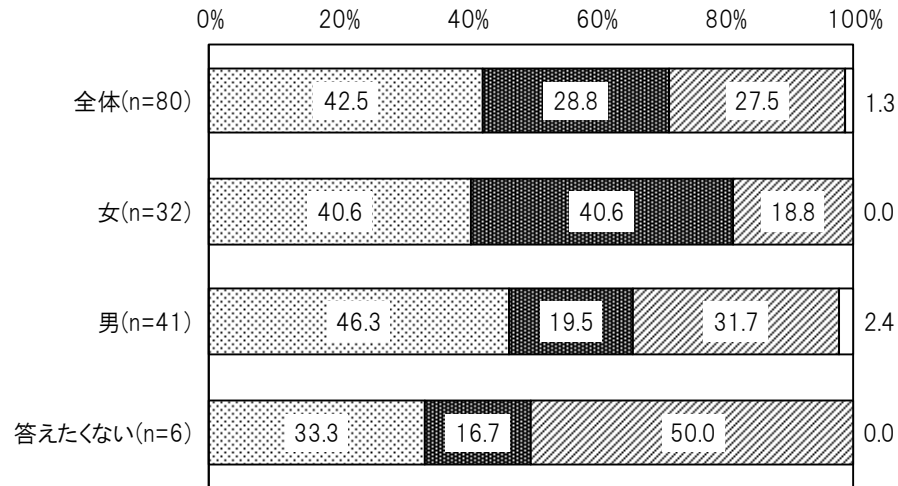
「携帯電話を勝手に見たり、友達の番号やアドレスを消す(または、消せという)」ことについての経験については、「経験がない」が 83.8%、「相手にされたことがある」が 12.5%、「相手にしたことがある」が 1.3%となっています。

■性別の回答傾向

性別でみると、「経験がない」の割合は、女子が 78.1%、男子が 87.8%と、男子が 9.7 ポイント上回っています。一方、「相手にされたことがある」は、女子が 21.9%、男子が 4.9%で男子が 17.0 ポイント上回っています。答えたくないと回答した人では、「経験がない」割合が 83.3%、「相手にされたことがある」割合が 16.7%となっており、性別によって大きな違いが見られます。

⑤常に相手の考えを聞かずに、物事を計画したり決めたりする
【デートDVと思うか】

図表 103 「⑤常に相手の考えを聞かずに、物事を計画したり決めたりする」
【デートDVの認識】(全体・性別)



□ デートDVだと思う ■ デートDVではないと思う ▨ 分からない □ 無回答

■ 全体の回答傾向

「常に相手の考えを聞かずに、物事を計画したり決めたりする」ことをデートDVと思うかについては、「デート DV だと思う」が 42.5%で、「デート DV ではないと思う」(28.8%)を 13.7 ポイント上回っています。

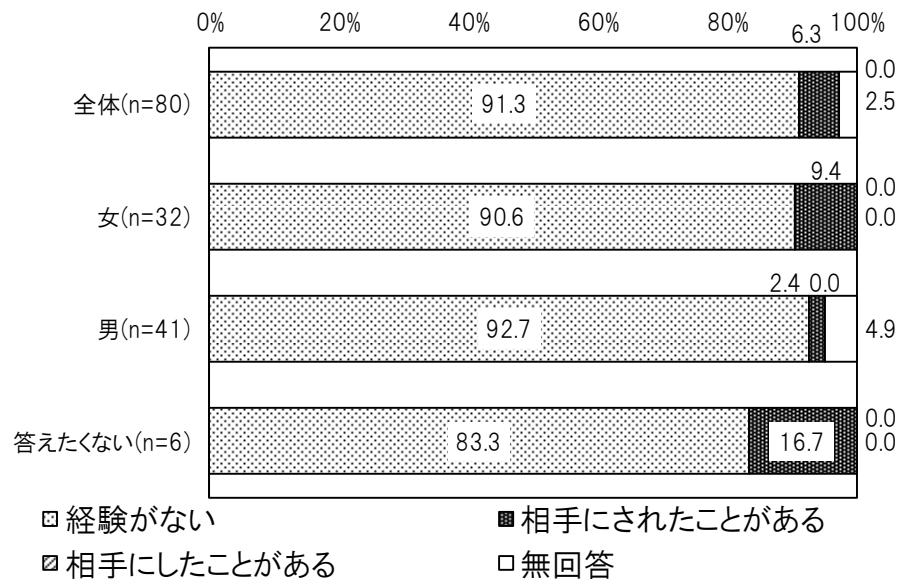
■ 性別の回答傾向

性別でみると、女子は「デート DV だと思う」と「デートDVではないと思う」の割合がともに 40.6%で拮抗しています。

男子は、「デート DV だと思う」割合が 46.3%で、女子や答えたくないと回答した人と比較して最も高いです。なお、男子と答えたくないと回答した人は、「デート DV ではないと思う」(男子: 19.5%、答えたくない人: 16.7%)よりも「デート DV だと思う」(男子: 46.3%、答えたくないと回答した人: 33.3%)の割合の方が高く、女子とはやや傾向が異なっています。

【行為の経験】

図表 104 「⑤常に相手の考えを聞かずに、物事を計画したり決めたりする」
【行為の経験】(全体・性別)



■全体の回答傾向

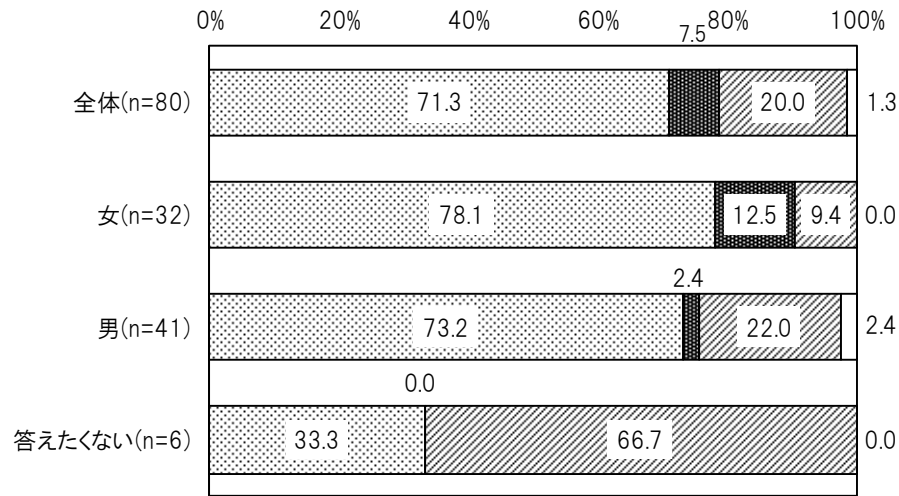
「常に相手の考えを聞かずに、物事を計画したり決めたりする」ことについての経験については、「経験がない」が 91.3%、「相手にされたことがある」が 6.3%、「相手にしたことがある」が 0%となっています。

■性別の回答傾向

性別でみると、男子は「経験がない」(92.7%)は女子よりも 2.1 ポイント高く、答えたくないと回答した人よりも 9.4 ポイント高くなっています。女子は「相手にされたことがある」(9.4%)の割合が比較的高くなっています。

⑥デート代をいつもすべて払わせる
【デートDVと思うか】

図表 105 「⑥デート代をいつもすべて払わせる」【デートDVの認識】(全体・性別)



■ デートDVだと思う ■ デートDVではないと思う □ 分からない □ 無回答

■ 全体の回答傾向

「デート代をいつもすべて払わせる」ことをデートDVと思うかについては、「デート DV だと思う」が 71.3%と過半数を占めており、「デート DV ではないと思う」(7.5%)を 63.8 ポイント上回っています。

■ 性別の回答傾向

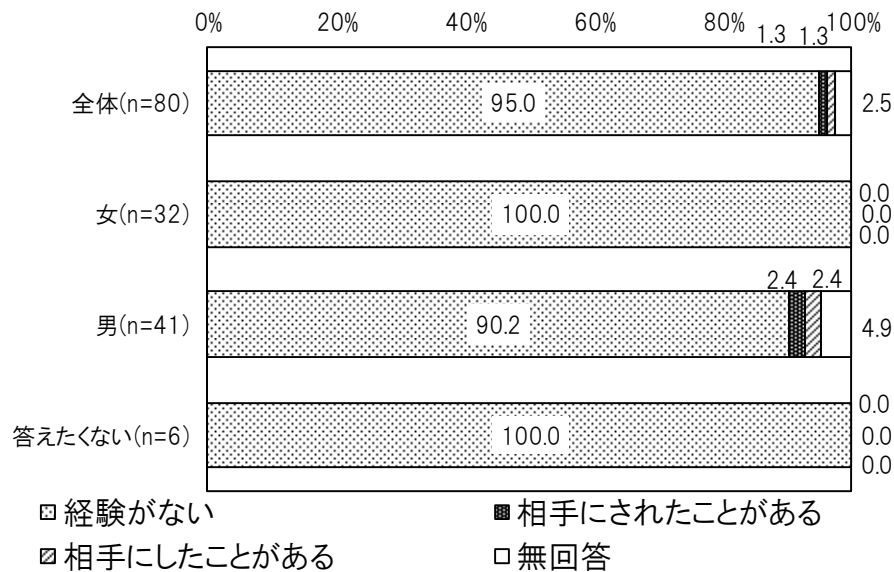
性別でみると、女子は「デート DV だと思う」(78.1%)の割合が他の性別と比較して最も高くなっています。

男子は「デート DV だと思う」(73.2%)が女子に比べて4.9ポイント低くなっています。

答えたくないと回答した人は、「分からない」の割合が 66.7%と高く、「デートDVだと思う」(33.3%)の割合が女子・男子と比べて低くなっています。

【行為の経験】

図表 106 「⑥デート代をいつもすべて払わせる」【行為の経験】(全体・性別)



■全体の回答傾向

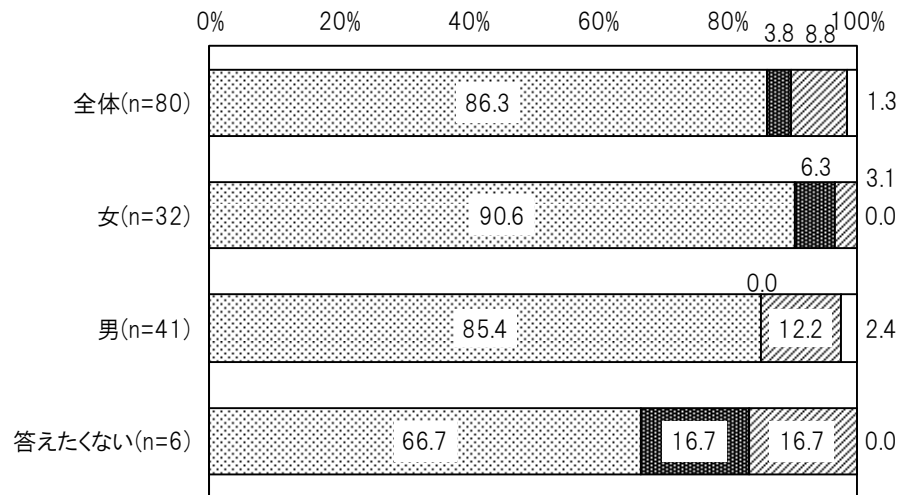
「デート代をいつもすべて払わせる」ことについての経験については、「経験がない」が 95.0%、「相手にされたことがある」が 1.3%、「相手にしたことがある」が 1.3%となっています。

■性別の回答傾向

性別でみると、女子・答えたくないと回答した人は「経験がない」が 100.0%で、男子と比較して高くなっています。男子は、「相手にされたことがある」および「相手にしたことがある」と答える割合(それぞれ 2.4%)が少数ですが存在しています。

⑦キスや性的な行為を同意なく一方的にする
【デートDVと思うか】

図表 107 「⑦キスや性的な行為を同意なく一方的にする」【デートDVの認識】(全体・性別)



■ デートDVだと思う ■ デートDVではないと思う ▨ 分からない □ 無回答

■全体の回答傾向

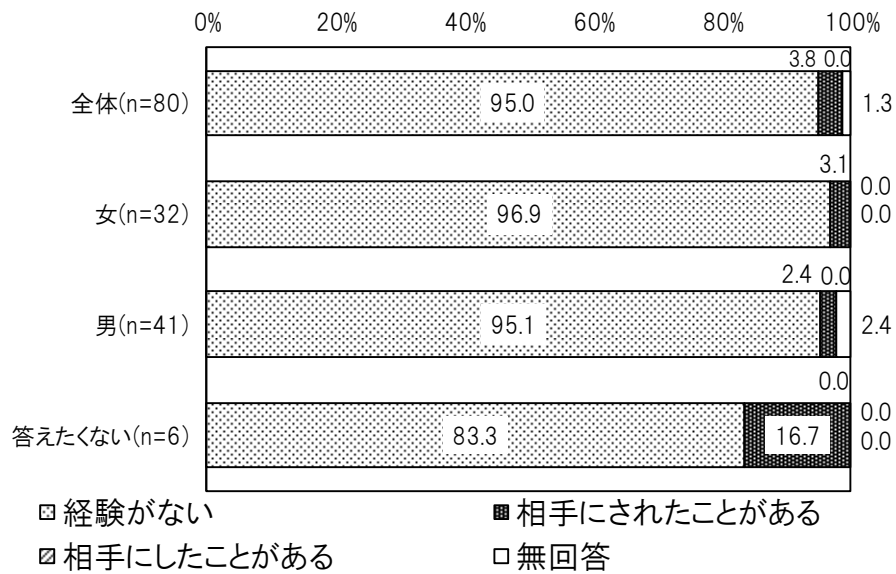
「キスや性的な行為を同意なく一方的にする」ことをデートDVと思うかについては、「デートDVだと思う」が86.3%となっており、「デートDVではないと思う」(3.8%)を82.5ポイント上回っています。

■性別の回答傾向

性別でみると、「デートDVだと思う」の割合は、女子が90.6%、男子は85.4%で、女子が5.2ポイント上回っています。答えたくないと回答した人については「デートDVだと思う」の割合は66.7%で、女子・男子と比較して低い割合となっています。

【行為の経験】

図表 108 「⑦キスや性的な行為を同意なく一方的にする」【行為の経験】(全体・性別)



■全体の回答傾向

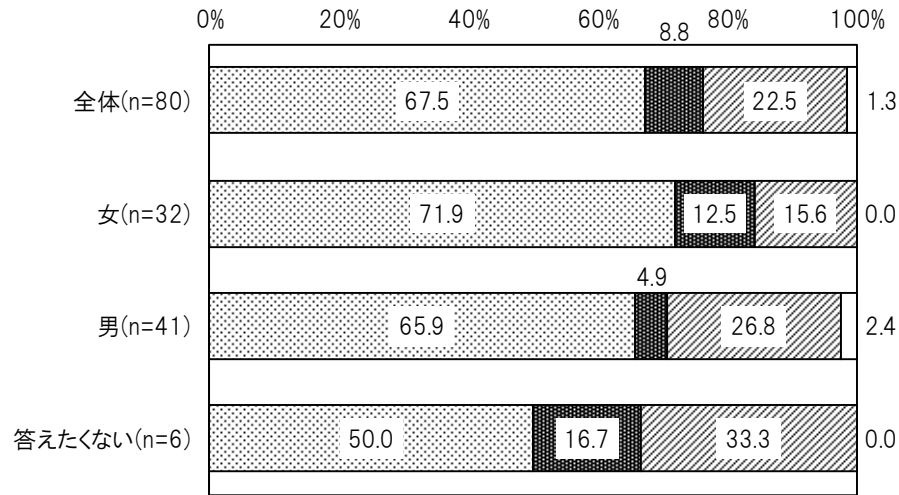
「キスや性的な行為を同意なく一方的にする」ことについての経験については、「経験がない」が95.0%、「相手にされたことがある」が3.8%、「相手にしたことがある」が0%となっています。

■性別の回答傾向

性別でみると、男女では回答傾向に大きな違いは見られません。答えたくないと回答した人については、「経験がない」が83.3%で、女子・男子と比較して低い割合となっています。

⑧いやらしい雑誌や映像を同意なく一方的に見せる
【デートDVと思うか】

図表 109 「⑧いやらしい雑誌や映像を同意なく一方的に見せる」
【デートDVの認識】(全体・性別)



□ デートDVだと思う ■ デートDVではないと思う ▨ 分からない □ 無回答

■全体の回答傾向

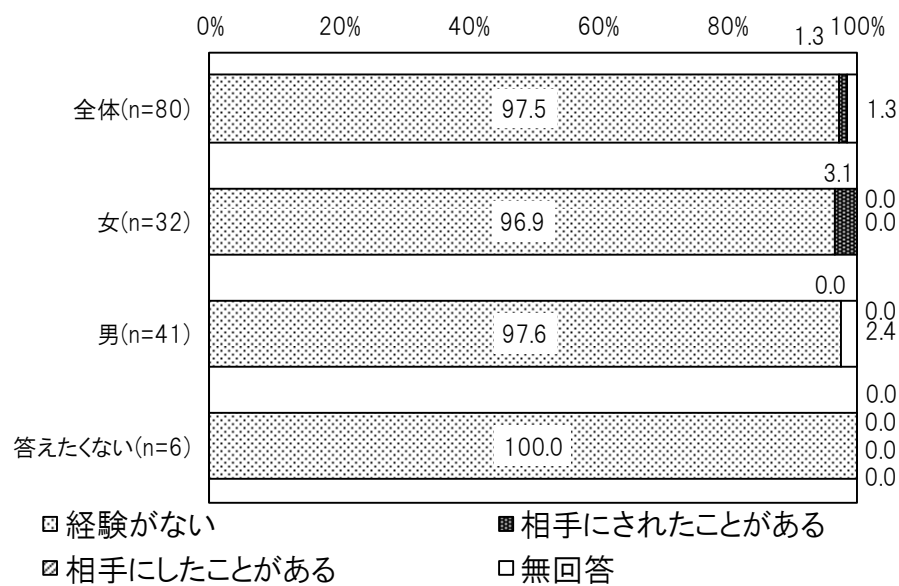
「いやらしい雑誌や映像を同意なく一方的に見せる」ことをデートDVと思うかについては、「デートDVだと思う」が67.5%となっており、「デートDVではないと思う」(8.8%)を58.7ポイント上回っています。

■性別の回答傾向

性別でみると、「デートDVだと思う」の割合は、男女で比較すると女子が71.9%、男子は65.9%で、女子が6.0ポイント上回っています。答えたくないと回答した人については、「デートDVだと思う」は50.0%と、女子・男子と比較して最も低い割合となっています。

【行為の経験】

図表 110 「⑧いやらしい雑誌や映像を同意なく一方的に見せる」
【行為の経験】(全体・性別)



■全体の回答傾向

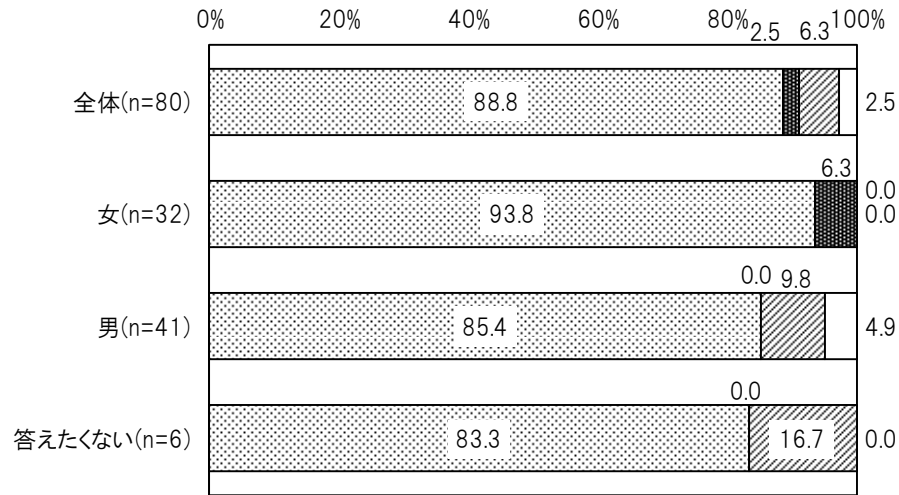
「いやらしい雑誌や映像を同意なく一方的に見せる」ことについての経験については、「経験がない」が 97.5%、「相手にされたことがある」が 1.3%、「相手にしたことがある」が 0%となっています。

■性別の回答傾向

性別でみると、回答傾向に大きな違いは見られません。

⑨性的な画像や動画などを勝手に撮ったり、SNS などに載せたりする
【デートDVと思うか】

図表 111 「⑨性的な画像や動画などを勝手に撮ったり、SNS などに載せたりする」
【デートDVの認識】(全体・性別)



□ デートDVだと思う ■ デートDVではないと思う ▨ 分からない □ 無回答

■全体の回答傾向

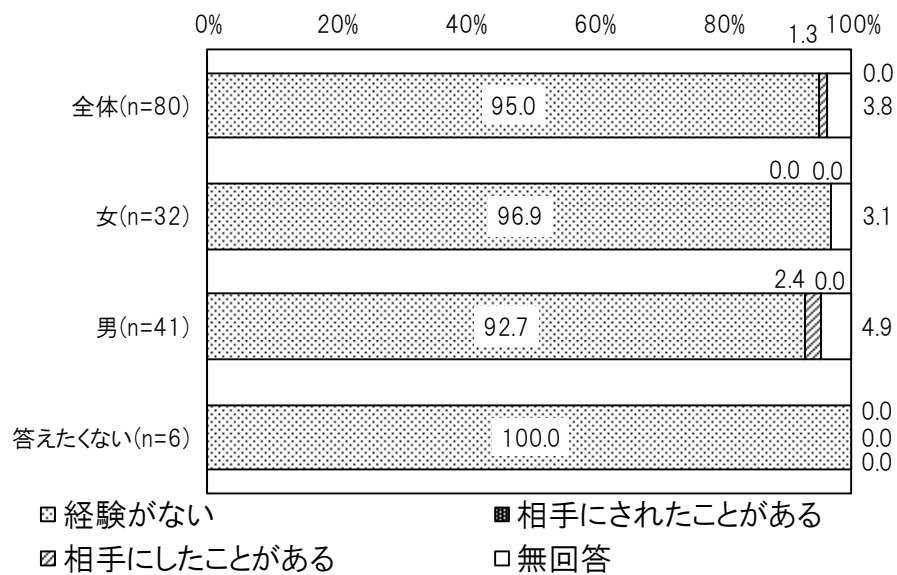
「性的な画像や動画などを勝手に撮ったり、SNS などに載せたりする」ことをデートDVと思うかについては、「デート DV だと思う」が 88.8%となっており、「デート DV ではないと思う」(2.5%)を 86.3 ポイント上回っています。

■性別の回答傾向

性別でみると、「デート DV だと思う」の割合は、女子が 93.8%、男子は 85.4%、答えたくない
と回答した人は 83.3%と、女子の割合が最も高くなっています。

【行為の経験】

図表 112 「⑨性的な画像や動画などを勝手に撮ったり、SNS などに載せたりする」
【行為の経験】(全体・性別)



■全体の回答傾向

「性的な画像や動画などを勝手に撮ったり、SNS などに載せたりする」ことについての経験については、「経験がない」が 95.0%、「相手にされたことがある」が 0%、「相手にしたことがある」が 1.3%となっています。

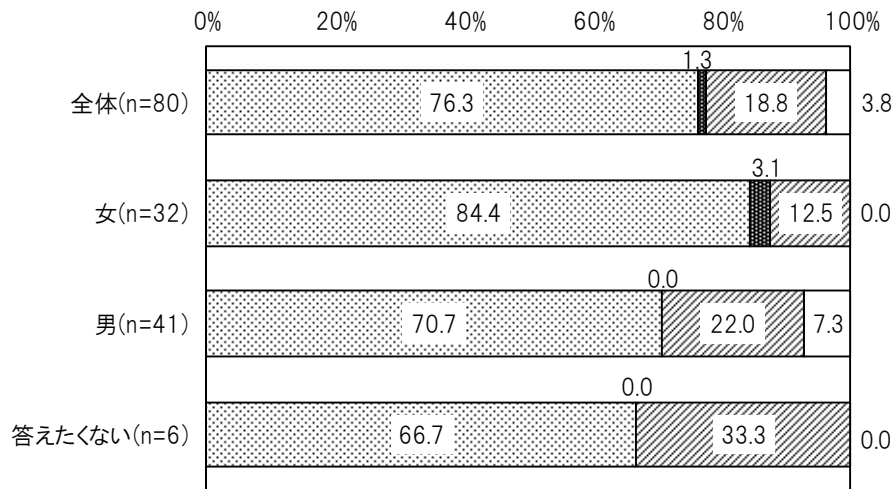
■性別の回答傾向

性別でみると、男子において「相手にしたことがある」が 2.4%と少数ながら存在していますが、回答傾向に大きな違いはみられません。

⑩避妊をしない

【デートDVと思うか】

図表 113 「⑩避妊をしない」【デートDVの認識】(全体・性別)



▨ デートDVだと思う ■ デートDVではないと思う □ 分からない ○ 無回答

■全体の回答傾向

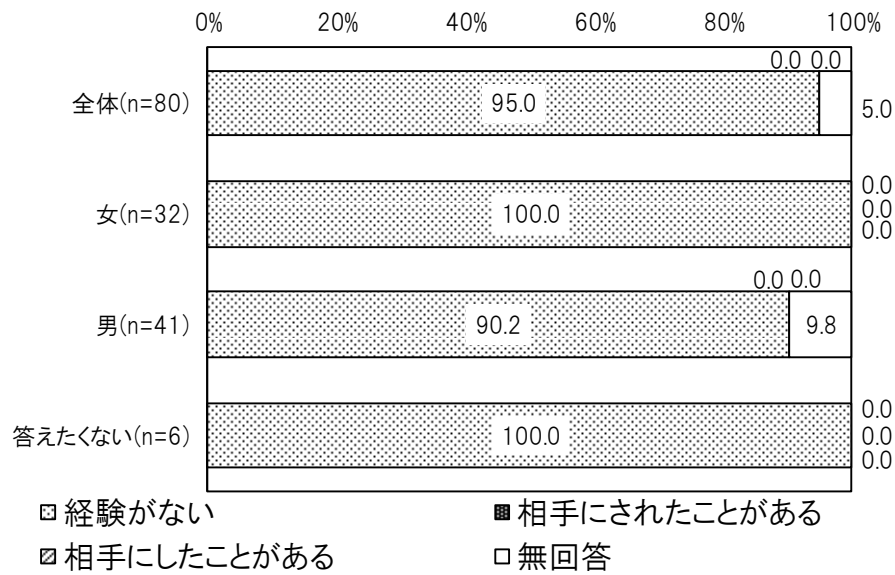
「避妊をしない」ことをデートDVと思うかについては、「デート DV だと思う」が 76.3%となっており、「デート DV ではないと思う」(1.3%)を 75.0 ポイント上回っています。

■性別の回答傾向

性別でみると、「デート DV だと思う」の割合は、女子が 84.4%、男子は 70.7%で、女子が 13.7 ポイント上回っています。答えたくないと回答した人の割合は男子よりもさらに 4.0 ポイント低く、66.7%となっています。

【行為の経験】

図表 114 「⑩避妊をしない」【行為の経験】(全体・性別)



■全体の回答傾向

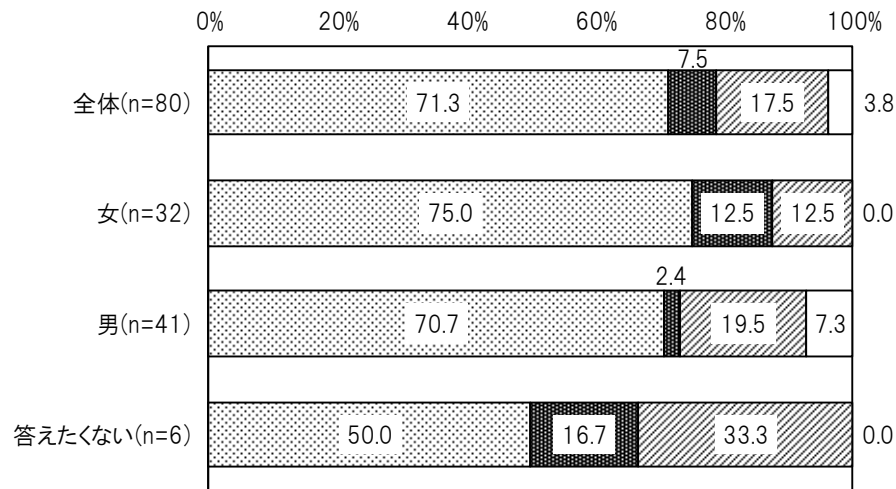
「避妊をしない」ことについての経験については、「経験がない」が 95.0%、「相手にされたことがある」「相手にしたことがある」がともに 0%となっています。

■性別の回答傾向

性別でみると、「経験がない」の割合は女子と答えたくないと回答した人では 100.0%、男子はそれを 9.8 ポイント下回る 90.2%となっています。

⑪大声で怒鳴る
【デートDVと思うか】

図表 115 「⑪大声で怒鳴る」【デートDVの認識】(全体・性別)



■ デートDVだと思う ■ デートDVではないと思う □ 分からない □ 無回答

■ 全体の回答傾向

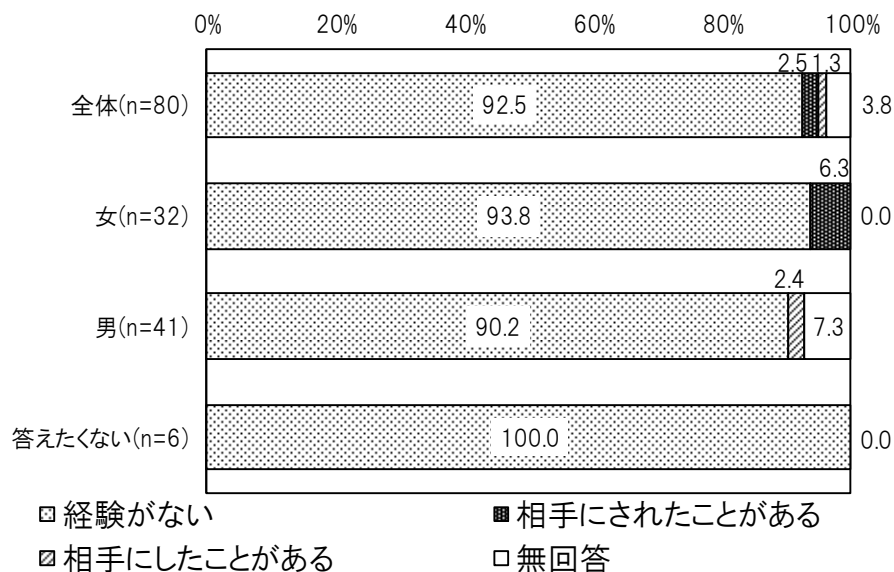
「大声で怒鳴る」ことをデートDVと思うかについては「デート DV だと思う」が 71.3%となっており、「デート DV ではないと思う」(7.5%)を 63.8 ポイント上回っています。

■ 性別の回答傾向

性別でみると、「デート DV だと思う」の割合は、女子が 75.0%、男子は 70.7%で、女子が 4.3 ポイント上回っています。答えたくないと回答した人の割合は男子よりもさらに 20.7 ポイント低く、50.0%となっています。

【行為の経験】

図表 116 「⑪大声で怒鳴る」【行為の経験】(全体・性別)



■全体の回答傾向

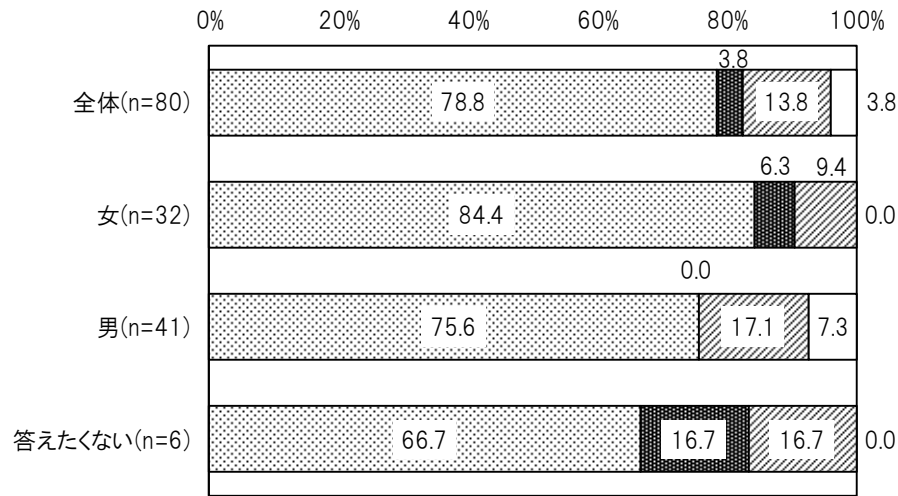
「大声で怒鳴る」ことについての経験については、「経験がない」が 92.5%、「相手にされたことがある」が 2.5%、「相手にしたことがある」が 1.3%となっています。

■性別の回答傾向

性別でみると、「経験がない」については男女で回答傾向に大きな違いは見られません。答えたくないと回答した人については「経験がない」が 100.0%と、女子・男子と比較して割合が高くなっています。

⑫物を壊したり、物を投げる
【デートDVと思うか】

図表 117 「⑫物を壊したり、物を投げる」【デートDVの認識】(全体・性別)



□ デートDVだと思う ■ デートDVではないと思う ▨ 分からない □ 無回答

■全体の回答傾向

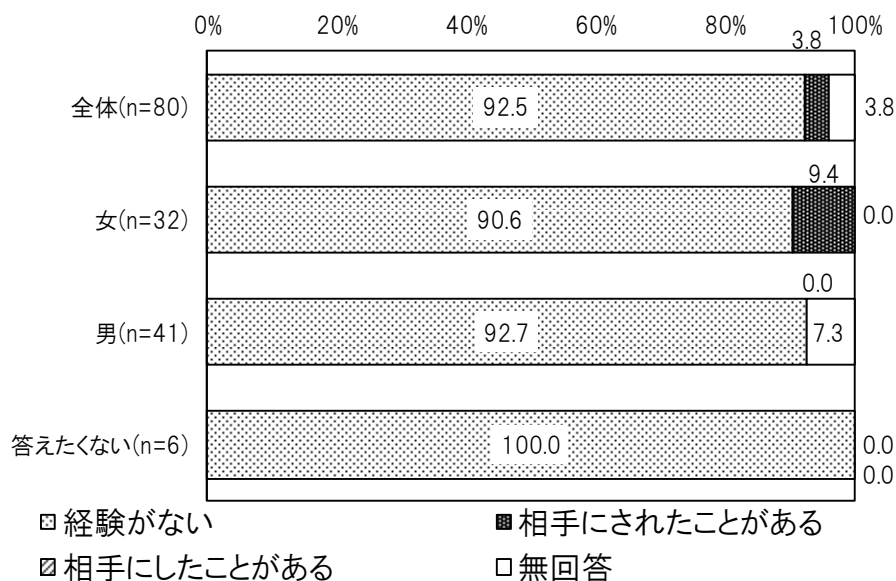
「物を壊したり、物を投げる」ことをデートDVと思うかについては、「デート DV だと思う」が 78.8%となっており、「デート DV ではないと思う」(3.8%)を 75.0 ポイント上回っています。

■性別の回答傾向

性別でみると、「デート DV だと思う」の割合は、女子が 84.4%、男子は 75.6%で、女子が 8.8 ポイント上回っています。答えたくないと回答した人の割合は、男子よりもさらに 8.9 ポイント低い 66.7%となっています。

【行為の経験】

図表 118 「⑫物を壊したり、物を投げる」【行為の経験】(全体・性別)



■全体の回答傾向

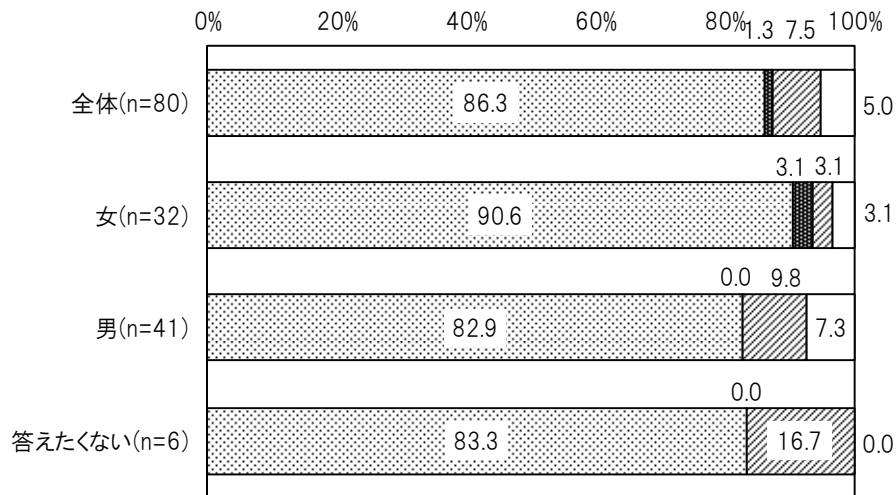
「物を壊したり、物を投げる」ことについての経験については、「経験がない」が 92.5%、「相手にされたことがある」が 3.8%、「相手にしたことがある」が 0%となっています。

■性別の回答傾向

性別でみると、女子については「相手にされたことがある」が 9.4%となっており、0%の男子・答えたくないと回答した人と比較すると 9.4 ポイント上回っています。

⑬なぐる、蹴る、突きとばす
【デートDVと思うか】

図表 119 「⑬なぐる、蹴る、突きとばす」【デートDVの認識】(全体・性別)



■ デートDVだと思う ■ デートDVではないと思う ▨ 分からない □ 無回答

■ 全体の回答傾向

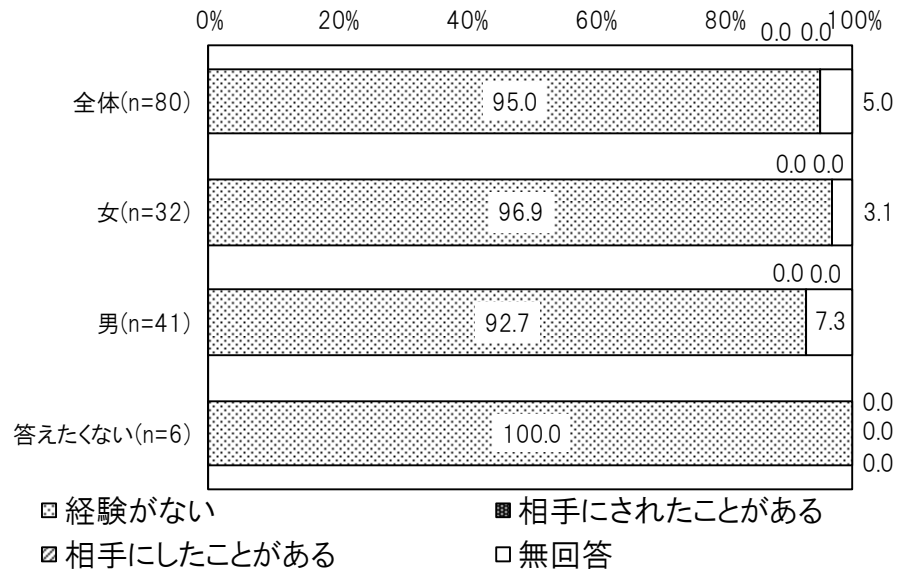
「なぐる、蹴る、突きとばす」ことをデートDVと思うかについては、「デートDVだと思う」が86.3%となっており、「デートDVではないと思う」(1.3%)を85.0ポイント上回っています。

■ 性別の回答傾向

性別でみると、「デートDVだと思う」の割合は、女子が90.6%、男子は82.9%、答えたくないと回答した人は83.3%で、女子が最も高くなっています。

【行為の経験】

図表 120 「⑬なぐる、蹴る、突きとばす」【行為の経験】(全体・性別)



■全体の回答傾向

「なぐる、蹴る、突きとばす」ことについての経験については、「経験がない」が 95.0%、「相手にされたことがある」「相手にしたことがある」がともに 0%となっています。

■性別の回答傾向

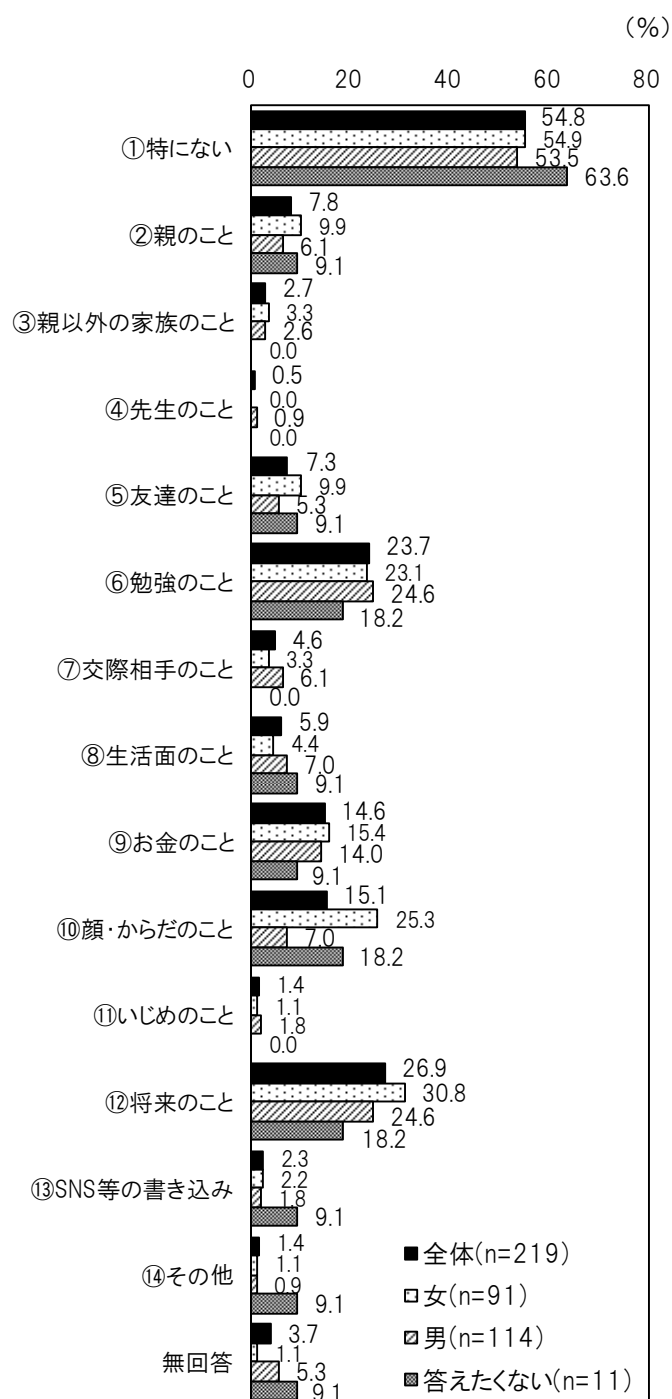
性別でみると、回答傾向に大きな違いは見られません。

6. 悩みや心配事について

(1) 悩みや心配事

問 11 あなたの悩みや心配事は何ですか。(あてはまるものすべてを選択)

図表 121 悩みや心配事(全体・性別)



■全体の回答傾向

悩みや心配事については、「①特にない」が最も高く 54.8%となっています。

悩みや心配事がある場合の内容は、「⑫将来のこと」が 26.9%で最も高く、「⑥勉強のこと」(23.7%)、「⑩顔、からだのこと」(15.1%)が上位を占めています。

■性別の回答傾向

性別でみると、「①特にない」の割合は女子・男子・答えたくないと回答した人いずれも過半数となっています。特に、答えたくないと回答した人の割合は 63.6%と最も高くなっています。

具体的な悩みや心配事については、女子は「⑫将来のこと」(30.8%)、「⑩顔・からだのこと」(25.3%)、「⑥勉強のこと」(23.1%)の順に高くなっています。

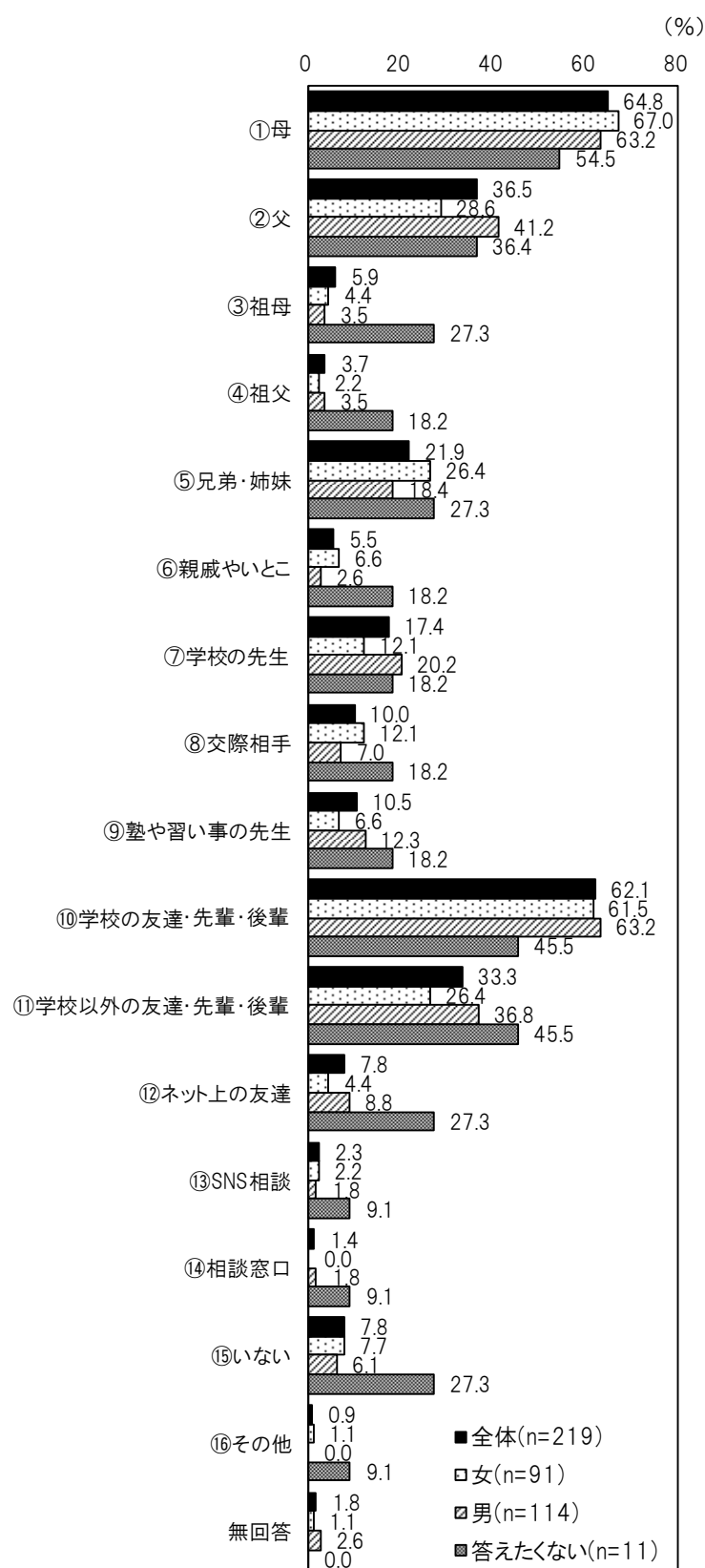
男子は「⑫将来のこと」、「⑥勉強のこと」(ともに 24.6%)、「⑨お金のこと」(14.0%)が上位を占めています。

答えたくないと回答した人は「⑥勉強のこと」「⑩顔・からだのこと」「⑫将来のこと」がいずれも 18.2%となっています。

(2)悩みや心配事がある時の相談先

問 12 あなたは悩みや心配事があるとき、相談できる人は誰ですか。

図表 122 悩みや心配事がある時の相談先(全体・性別)



■全体の回答傾向

悩みや心配事ある時の相談先については、「①母」が 64.8%で最も高く、次いで「⑩学校の友達・先輩・後輩」が 62.1%、「②父」が 36.5%となっています。

■性別の回答傾向

性別でみると、女子・男子・答えたくないと回答した人いずれも上位の項目は全体と同様に「①母」、「⑩学校の友達・先輩・後輩」「②父」となっています。答えたくないと回答した人については、さらに「⑪学校以外の友達・先輩・後輩」の割合も高くなっています。

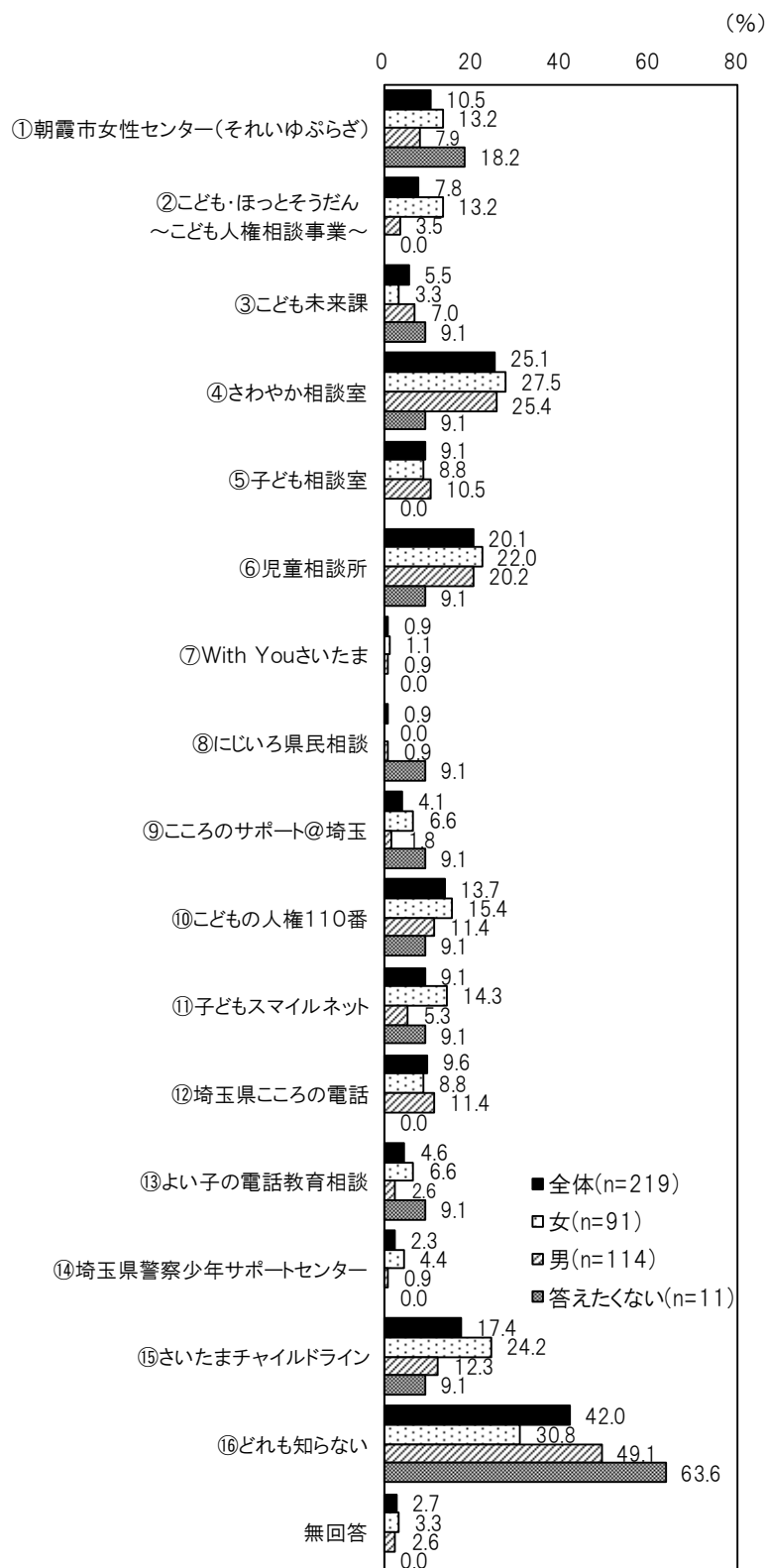
男女差が最も大きかった回答は「②父」で、女子は 28.6%、男子は 41.2%と、男子が 12.6 ポイント上回っています。次いで「⑪学校以外の友達・先輩・後輩」は女子が 26.4%、男子は 36.8%で、10.4 ポイント上回っています。

答えたくないと回答した人の相談先の特徴は、親族についてみると、「①母」の割合は5割を超えているものの、女子・男子と比較すると低くなっています。一方、「③祖母」「④祖父」「⑥親戚やいところ」の割合は女子・男子よりも高くなっています。それ以外についてみると、「⑩学校の友達・先輩・後輩」は女子・男子と比較すると低いですが、「⑪学校以外の友達・先輩・後輩」「⑫ネット上の友達」「⑬SNS相談」「⑭相談窓口」の割合は女子・男子と比較して高くなっています。一方で、「⑮いない」の割合は 27.3%で、女子・男子よりも約 20 ポイント高いことも特徴としてあげられます。

(3)相談窓口の認知度

問 13 あなたは次の相談窓口で知っているものはどれですか？(あてはまるものすべてを選択)

図表 123 相談窓口の認知度(全体・性別)



■全体の回答傾向

相談窓口の認知度については、「⑩どれも知らない」が最も高く 42.0%となっています。知っている相談窓口の上位は、「④さわやか相談室」が 25.1%、「⑥児童相談所」が 20.1%、「⑮さいたまチャイルドライン」が 17.4%となっています。

■性別の回答傾向

性別でみると、知っている相談窓口の上位項目は、男子については全体と同様の結果となっています。

女子については、「④さわやか相談室」が 27.5%で最も高く、次いで「⑮さいたまチャイルドライン」(24.2%)、「⑥児童相談所」(22.0%)の順に高くなっています。

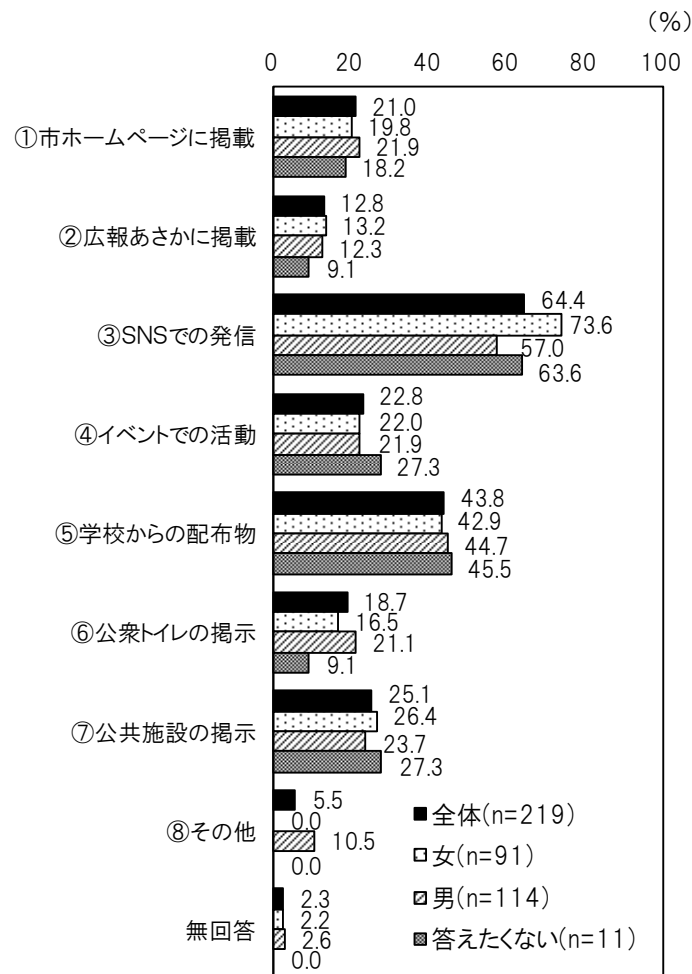
「⑩どれも知らない」はどの性別においても回答が最も高く、女子は 30.8%、男子は 49.1%で、答えたくないと回答した人は 63.6%となっています。男子は女子よりも 18.3 ポイント上回っていますが、答えたくないと回答した人は男子をさらに 14.5 ポイント上回るなど性別による違いが際立っています。

答えたくないと回答した人が知っている相談窓口の中では、「①朝霞市女性センター(それいゆふらざ)」(18.2%)が最も高く、女子・男子と比較しても割合が高くなっています。また、「⑧にじいろ県民相談」(9.1%)も女子・男子よりも割合が高くなっています。しかしながら、そのほかのほとんどの相談窓口については、女子・男子よりも認知度が低い結果となっています。

(4)相談窓口の周知のための工夫

問 14 相談窓口を多くの人に知ってもらうにはどんな工夫をしたら良いと思いますか。

図表 124 相談窓口の周知のための工夫(全体・性別)



■全体の回答傾向

相談窓口の周知のための工夫については、「③SNSでの発信」が最も高く 64.4%、次いで「⑤学校からの配布物」が 43.8%、「⑦公共施設の掲示」が 25.1%となっています。

「⑧その他」の具体的な内容については、「幼少期から、きつい時は頼っていいという教育を今より強く」や「定期的に駅前で窓口を開く」、「テレビ、SNS による発信」、「広告を出す」などがあげられています。

■性別の回答傾向

性別でみると、どのグループも上位項目は全体と同様の結果となっています。

性別による差が大きかった回答は「③SNSでの発信」で、最も割合が高い女子は 73.6%、最も低い男子は 57.0%と、女子が 16.6 ポイント上回っています。また、「⑥公衆トイレの掲示」については、最も割合が高い男子は 21.1%、最も低い答えたくないと回答した人は 9.1%と、男子が 12.0 ポイント上回っています。

IV. 資料

あさか しだんじょびょうどう かん しょうがくせい いし きちようさ 朝霞市男女平等に関する小学生意識調査

ねが 【お願い】

みなさんこんにちは！

これはテストではありません。

この調査は朝霞市の小学6年生のみなさんが、男女平等をどのように考え、
感じているかを知り、朝霞市を誰もが住みよいまちにするために行っています。

あなたの名前は書かなくてよいので、答えは先生や他の人に知られること
はありません。あなたがいつも思っていることをそのまま答えてください。

ちょうさけっか し どう こうひょう もくてき りかい
調査結果は市のホームページ等で、公表いたします。調査の目的をご理解
いただき、ご協力をお願いします。



朝霞市長 富岡 勝則

【答え方】

1 答えは、右側の二次元コードを読み取り回答してください。



回答期限：10月2日（水）

2 せんたくしの中で「その他」をクリックしたときは（ ）の中に自分で
かんが こと にゆうりよく
考えた答えを入力してください。

3 い み わ とい こと とい つぎ とい すす
意味が分からない問や、答えたくない問は答えず、次の問に進んでも
かまいません。

回答時間の目安（全13問、15分程度）



©おさしのフロントあさか

この調査についての問い合わせ先
それいゆぶらざ（朝霞市女性センター）
T E L 048-463-2697（直通）
F A X 048-463-0524

1 女 2 男 3 答えたくない

(1つ選たく)

- 1 男性の方がゆうぐうされている
- 2 どちらかといえば男性の方がゆうぐうされている
- 3 平等
- 4 どちらかといえば女性の方がゆうぐうされている
- 5 女性の方がゆうぐうされている

①児童会長はどちらが向いていると思いますか。

- 1 女子 2 男子 3 両方 4 どちらでもない 5 わからない

②学校の係で男子の方が向いている、女子の方が向いていると思う係はありますか。

(1つ選たく)

- 1 あると思う 2 どちらかといえばあると思う
3 どちらかといえばあると思わない 4 あると思わない

問4 あなたは大人の人に「男だから〇〇しなさい」や「女だから〇〇しなさい」と言われたことがありますか。(1つ選択)

- 1 よく言われる 2 ときどき言われる
3 あまり言われない 4 ぜんぜん言われない

問5 問4で「よく言われる」または「ときどき言われる」と答えた方にお聞きします。それは、だれに言われましたか。(当てはまるものすべてを選たく)

- 1 母 2 父 3 祖母 4 祖父
5 姉・妹 6 兄・弟 7 女性の友達 8 男性の友達
9 その他()

問6 「男は仕事に専念(せんねん)して、女は家庭を守るべき(家事や子育てなどに専念)」とあなたは思いますか。(1つ選たく)

- 1 そう思う 2 どちらかといえばそう思う
3 どちらかといえばそう思わない 4 そう思わない
5 わからない

問7 あなたは次の言葉を知っていますか？(①～⑨それぞれについて1つ選たく)

	知って いる	知らな い
①男女共同参画社会（だんじょきょうどうさんかく） 意味：女性も男性も、性別にかかわらず一人ひとりが個性や能力を発揮（はっき）できる社会		
②DV（ドメスティック・バイオレンス） 意味：夫婦や離婚（りこん）した元（もと）夫婦、結婚（けっこん）はしていないが一緒（いっしょ）に住んでいる男女の間でおきる暴力（ぼうりょく）のこと		
③デートDV（デートディーバイ） 意味：恋人（こいびと）の間でおきる暴力（ぼうりょく）のこと		
④性暴力（せいぼうりょく） 意味：望（のぞ）まない・同意（どうい）のない性的（せいてき）な行為（こうい）や発言		
⑤パパ活（ぱぱかつ）、ママ活（ままかつ） 意味：経済的に余裕（よゆう）のある男性・女性と一緒に（いっしょ）の時間を過ごし、それに対して金銭（きんせん）を得る活動		
⑥リプロダクティブ・ヘルス／ライツ 意味：性や身体のことを自分で決め、守ることができる権利のこと		
⑦LGBTQ（エルジービーティーキュー） 意味：L（レズビアン）、G（ゲイ）、B（バイセクシュアル）、T（トランスジェンダー）Q（クエスチョニング）の頭文字（かしらもじ）をとった言葉で、「セクシュアルマイノリティ」とも呼ばれます。		
⑧ジェンダー 意味：社会の中でつくられた「男らしさ」「女らしさ」など男女の別を表すもの。例えば「男の子は青」「女の子はピンク」など		
⑨プライベートゾーン 意味：他人に見せても触らせてもいいけない、性的に関係ある、自分だけの体の大切な場所。具体的には、口や水着でかくれるところ（ ^{おね} 胸・ ^{しり} お尻・ ^{せい} 性器）のことをいいます。		

問8 あなたは性に関する情報をどこから知りますか。(あてはまるものすべてを選たく)

- | | | | | |
|-----------|------------|---------------------------------------|------------|---------|
| 1 母 | 2 父 | 3 祖母 | 4 祖父 | 5 兄弟・姉妹 |
| 6 親せきやいとこ | 7 友達 | 8 先輩(せんぱい) | 9 学校の授業 | |
| 10 テレビ | 11 マンガ・雑誌 | 12 アニメ | 13 YouTube | |
| 14 SNS | 15 インターネット | 16 興味・関心 <small>きょうみ かんしん</small> がない | | |
| 17 その他() | | | | |

問9 あなたの悩(なや)みや心配事(しんぱいごと)は何ですか

(あてはまるものすべてを選たく)

- | | | | |
|---------------|-----------|-------------|---------|
| 1 特にない | 2 親のこと | 3 親以外の家族のこと | 4 先生のこと |
| 5 友達のこと | 6 勉強のこと | 7 生活面のこと | 8 お金のこと |
| 9 顔・からだのこと | 10 いじめのこと | 11 将来のこと | |
| 12 SNS 等の書き込み | | 13 その他() | |

問10 あなたは悩(なや)みや心配事(しんぱいごと)があるとき、相談(そうだん)できる人は誰ですか。(あてはまるものすべてを選たく)

- | | | |
|---|---|--------------------------------|
| 1 母 | 2 父 | 3 祖母 |
| 4 祖父 | 5 兄弟・姉妹 | 6 親戚 <small>しんせき</small> やいとこ |
| 7 学校の先生 | 8 スクールカウンセラー | 9 塾 <small>じゅく</small> や習い事の先生 |
| 10 学校の友達・先輩 <small>せんぱい</small> ・後輩 <small>こうはい</small> | 11 学校以外の友達・先輩 <small>せんぱい</small> ・後輩 <small>こうはい</small> | |
| 12 ネット上の友達 | 13 SNS相談 | 14 相談窓口 |
| 15 いない | 16 その他() | |

問11 あなたは次の相談窓口で知っているものはどれですか

(あてはまるものすべてを選たく)

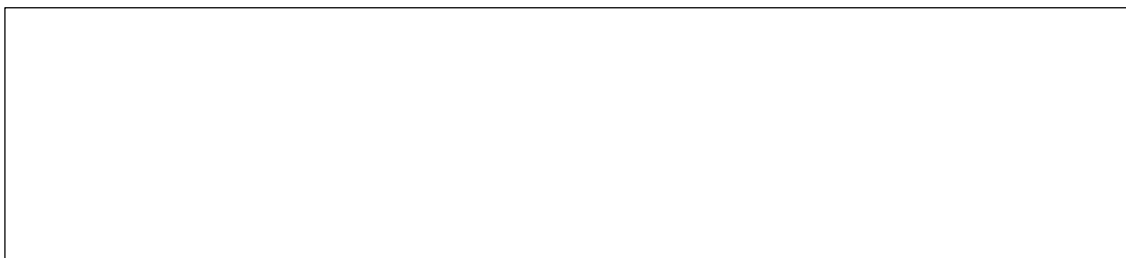
- 1 朝霞市女性センター (それいゆぷらざ)
- 2 こども・ほっとそうだん～こども人権相談事業～
じんけんそうだんじぎょう
- 3 こども未来課
- 4 さわやか相談室
- 5 子ども相談室
- 6 児童相談所
じどうそうだんしょ
- 7 With You さいたま
- 8 にじいろ県民相談
- 9 こころのサポート@埼玉
- 10 こどもの人権110番
- 11 子どもスマイルネット
- 12 埼玉県こころの電話
- 13 よい子の電話教育相談
- 14 埼玉県警察少年サポートセンター
けいさつ
- 15 さいたまチャイルドライン
- 16 どれも知らない

問12 相談窓口を多くの人に知ってもらうにはどんな工夫をしたら良いと思いますか。

(あてはまるものすべて選たく)

- 1 市ホームページに掲載 (けいさい)
- 2 広報あさかに掲載 (けいさい)
- 3 SNS での発信 (はっしん)
- 4 イベントでの活動
- 5 学校からの配布物
- 6 公衆トイレの掲示 (けいじ)
- 7 公共施設 (こうきょうしせつ) の掲示 (けいじ)
- 8 その他 ()

問13 男女平等について、日ごろ感じていることや疑問（ぎもん）に思うことなどを自由に書いてください。



ご協力ありがとうございました。

みなさんが「こころ」も「からだ」も健康な生活を送るために、相手のことも自分のことも大切にして、その人らしく生きられる社会にしていきましょう。

朝霞市男女平等に関する中学生意識調査

【お願い】

朝霞市では男女平等社会の実現に向けて、「男女平等推進行動計画」の見直しを進めているところです。そこで、中学3年生のみなさんのご意見をお聞きし、計画づくりの参考とするため、意識調査を行います。

あなたの名前は書かなくてよいので、答えは先生や他の人に知られることはありません。あなたがいつも思っていることをそのまま答えてください。

調査結果は市のホームページ等において、公表させていただきます。調査の目的をご理解いただき、ご協力をお願いいたします。

朝霞市長 富岡 勝則

【答え方】

- 1 答えは、右側の二次元コードを読み取り回答してください。



回答期限：10月2日（水）

- 2 選択肢の中で「その他」をクリックしたときは（ ）の中に自分で考えた答えを入力してください。
- 3 意味が分からない問や、答えたくない問は答えず、次の問に進んでもかまいません。

回答時間の目安（全16問、15分程度）



©むさしのフロントあさか

この調査についての問い合わせ先
それいゆぷらざ（朝霞市女性センター）
TEL 048-463-2697(直通)
FAX 048-463-0524

1 女 2 男 3 答えたくない

(1つ選択)

- 1 男性の方が優遇されている
- 2 どちらかといえば男性の方が優遇されている
- 3 平等
- 4 どちらかといえば女性の方が優遇されている
- 5 女性の方が優遇されている

①生徒会長はどちらが向いていると思いますか。

- 1 女子 2 男子 3 両方 4 どちらでもない 5 わからない

(1つ選択)

- 1 あると思う 2 どちらかといえばあると思う
3 どちらかといえばあると思わない 4 あると思わない

1 よく言われる 2 ときどき言われる
3 あまり言われない 4 ぜんぜん言われない

1 母 2 父 3 祖母 4 祖父
5 姉・妹 6 兄・弟 7 女性の友達 8 男性の友達
9 その他()

問6 「男は仕事に専念して、女は家庭（家事や子育てなどに専念）を守るべき」とあなたは
 思いますか。（1つ選択）

- 1 そう思う 2 どちらかといえばそう思う
3 どちらかといえばそう思わない 4 そう思わない
5 わからない

問7 あなたは次の言葉を知っていますか？(①～⑨それぞれについて1つ選択)

	知っている	知らない
①男女共同参画社会 意味:女性も男性も、性別にかかわらず一人ひとりが個性や能力を発揮できる社会		
②DV（ドメスティック・バイオレンス） 意味:夫婦や離婚した元夫婦、結婚はしていないが一緒に住んでいる男女の間でおきる暴力のこと		
③デートDV 意味:恋人の間でおきる暴力のこと		
④性暴力 意味:望まない・同意のない性的な行為や発言		
⑤パパ活、ママ活 意味:経済的に余裕のある男性・女性と一緒に時間を過ごし、それに対して金銭を得る活動		
⑥リプロダクティブ・ヘルス／ライツ 意味:性や身体のことを自分で決め、守ることができる権利のこと		
⑦LGBTQ 意味:L（レズビアン）、G（ゲイ）、B（バイセクシュアル）、T（トランスジェンダー）Q（クエスチョニング）の頭文字をとった言葉で、「セクシュアルマイノリティ」とも呼ばれます。		
⑧ジェンダー 意味:社会の中でつくられた「男らしさ」「女らしさ」など男女の別を表すもの。例えば「男性は理系科目が得意」「女性は家事・子育てに向いている」など		
⑨プライベートゾーン 意味:他人に見せても触らせてもいけない、性的に関係ある、自分だけの体の大切な場所。具体的には、口や水着でかくれるところ（胸・お尻・性器）のことをいいます。		

問8 あなたは性に関する情報をどこから知りますか。(あてはまるものすべてを選択)

- | | | | | |
|-------------|-----------|------------|---------|------------|
| 1 母 | 2 父 | 3 祖母 | 4 祖父 | 5 兄弟・姉妹 |
| 6 親戚やいとこ | 7 友達 | 8 先輩 | 9 学校の授業 | 10 テレビ |
| 11 マンガ・雑誌 | 12 アニメ | 13 YouTube | 14 SNS | 15 インターネット |
| 16 興味・関心がない | 17 その他() | | | |

問9 あなたには恋人(交際相手)がいますか。または恋人(交際相手)がいましたか。

- 1 はい →問10へ 2 いいえ →問12へ

問10 問9で「はい」と答えた方にお聞きします。本当は嫌だけど恋人だからと我慢していること、または我慢していたことはありますか。

- | | |
|--------------|--------------|
| 1 ある | 2 どちらかといえばある |
| 3 どちらかといえはない | 4 ない |
| 5 答えたくない | |

問11 問10で「ある」「どちらかといえばある」と答えた方にお聞きします。その内容は何ですか。(あてはまるものすべてを選択)

- | | | |
|---------------|---------------------|------------|
| 1 キスや性的なことをする | 2 連絡・通信(SNS等)に関すること | 3 会う頻度 |
| 4 友達との交流を制限する | 5 叩く、蹴る | 6 物を投げる・壊す |
| 7 怒鳴る・大声をだす | 8 金銭に関すること(デート代等) | |
| 9 その他() | | |

問12 あなたの悩みや心配事は何ですか(あてはまるものすべてを選択)

- | | | | |
|--------------|-----------|-------------|---------|
| 1 特にない | 2 親のこと | 3 親以外の家族のこと | 4 先生のこと |
| 5 友達のこと | 6 勉強のこと | 7 生活面のこと | 8 お金のこと |
| 9 顔・からだのこと | 10 いじめのこと | 11 将来のこと | |
| 12 SNS等の書き込み | | 13 その他() | |

問13 あなたは悩みや心配事があるとき、相談できる人は誰ですか。

(あてはまるものすべてを選択)

- | | | |
|------------------|----------------|------------|
| 1 母 | 2 父 | 3 祖母 |
| 4 祖父 | 5 兄弟・姉妹 | 6 親戚やいそこ |
| 7 学校の先生 | 8 スクールカウンセラー | 9 交際相手 |
| 10 塾や習い事の先生 | 11 学校の友達・先輩・後輩 | |
| 12 学校以外の友達・先輩・後輩 | | 13 ネット上の友達 |
| 14 SNS相談 | 15 相談窓口 | |
| 16 いない | 17 その他() | |

問14 あなたは次の相談窓口で知っているものはどれですか。

(あてはまるものすべてを選択)

- 1 朝霞市女性センター (それいゆぷらざ)
- 2 こども・ほっとそうだん～こども人権相談事業～
- 3 こども未来課
- 4 さわやか相談室
- 5 子ども相談室
- 6 児童相談所
- 7 With Youさいたま
- 8 にじいろ県民相談
- 9 こころのサポート@埼玉
- 10 こどもの人権110番
- 11 子どもスマイルネット
- 12 埼玉県こころの電話
- 13 よい子の電話教育相談
- 14 埼玉県警察少年サポートセンター
- 15 さいたまチャイルドライン
- 16 どれも知らない

問15 相談窓口を多くの人に知ってもらうにはどんな工夫をしたら良いと思いますか。

(あてはまるものすべてを選択)

- | | | |
|--------------|------------|------------|
| 1 市ホームページに掲載 | 2 広報あさかに掲載 | 3 SNSでの発信 |
| 4 イベントでの活動 | 5 学校からの配布物 | 6 公衆トイレの掲示 |
| 7 公共施設の掲示 | 8 その他() | |

問16 男女平等について、日ごろ感じていることや疑問に思うことなどを自由にご記入ください。

--

ご協力ありがとうございました。

みなさんが「こころ」も「からだ」も健康な生活を送るために、相手のことも自分のことも大切にして、その人らしく生きられる社会にしていきましょう。

朝霞市男女平等に関する高校生意識調査

【お願い】

朝霞市では男女平等社会の実現に向けて、「男女平等推進行動計画」の見直しを進めているところです。そこで、高校3年生のみなさんのご意見をお聞きし、計画づくりの参考とするため、意識調査を行います。

ご記入いただいた内容は、今回の目的以外に使用することはありません。また、回答内容は統計的に処理しますので、個人が特定されたり、個人の情報が漏れたりすることはありません。

調査結果は市のホームページ等において、公表させていただきます。調査の目的をご理解いただき、ご協力をお願いいたします。

朝霞市長 富岡 勝則

【答え方】

1 答えは、右側の二次元コードを読み取り回答してください。

回答期限：10月2日（水）



2 選択肢の中で「その他」をクリックしたときは（ ）の中に自分で考えた答えを入力してください。

3 意味が分からない問や、答えたくない問は答えず、次の問に進んでもかまいません。

回答時間の目安（全15問、15分程度）



©むさしのフロントあさが

この調査についての問い合わせ先
それいゆぶらざ（朝霞市女性センター）
TEL 048-463-2697(直通)
FAX 048-463-0524

1 女 2 男 3 答えたくない

(1つ選択)

- 1 男性の方が優遇されている
- 2 どちらかといえば男性の方が優遇されている
- 3 平等
- 4 どちらかといえば女性の方が優遇されている
- 5 女性の方が優遇されている

①代表委員、生徒会長はどちらが向いていると思いますか。

- 1 女子 2 男子 3 両方 4 どちらでもない 5 わからない

(1つ選択)

- 1 あると思う 2 どちらかといえばあると思う
3 どちらかといえばあると思わない 4 あると思わない

1 よく言われる 2 ときどき言われる
3 あまり言われない 4 ぜんぜん言われない

1 母 2 父 3 祖母 4 祖父
5 姉・妹 6 兄・弟 7 女性の友達 8 男性の友達
9 その他()

問6 「男は仕事に専念して、女は家庭(家事や子育てなどに専念)を守るべき」とあなたは
 思いますか。(1つ選択)

- 1 そう思う 2 どちらかといえばそう思う
3 どちらかといえばそう思わない 4 そう思わない
5 わからない

問7 あなたは次の言葉を知っていますか？(①～⑨それぞれについて1つ選択)

	知っている	知らない
①男女共同参画社会 意味:女性も男性も、性別にかかわらず一人ひとりが個性や能力を発揮できる社会		
②DV（ドメスティック・バイオレンス） 意味:夫婦や離婚した元夫婦、結婚はしていないが一緒に住んでいる男女の間でおきる暴力のこと		
③デートDV 意味:恋人の間でおきる身体的・精神的・性的・経済的暴力のこと		
④性暴力 意味:望まない・同意のない性的な行為や発言		
⑤パパ活、ママ活 意味:経済的に余裕のある男性・女性と一緒に時間を過ごし、それに対して金銭を得る活動		
⑥リプロダクティブ・ヘルス／ライツ 意味:性や身体のことを自分で決め、守ることができる権利のこと		
⑦LGBTQ 意味:L（レズビアン）、G（ゲイ）、B（バイセクシュアル）、T（トランスジェンダー）、Q（クエスチョニング）の頭文字をとった言葉で、「セクシュアルマイノリティ」とも呼ばれます。		
⑧ジェンダー 意味:社会の中でつくられた「男らしさ」「女らしさ」など男女の別を表すもの。例えば「男性は理系科目が得意」「女性は家事・子育てに向いている」など		
⑨プライベートゾーン 意味:他人に見せても触らせてもいいけない、性的に関係ある、自分だけの体の大切な場所。具体的には、口や水着で隠れるところ（胸・お尻・性器）のことを言います。		

問8 あなたは性に関する情報をどこから知りますか。(あてはまるものすべてを選択)

- 1 母 2 父 3 祖母 4 祖父 5 兄弟・姉妹
6 親戚やいとこ 7 友達 8 先輩 9 学校の授業 10 テレビ
11 マンガ・雑誌 12 アニメ 13 YouTube 14 SNS 15 インターネット
16 興味・関心がない 17 その他()

問9 あなたには恋人(交際相手)がいますか。または恋人(交際相手)がいましたか。

- 1 はい →問10へ 2 いいえ →問11へ

問10 問9で「はい」と答えた方にお聞きします。恋人との間で次のようなことが行われた場合、あなたはどのように思いますか？また、実際にされた経験はありますか？

※デートDV:恋人の間でおきる身体的・精神的・性的・経済的暴力のこと

	どう思いますか？ (あてはまるもの1つに○)			行為の経験 (あてはまるもの1つに○)		
	デートDV だと思 う	デートDVでは ないと思 う	分からない	経験がない	相手にされた ことがある	相手にした ことがある
①自分を常に優先してほしいと言う						
②しょっちゅう電話やメールをしてきたり、どこでだれと 会っているか繰り返し聞く						
③言うとおりにしないとすぐに無視をしたり、機嫌が悪 くなる						
④携帯電話を勝手に見たり、友達の番号やアドレスを 消す(または、消せという)						
⑤常に相手の考えを聞かずに、物事を計画したり決 めたりする						
⑥デート代をいつもすべて払わせる						
⑦キスや性的な行為を同意なく一方的にする						
⑧いやらしい雑誌や映像を同意なく一方的に見せる						
⑨性的な画像や動画などを勝手に撮ったり、SNS な どに載せたりする						
⑩避妊をしない						
⑪大声で怒鳴る						
⑫物を壊したり、物を投げる						
⑬なぐる、蹴る、突きとばす						

問11 あなたの悩みや心配事は何ですか(あてはまるものすべてを選択)

- | | | | |
|--------------|-------------|-------------|----------|
| 1 特にな | 2 親のこと | 3 親以外の家族のこと | 4 先生のこと |
| 5 友達のこと | 6 勉強のこと | 7 交際相手のこと | 8 生活面のこと |
| 9 お金のこと | 10 顔・からだのこと | 11 いじめのこと | 12 将来のこと |
| 13 SNS等の書き込み | 14 その他() | | |

問12 あなたは悩みや心配事があるとき、相談できる人は誰ですか。

- | | | |
|----------------|------------------|------------|
| 1 母 | 2 父 | 3 祖母 |
| 4 祖父 | 5 兄弟・姉妹 | 6 親戚やいとこ |
| 7 学校の先生 | 8 交際相手 | 9 塾や習い事の先生 |
| 10 学校の友達・先輩・後輩 | 11 学校以外の友達・先輩・後輩 | |
| 12 ネット上の友達 | 13 SNS相談 | 14 相談窓口 |
| 15 いない | 16 その他() | |

問13 あなたは次の相談窓口で知っているものはどれですか？

(あてはまるものすべてを選択)

- 1 朝霞市女性センター(それいゆぷらざ)
- 2 こども・ほっとそうだん～こども人権相談事業～
- 3 こども未来課
- 4 さわやか相談室
- 5 子ども相談室
- 6 児童相談所
- 7 With Youさいたま
- 8 にじいろ県民相談
- 9 こころのサポート@埼玉
- 10 こどもの人権110番
- 11 子どもスマイルネット
- 12 埼玉県こころの電話
- 13 よい子の電話教育相談
- 14 埼玉県警察少年サポートセンター
- 15 さいたまチャイルドライン
- 16 どれも知らない

1 市ホームページに掲載	2 広報あさかに掲載	3 SNSでの発信
4 イベントでの活動	5 学校からの配布物	6 公衆トイレの掲示
7 公共施設の掲示	8 その他()	

--

みなさんが「こころ」も「からだ」も健康な生活を送るために、相手のことも自分のことも大切にして、その人らしく生きられる社会にしていきましょう。

令和6年度実施朝霞市男女平等に関する小学生・中学生・高校生
意識調査結果報告書

令和7年7月

発行 朝霞市女性センター(それいゆぷらざ)

〒351-0016 埼玉県朝霞市青葉台1-7-1

TEL 048-463-2697

FAX 048-463-0524